

## Ⅱ．小学校児童家庭の調査結果

### Ⅱ－１．調査の概要

#### １．調査の目的

小学校児童の保護者に対してアンケートを行うことにより、就労状況や子育て支援サービス等の利用状況、今後の利用意向などを把握し、「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの検討に向けた基礎資料とする。

#### ２．調査内容

- (１)家族の状況について
- (２)子育ての環境について
- (３)保護者の就労状況について
- (４)放課後の過ごし方について
- (５)病気の際の対応について
- (６)不定期に利用したり、宿泊を伴って利用する事業について
- (７)安全、防犯対策について
- (８)家庭での生活について
- (９)食事・健康について
- (10)地域との交流について
- (11)子育て全般について
- (12)自由意見

#### ３．調査設計

- (１)調査地域  
区全域
- (２)調査対象  
区内に居住する小学生児童の保護者
- (３)標本数  
3,000 件
- (４)抽出方法  
住民基本台帳登録者のうち、令和３年 10 月 1 日現在、6～12 歳の子どもを持つ保護者を無作為抽出(集計は学年(1～6 年)で行う。)
- (５)調査方法  
郵送配付・郵送回収および Web 回答
- (６)調査期間  
令和３年 11 月 1 日～令和３年 11 月 15 日

## 4. 回収状況


有効回収数			有効回答率
郵送	Web	合計	
1,338	571	1,909	63.6%

## 5. 地区区分

調査結果の「居住地区」は、総合福祉事務所管轄で区分している。

地区	町名
練馬	旭丘、向山、小竹町、栄町、桜台、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村、中村北、中村南、貫井、練馬、羽沢
光が丘	春日町、高松、田柄、光が丘、旭町、土支田、錦、氷川台、平和台、早宮、北町
石神井	富士見台、谷原、高野台、南田中、下石神井、石神井町、三原台、上石神井、上石神井南町、石神井台、関町東、関町北、関町南、立野町
大泉	大泉学園町、大泉町、西大泉、西大泉町、東大泉、南大泉

## 6. 集計・分析にあたって

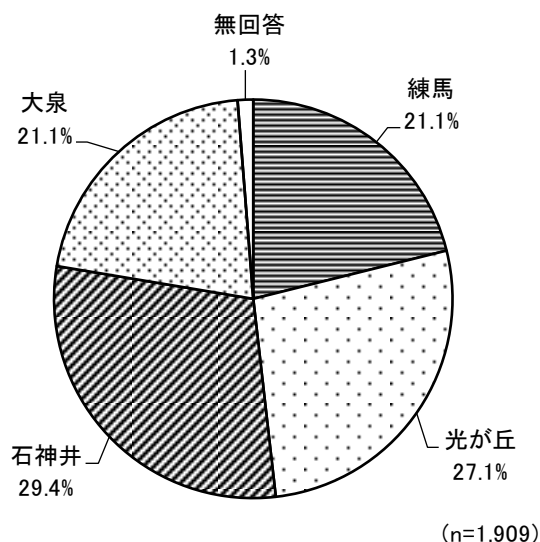
- ・回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。
- ・調査結果を図表にて表示しているが、グラフ以外の表は、最も多い割合のものを  で網かけをしている(無回答を除く)。
- ・クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合がある。

## Ⅱ－２．調査結果の詳細

### １．家族の状況について

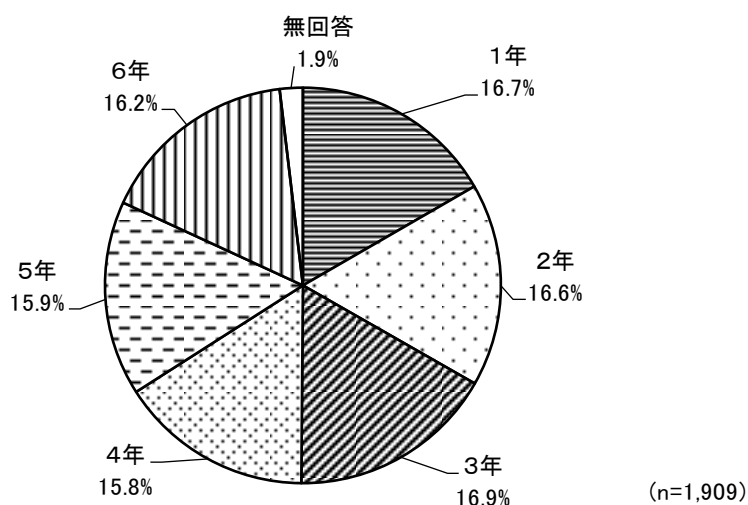
問１ あて名のお子さんがお住まいの町名をお答えください。（１つに○）

「石神井」(29.4%)が最も多く、「光が丘」(27.1%)、「大泉」「練馬」(それぞれ21.1%)と続く。



問２ あて名のお子さんの生年月を、( ) 内に数字でご記入ください。

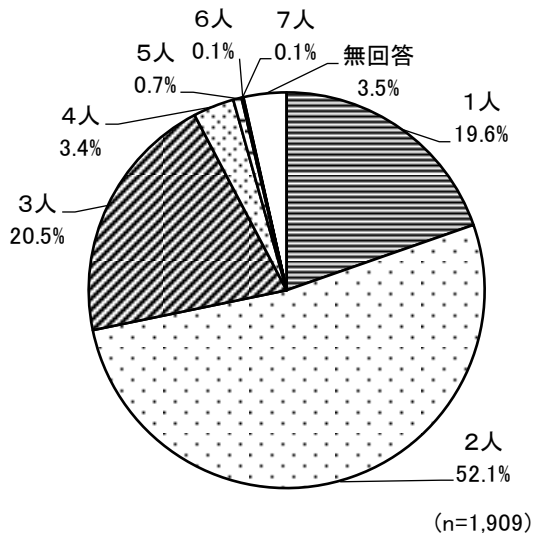
「３年」(16.9%)が最も多く、「１年」(16.7%)、「２年」(16.6%)、「６年」(16.2%)、「５年」(15.9%)、「４年」(15.8%)と続く。



問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を元号に○をつけ、（ ）内に数字でご記入ください。

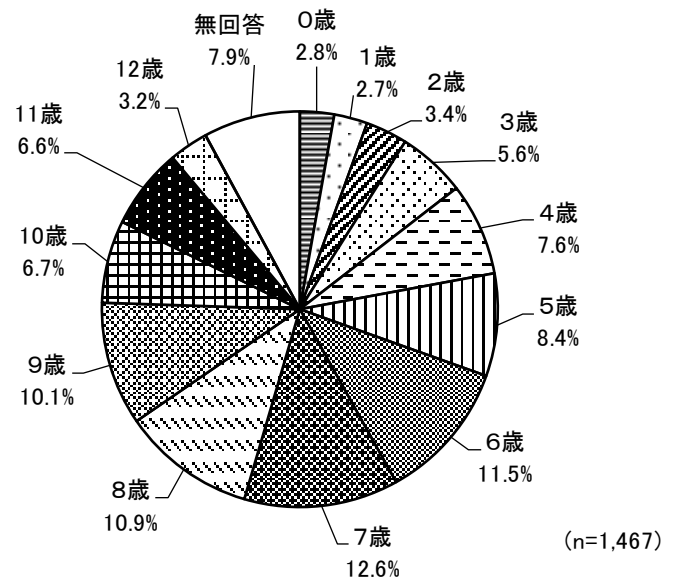
### ①きょうだい数

「2人」(52.1%)が最も多く、「3人」(20.5%)、「1人」(19.6%)と続く。平均は2.1人となっている。



### ②末子の年齢

「7歳」(12.6%)が最も多く、「6歳」(11.5%)、「8歳」(10.9%)と続く。

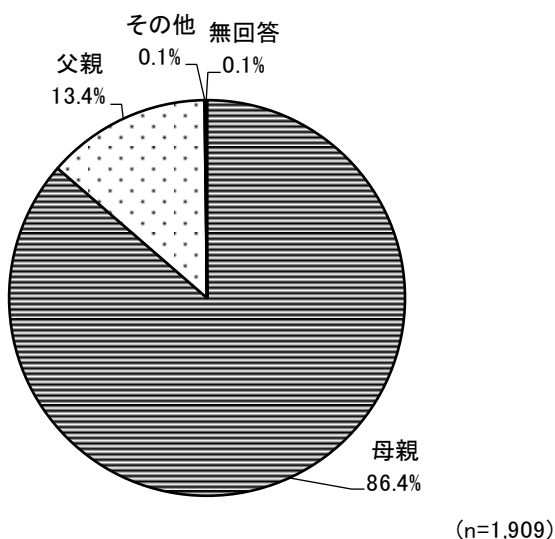


問4 この調査票のご回答者はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

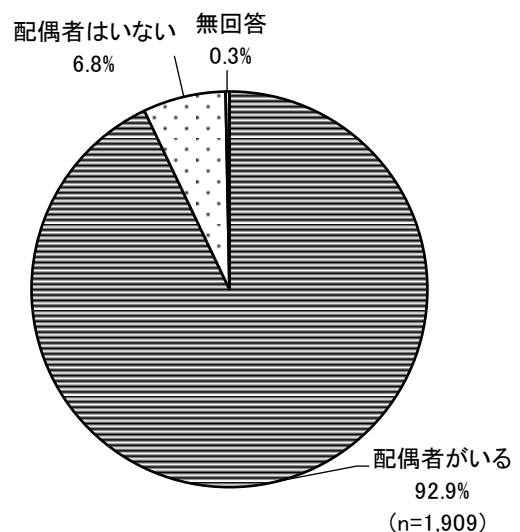
問5 この調査票のご回答者の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

回答者は、「母親」(86.4%)、「父親」(13.4%)となっている。配偶関係は、「配偶者がいる」(92.9%)、「配偶者はいない」(6.8%)となっている。

### ■回答者

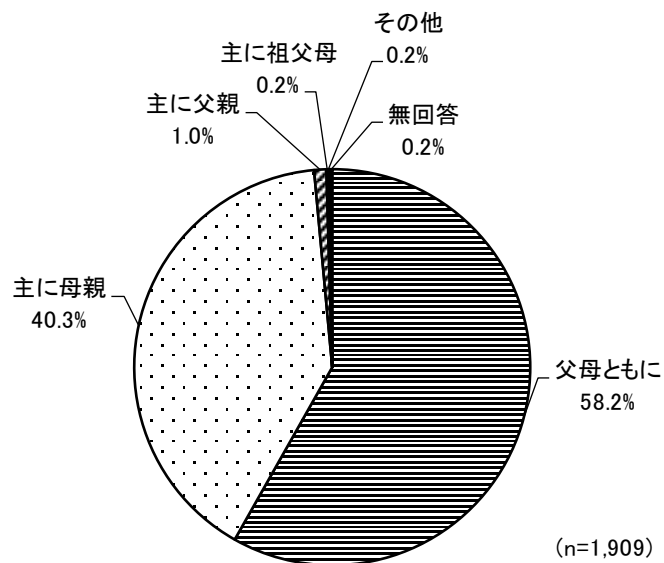


### ■配偶関係



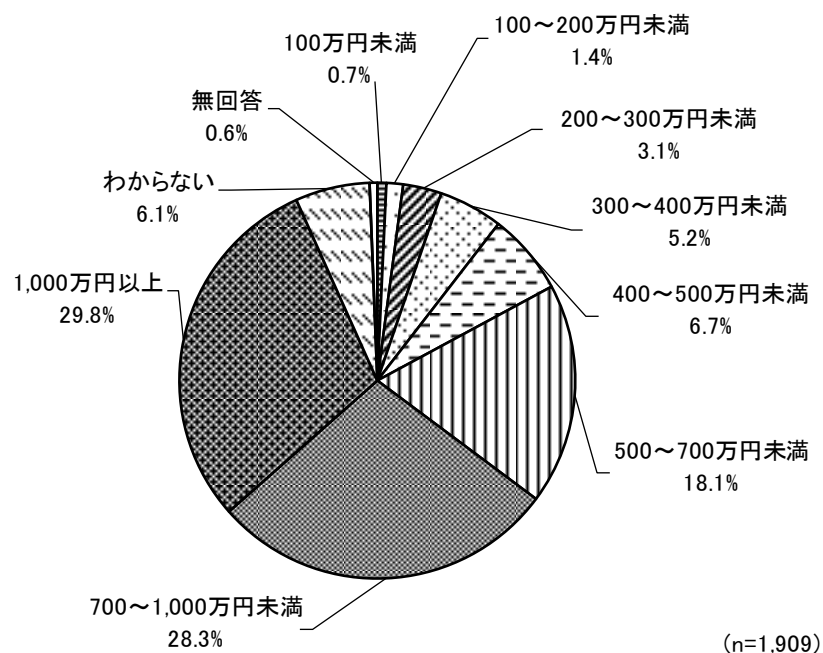
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。  
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

「父母ともに」（58.2%）が最も多く、「主に母親」（40.3%）、「主に父親」（1.0%）と続く。



問7 あて名のお子さんの世帯全体の昨年度の年収（税込み）は、仕事による収入と仕事外の収入を合わせて、おおよそどのくらいですか。（1つに○）

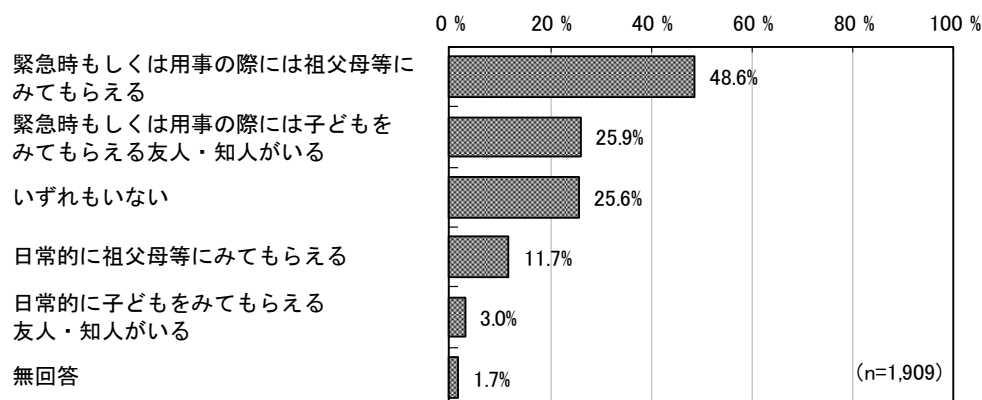
「1,000万円以上」（29.8%）が最も多く、「700～1,000万円未満」（28.3%）、「500～700万円未満」（18.1%）と続く。



## 2. 子育ての環境について

### 問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(いくつでも○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる」(48.6%)が最も多く、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(25.9%)、「いずれもない」(25.6%)と続く。



### 【学年別】

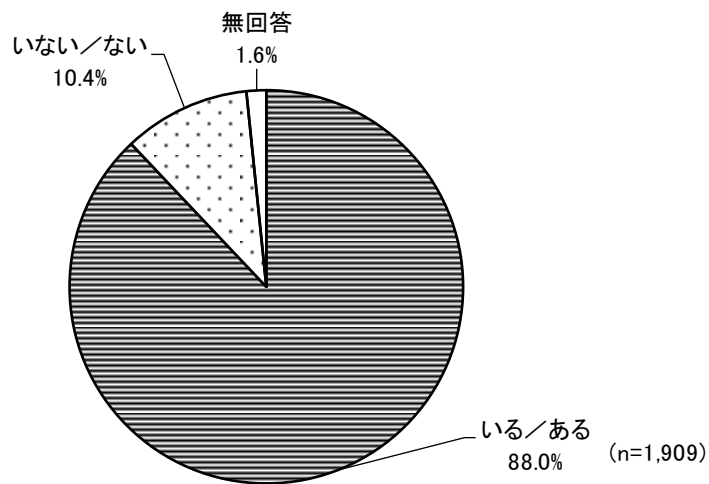
すべての学年で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる」が最も多くなっている。

単位：%

	合計	日常的に祖父母等に みてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖 父母等にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる 友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・ 知人がいる	いずれもない	無 回 答
全体	1,909	11.7	48.6	3.0	25.9	25.6	1.7
1年	318	12.6	47.8	3.1	27.0	24.5	2.5
2年	317	11.4	49.8	2.2	23.0	29.7	1.3
3年	322	13.7	47.5	3.1	25.2	26.1	1.2
4年	302	12.9	47.0	3.3	26.5	24.5	1.0
5年	304	9.5	52.3	2.3	26.3	22.4	2.3
6年	310	10.0	47.7	4.2	27.4	26.5	2.3

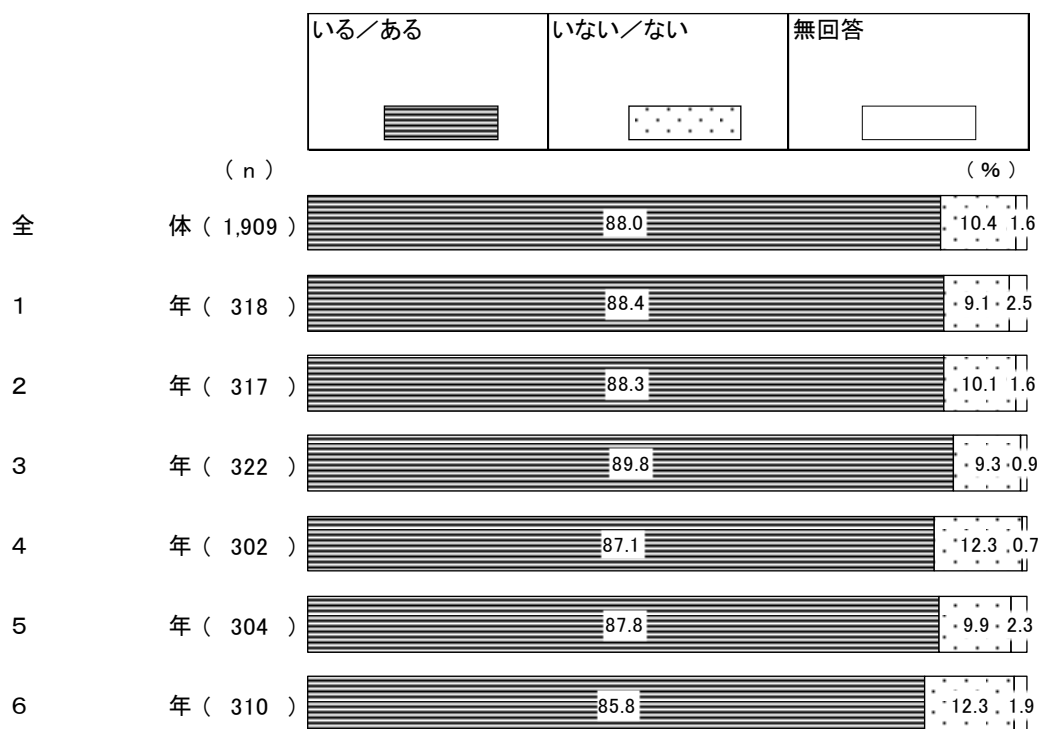
問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（1つに○）

「いる／ある」（88.0%）、「いない／ない」（10.4%）となっている。



### 【学年別】

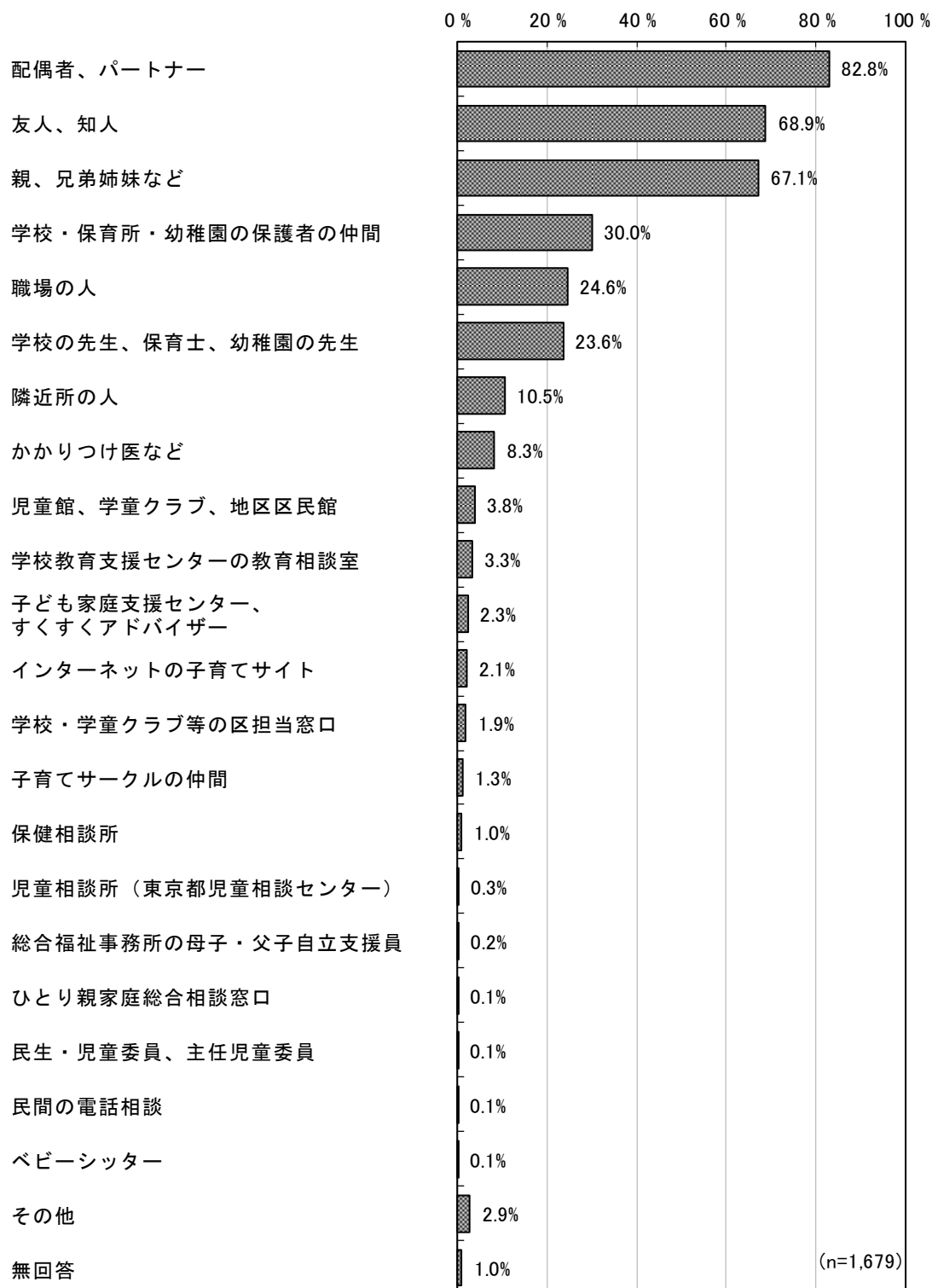
すべての学年で「いる／ある」が8割半ば以上となっている。



問 10 問 9 で「1. いる／ある」を選んだ方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は誰ですか。また、相談できる場所はどこですか。（いくつでも○）

「配偶者、パートナー」（82.8%）が最も多く、「友人、知人」（68.9%）、「親、兄弟姉妹など」（67.1%）、「学校・保育所・幼稚園の保護者の仲間」（30.0%）、「職場の人」（24.6%）と続く。





## 【学年別】

すべての学年で「配偶者、パートナー」が最も多く、7割以上となっている。

単位：％

	合計	配偶者、 パートナー	親、 兄弟姉妹など	友人、 知人	隣近所の人	職場の人	学校・保育所・幼稚園の 保護者の仲間	子育てサークルの仲間	学校の先生、保育士、 幼稚園の先生
全体	1,679	82.8	67.1	68.9	10.5	24.6	30.0	1.3	23.6
1年	281	87.2	68.0	71.9	11.4	22.8	35.9	2.1	19.9
2年	280	83.6	68.2	68.6	8.9	26.1	33.2	2.1	27.5
3年	289	83.0	67.5	68.9	10.7	25.3	30.8	1.7	27.3
4年	263	84.0	63.9	66.2	9.5	24.0	31.9	0.8	24.3
5年	267	84.6	64.8	63.7	11.6	25.8	25.1	—	22.5
6年	266	74.4	69.9	74.1	12.0	25.2	22.2	0.8	20.3

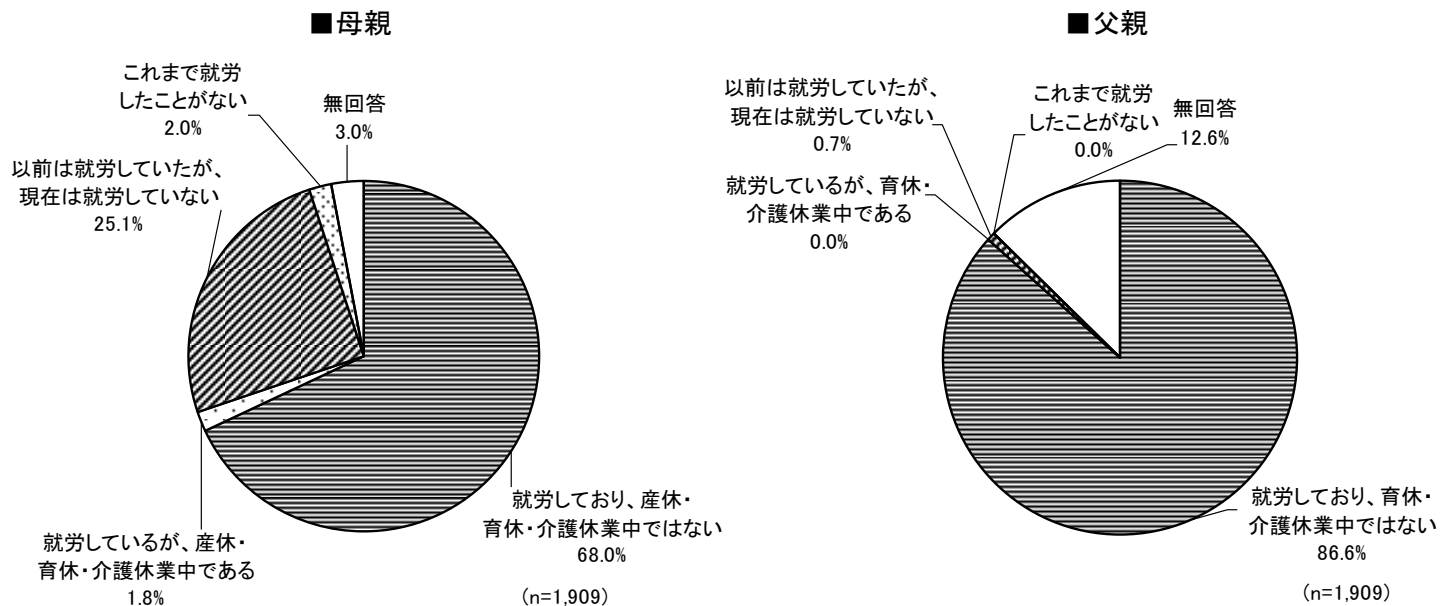
	かかりつけ医など	学校・学童クラブ等の 区担当窓口	子ども家庭支援センター、 すくすくアドバイザー	地区区民館	児童館、学童クラブ、	総合福祉事務所の母子・父子 自立支援員	ひとり親家庭総合相談窓口	民生・児童委員、 主任児童委員	学校教育支援センターの 教育相談室	保健相談所
全体	8.3	1.9	2.3	3.8	0.2	0.1	0.1	0.1	3.3	1.0
1年	8.9	1.4	2.8	3.9	0.4	—	—	—	1.1	0.7
2年	6.8	3.2	2.1	6.1	0.4	—	—	—	3.6	1.8
3年	9.7	2.4	3.1	6.9	0.3	0.3	0.3	0.3	4.2	2.4
4年	7.2	1.5	1.9	2.3	—	—	—	—	3.4	0.4
5年	10.9	1.5	2.6	2.6	—	0.4	—	—	4.1	—
6年	6.8	1.5	1.5	0.8	0.4	—	—	—	3.8	0.4

	児童相談所 (東京都児童相談センター)	民間の電話相談	ベビーシッター	インターネットの 子育てサイト	その他	無回答
全体	0.3	0.1	0.1	2.1	2.9	1.0
1年	—	—	—	2.5	1.8	0.7
2年	0.4	—	—	3.6	2.1	0.4
3年	0.7	0.3	0.3	2.1	2.4	1.4
4年	0.4	—	—	1.1	3.8	1.5
5年	—	—	—	1.9	2.6	1.1
6年	—	—	—	1.5	4.5	0.8

### 3. 保護者の就労状況について

問 11 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてうかがいます。

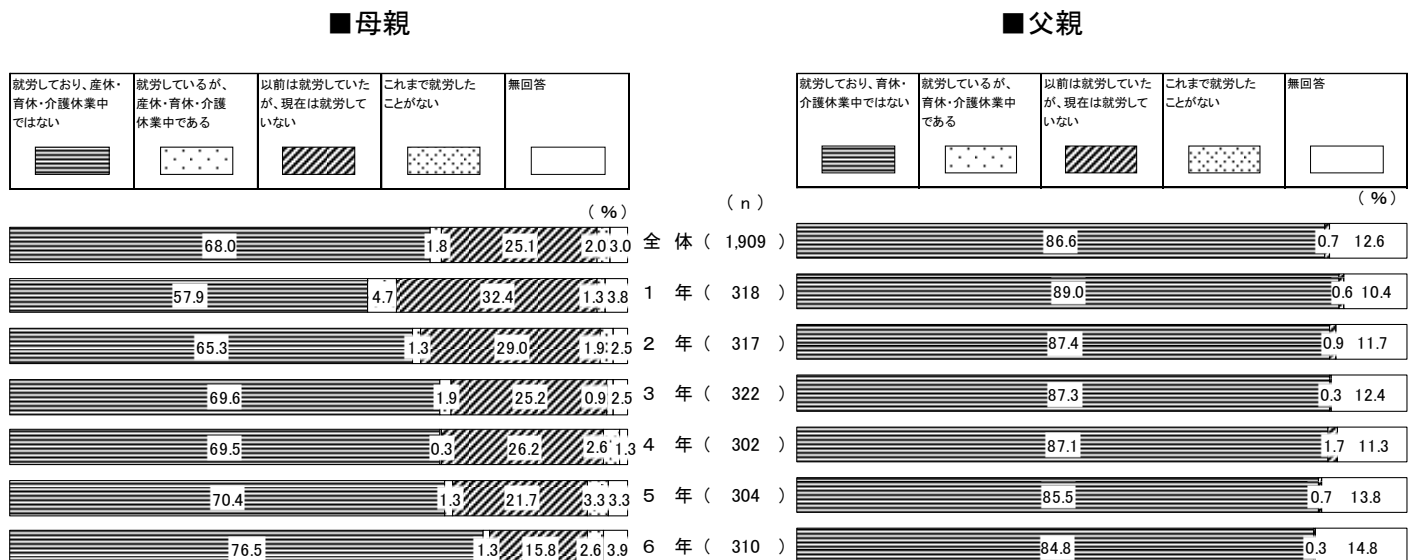
母親は、「就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（68.0%）が最も多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（25.1%）、「これまで就労したことがない」（2.0%）、「就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.8%）と続く。父親は、「就労しており、育休・介護休業中ではない」（86.6%）が最も多くなっている。



#### 【学年別】

母親は、すべての学年で「就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く、5割半ば以上となっている。

父親も、すべての学年で「就労しており、育休・介護休業中ではない」が最も多く、8割以上となっている。



問 12 問 11 の（１）母親または（２）父親で、「１．」または「２．」（就労している）を選んだ方にうかがいます。

就労日数、就労時間（残業時間を含む）、就労形態についてお答えください。

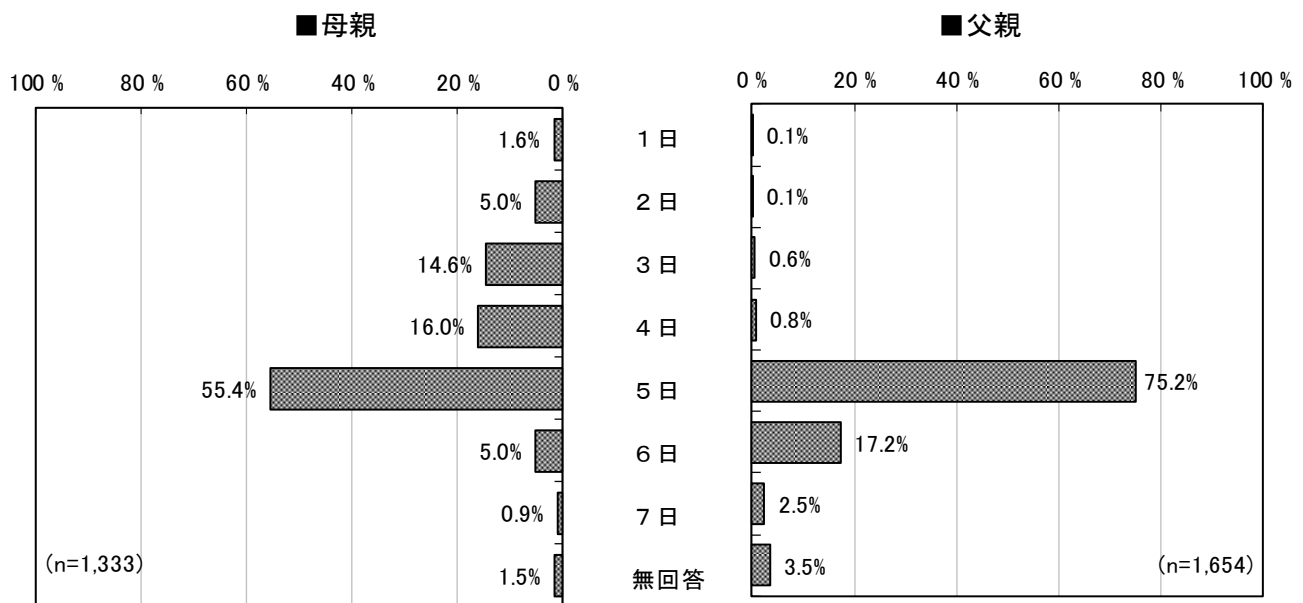
就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
日数と時間は（ ）内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。

就労形態が「その他」の場合は、（ ）内に具体的な就労形態をご記入ください。

### ① １週当たり就労日数

母親、父親ともに「５日」が最も多くなっている。



### 【全体・学年別 １週当たり平均就労日数】

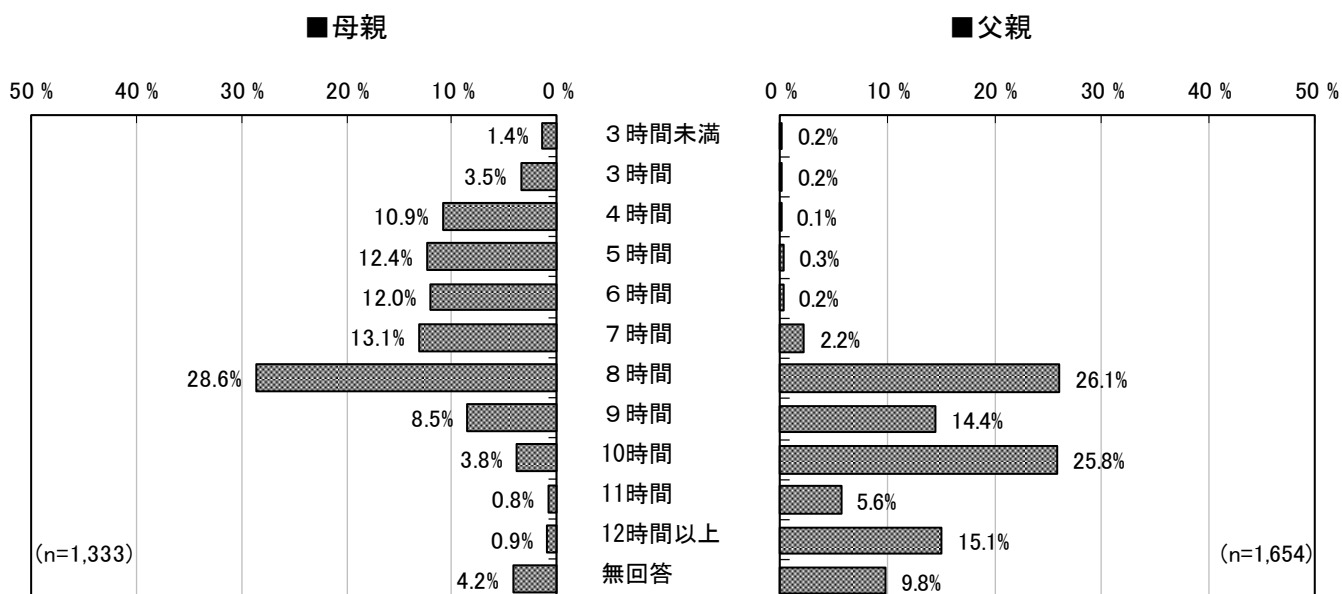
母親は、「１年」～「３年」（それぞれ 4.5 日）が最も多く、平均は 4.4 日となっている。

父親は、「１年」～「５年」（それぞれ 5.2 日）が最も多く、平均は 5.2 日となっている。

単位：日							
	全体	１年	２年	３年	４年	５年	６年
母親	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2
父親	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.1

## ② 1日当たり就労時間(残業時間を含む)

母親は、「8時間」(28.6%)が最も多く、「7時間」(13.1%)、「5時間」(12.4%)、「6時間」(12.0%)、「4時間」(10.9%)と続く。父親は、「8時間」(26.1%)が最も多く、「10時間」(25.8%)、「12時間以上」(15.1%)、「9時間」(14.4%)と続く。



## 【全体・学年別 1日当たり平均就労時間】

母親は、「2年」「5年」(6.9時間)が最も多く、平均は6.7時間となっている。

父親は、「1年」(9.7時間)が最も多く、平均は9.6時間となっている。

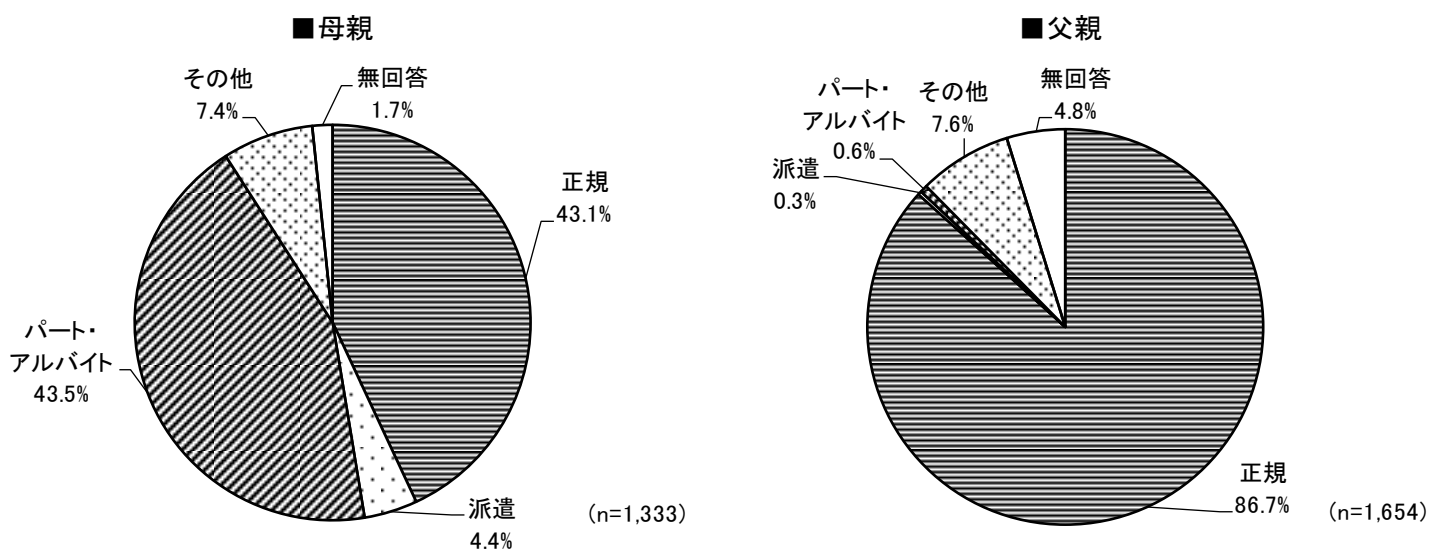
単位：時間

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
母親	6.7	6.8	6.9	6.8	6.7	6.9	6.5
父親	9.6	9.7	9.6	9.5	9.5	9.6	9.5

## ③就労形態

母親は、「パート・アルバイト」(43.5%)が最も多く、「正規」(43.1%)、「派遣」(4.4%)と続く。

父親は、「正規」(86.7%)が最も多く、「パート・アルバイト」(0.6%)、「派遣」(0.3%)と続く。

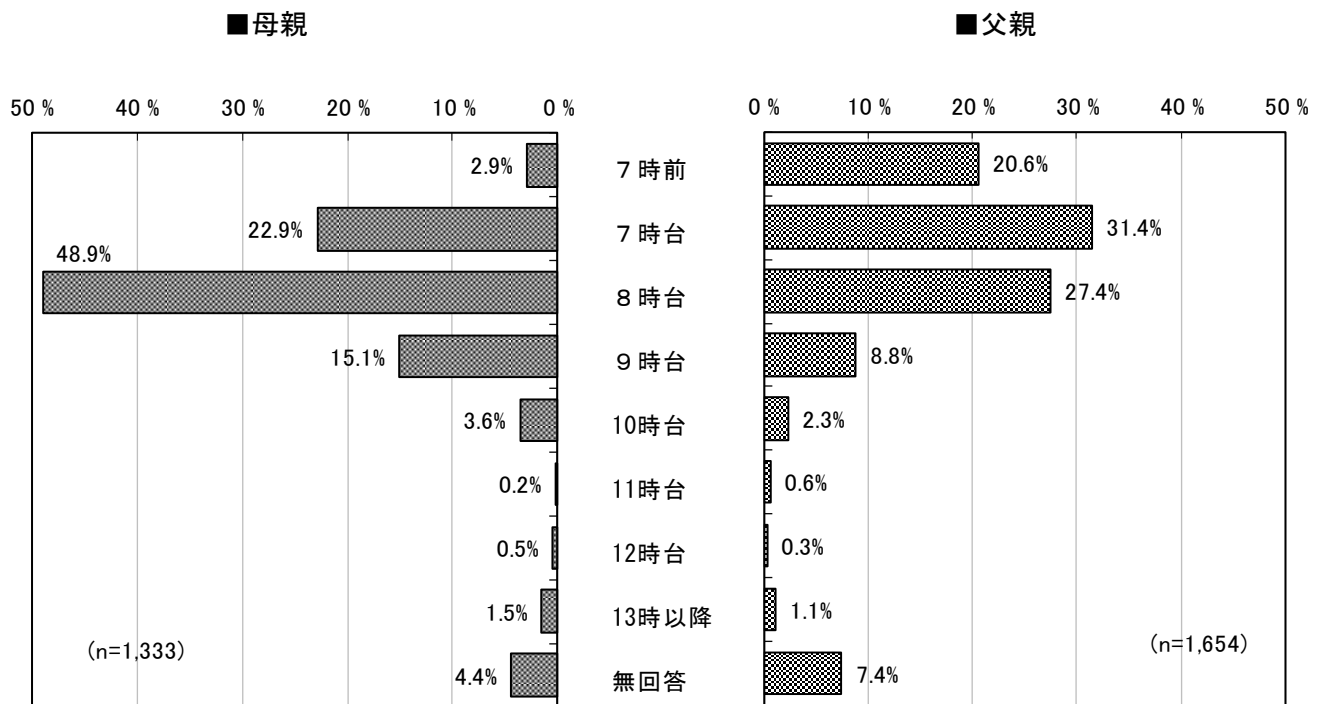


問 13 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は（ ）内に 24 時間制でご記入ください（例：8 時 30 分～18 時 30 分）。

### ① 家を出る時刻

母親は、「8 時台」(48.9%)が最も多く、「7 時台」(22.9%)、「9 時台」(15.1%)と続く。平均は 8 時 23 分となっている。

父親は、「7 時台」(31.4%)が最も多く、「8 時台」(27.4%)、「7 時前」(20.6%)と続く。平均は 7 時 40 分となっている。



### 【全体・学年別 家を出る平均時刻】

母親は、「2 年」(8 時 17 分)が最も早く、「6 年」(8 時 34 分)が最も遅くなっている。

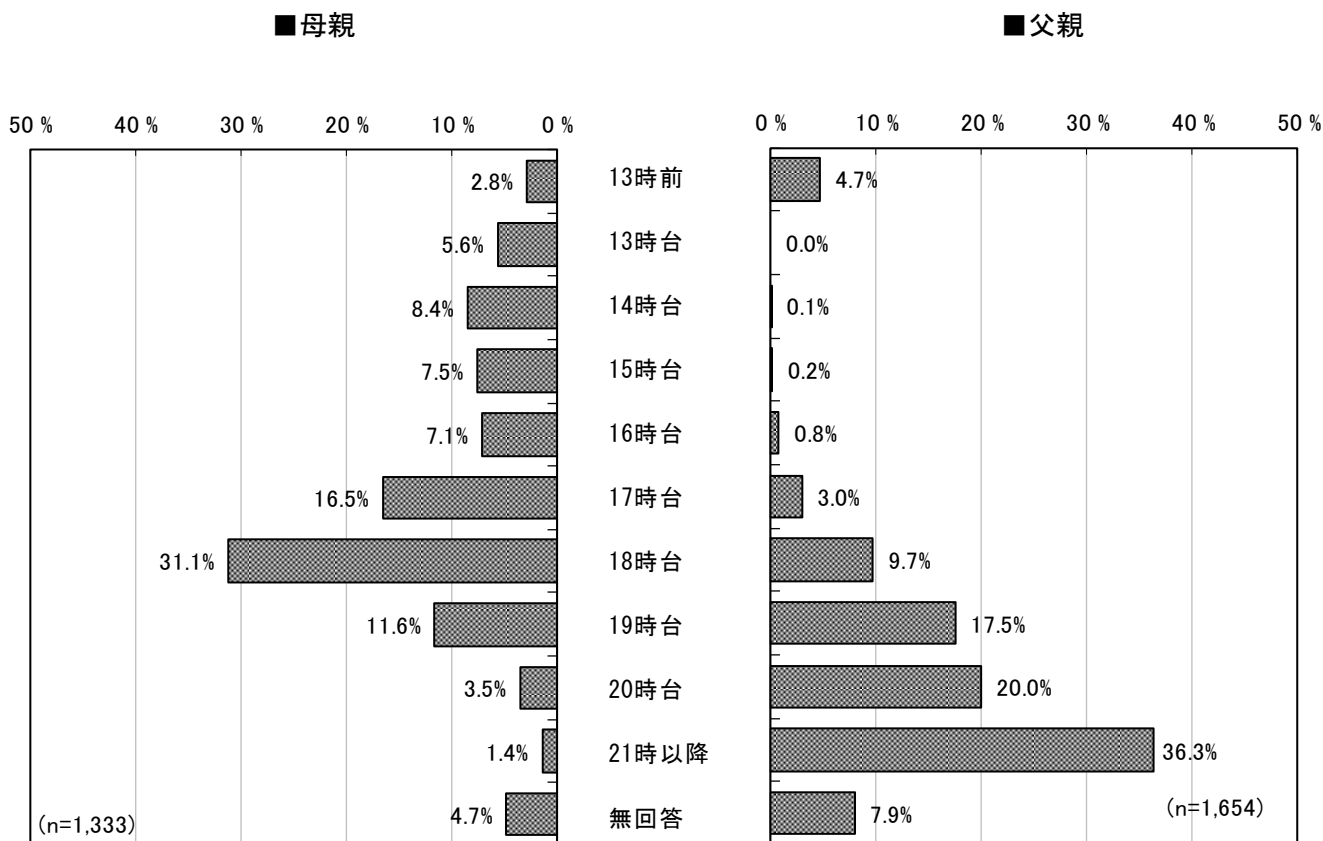
父親は、「6 年」(7 時 28 分)が最も早く、「1 年」(7 時 50 分)が最も遅くなっている。

単位：時間							
	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
母親	8 時 23 分	8 時 23 分	8 時 17 分	8 時 19 分	8 時 22 分	8 時 20 分	8 時 34 分
父親	7 時 40 分	7 時 50 分	7 時 36 分	7 時 40 分	7 時 43 分	7 時 37 分	7 時 28 分

## ② 帰宅時刻

母親は、「18 時台」(31.1%)が最も多く、「17 時台」(16.5%)、「19 時台」(11.6%)と続く。平均は 17 時 04 分となっている。

父親は、「21 時以降」(36.3%)が最も多く、「20 時台」(20.0%)、「19 時台」(17.5%)と続く。平均は 19 時 20 分となっている。



### 【全体・学年別 平均帰宅時刻】

母親は、「1 年」(16 時 57 分)が最も早く、「2 年」(17 時 14 分)が最も遅くなっている。

父親は、「1 年」(19 時 01 分)が最も早く、「6 年」(19 時 34 分)が最も遅くなっている。

単位：時間

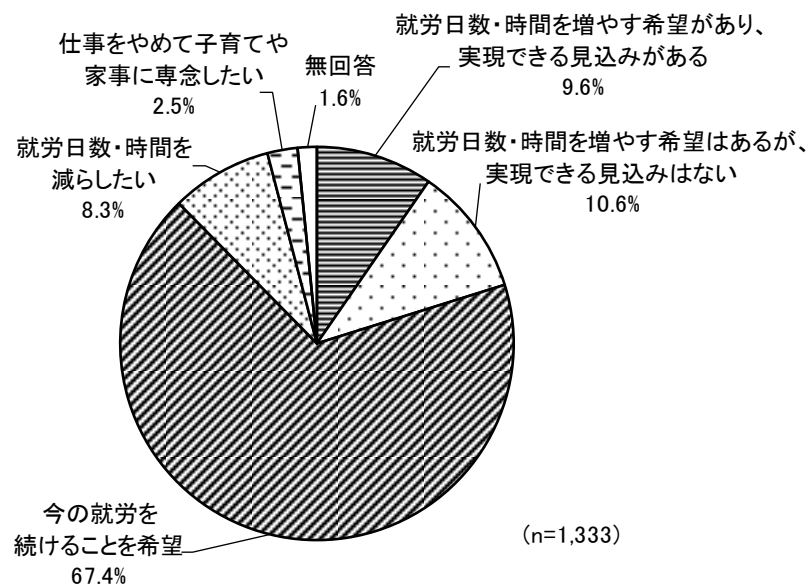
	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
母親	17 時 04 分	16 時 57 分	17 時 14 分	17 時 03 分	17 時 01 分	17 時 07 分	16 時 58 分
父親	19 時 20 分	19 時 01 分	19 時 10 分	19 時 16 分	19 時 31 分	19 時 25 分	19 時 34 分

問 14 今後、就労状況を変更する希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、  
( ) 内に数字をご記入ください。

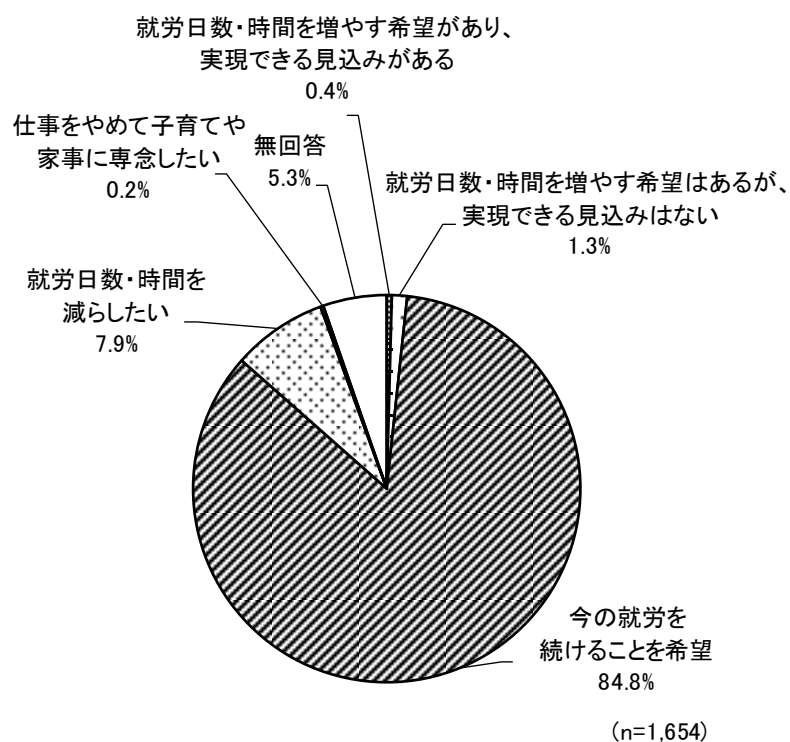
母親は、「今の就労を続けることを希望」(67.4%)が最も多く、「就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない」(10.6%)、「就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある」(9.6%)と続く。

父親は、「今の就労を続けることを希望」(84.8%)が最も多く、「就労日数・時間を減らしたい」(7.9%)、「就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない」(1.3%)と続く。

#### ■母親



#### ■父親





## 【学年別】

母親は、すべての学年で「今の就労を続けることを希望」が最も多く、6割以上となっている。  
父親も、すべての学年で「今の就労を続けることを希望」が最も多く、8割以上となっている。

### ■母親

単位：％

	合計	就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある	就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない	今の就労を続けることを希望	就労日数・時間を減らしたい	仕事をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
全体	1,333	9.6	10.6	67.4	8.3	2.5	1.6
1年	199	9.5	5.5	69.8	9.5	2.0	3.5
2年	211	9.5	11.4	68.7	5.2	3.8	1.4
3年	230	12.2	9.1	65.2	11.7	0.9	0.9
4年	211	9.0	8.5	72.0	7.6	1.9	0.9
5年	218	7.3	13.3	66.5	8.7	2.8	1.4
6年	241	10.8	14.1	63.9	6.2	3.7	1.2

### ■父親

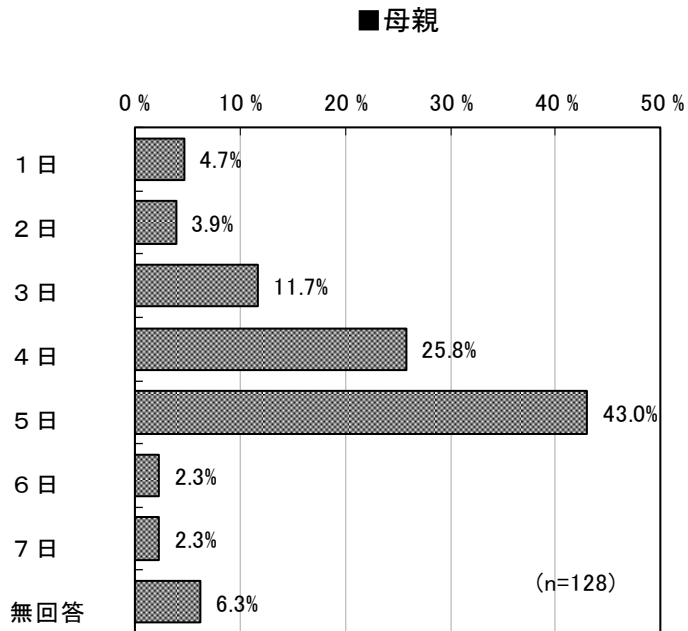
単位：％

	合計	就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある	就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない	今の就労を続けることを希望	就労日数・時間を減らしたい	仕事をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
全体	1,654	0.4	1.3	84.8	7.9	0.2	5.3
1年	283	0.4	1.1	84.8	7.4	—	6.4
2年	277	0.7	2.2	83.8	8.7	0.4	4.3
3年	281	—	1.1	86.8	7.5	0.4	4.3
4年	263	0.8	0.4	84.4	8.4	0.4	5.7
5年	260	0.8	1.2	84.6	7.7	0.4	5.4
6年	263	—	1.5	85.6	8.0	—	4.9

＜就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある＞

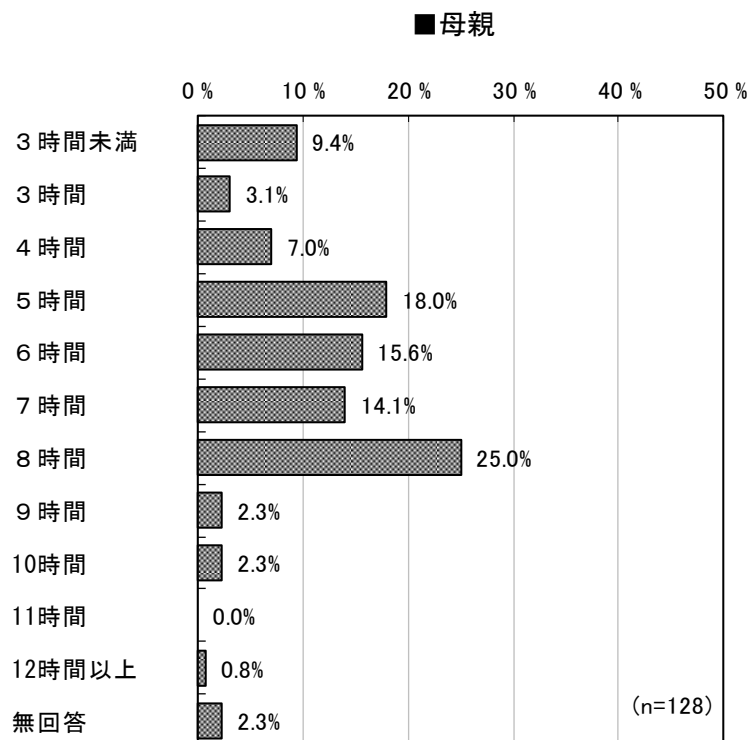
【増加後の日数等 1週当たり日数】

母親は、「5日」(43.0%)が最も多く、平均は4.2日となっている。父親は、「6日」(3件)が最も多く、「5日」が2件、「2日」「3日」がそれぞれ1件、平均は4.7日となっている。



【増加後の日数等 1日当たり時間】

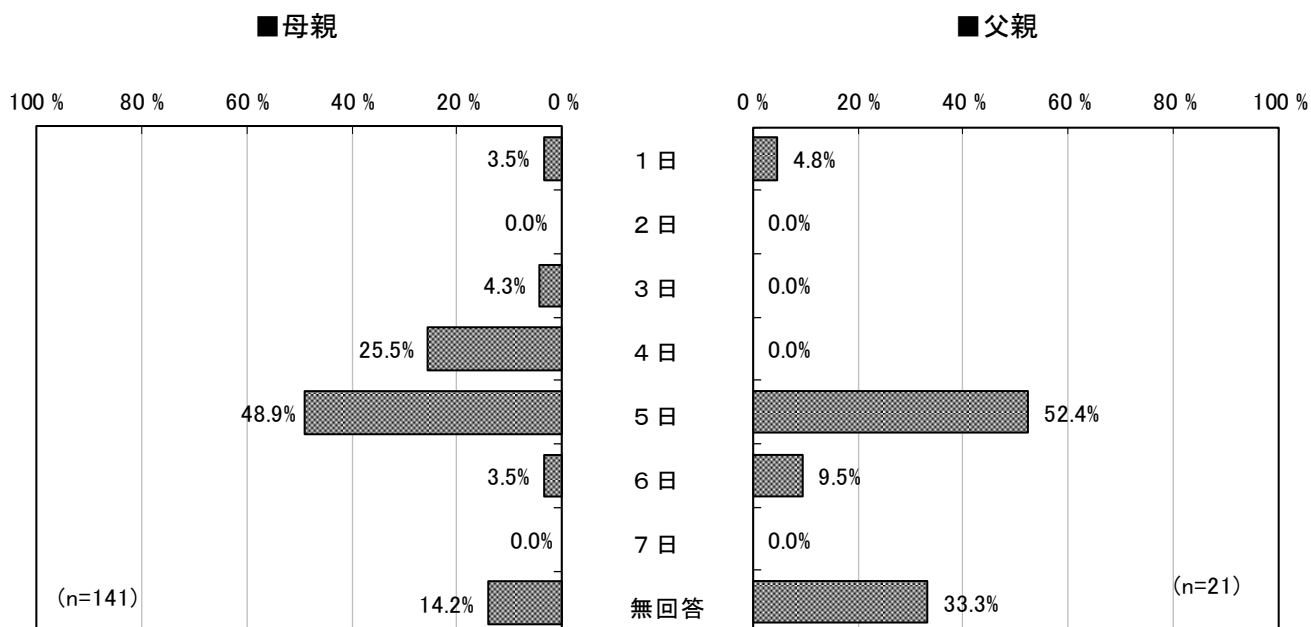
母親は、「8時間」(25.0%)が最も多く、「5時間」(18.0%)、「6時間」(15.6%)、「7時間」(14.1%)と続く。平均は6.0時間となっている。父親は、「10時間」が3件、「3時間」「4時間」「9時間」がそれぞれ1件、平均は7.7時間となっている（無回答1件）。



## <就労日数・時間を増やす希望があるが、実現できる見込みはない>

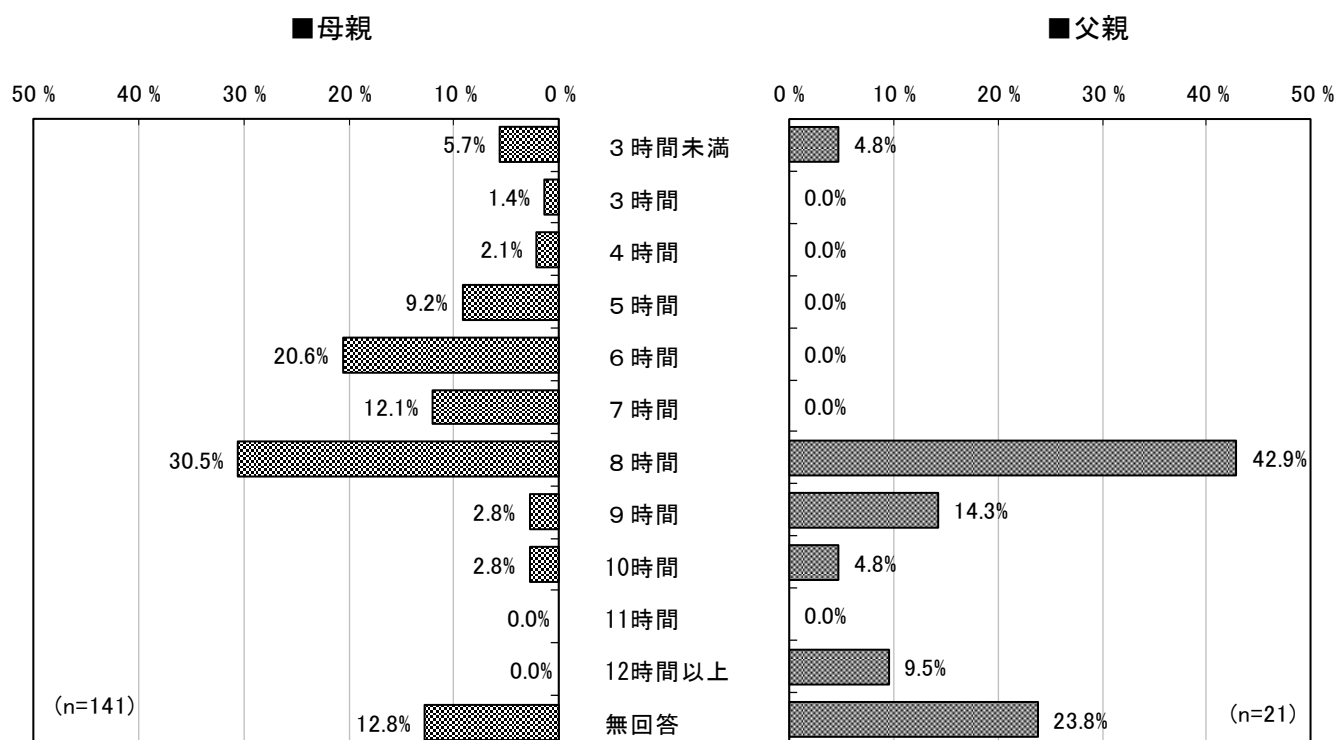
### 【増加後の日数等 1週当たり日数】

母親は、「5日」(48.9%)が最も多く、平均は4.5日となっている。父親は、「5日」(52.4%)が最も多く、平均は4.9日となっている。



### 【増加後の日数等 1日当たり時間】

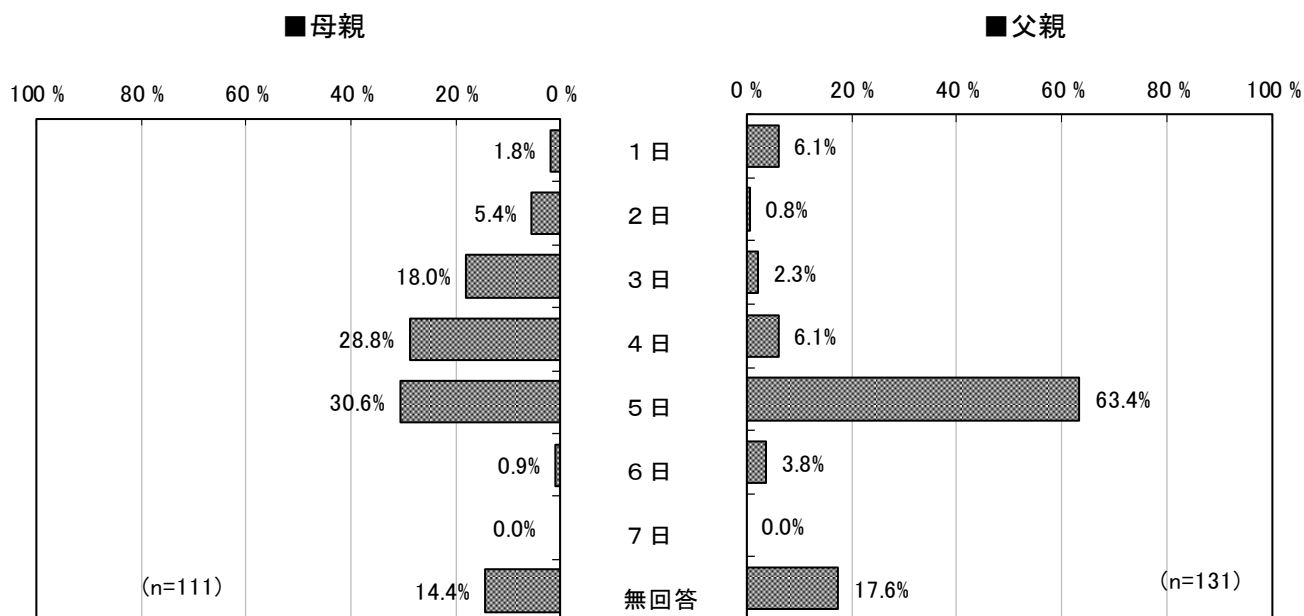
母親は、「8時間」(30.5%)が最も多く、「6時間」(20.6%)、「7時間」(12.1%)と続く。平均は6.6時間となっている。父親は、「8時間」(42.9%)が最も多く、「9時間」(14.3%)と続く。平均は8.4時間となっている。



## <就労日数・時間を減らしたい>

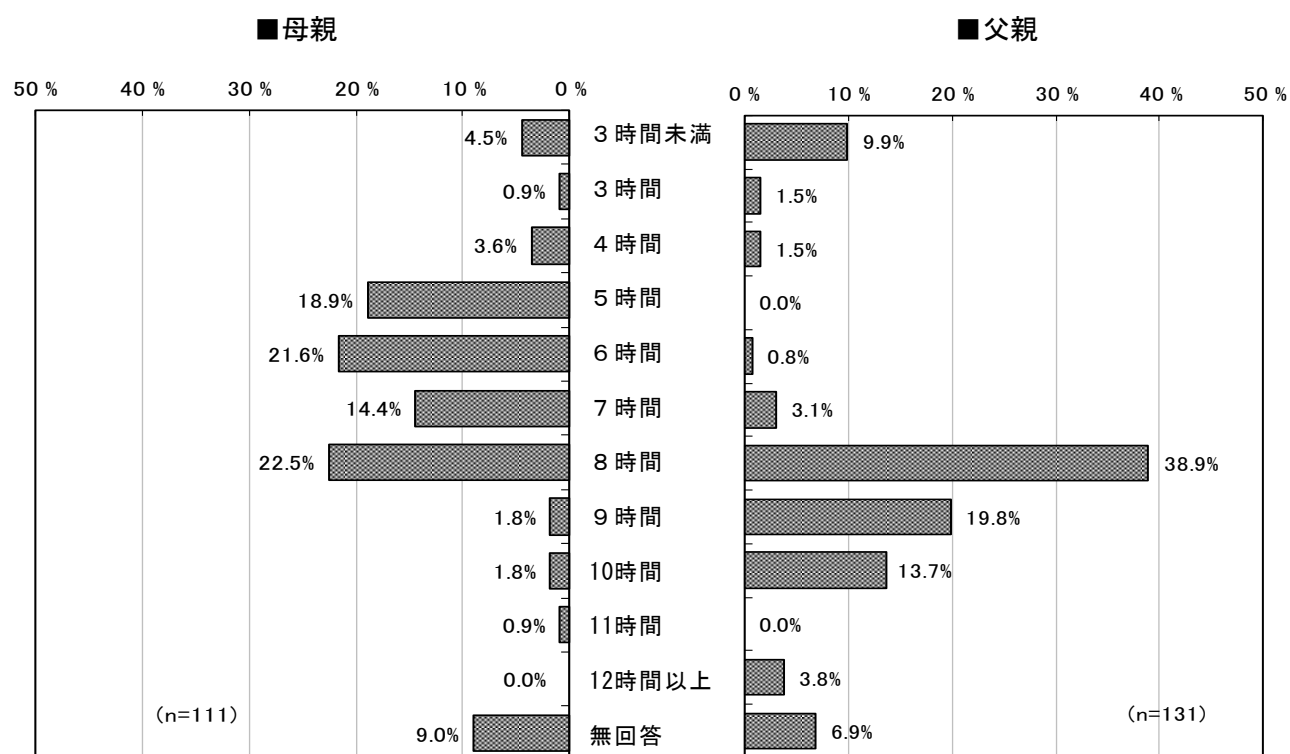
### 【減少後の日数等 1週当たり日数】

母親は、「5日」(30.6%)が最も多く、平均は4.0日となっている。父親は「5日」(63.4%)が最も多く、平均は4.6日となっている。



### 【減少後の日数等 1日当たり時間】

母親は、「8時間」(22.5%)が最も多く、「6時間」(21.6%)、「5時間」(18.9%)と続く。平均は6.3時間となっている。父親は、「8時間」(38.9%)が最も多く、「9時間」(19.8%)、「10時間」(13.7%)と続く。平均は7.8時間となっている。



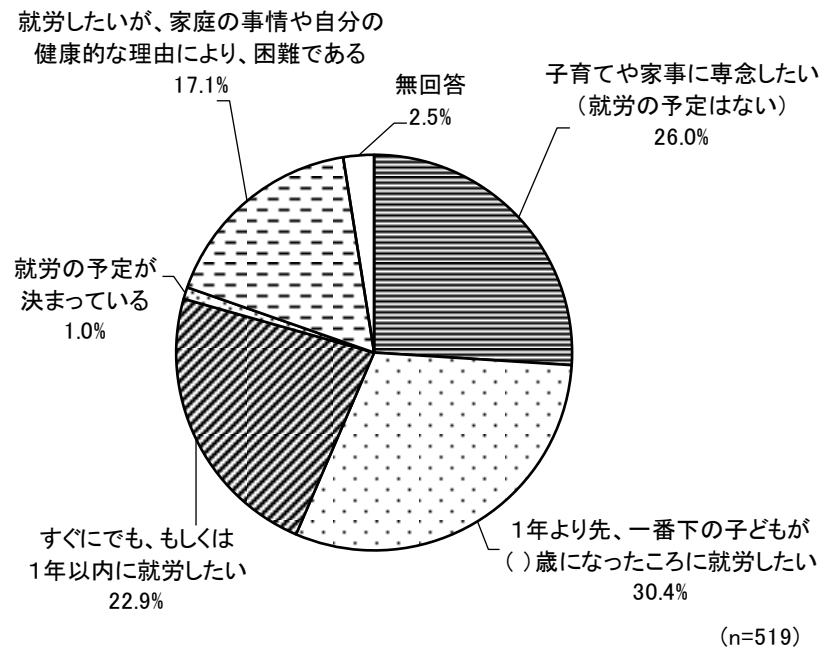
問 15 問 11 の（１）母親または（２）父親で、「３．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「４．これまで就労したことがない」を選んだ方にうかがいます。

今後、就労したい希望はありますか。あてはまる番号１つに○をつけ、日数と時間等は（ ）内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は、（ ）内に具体的な就労形態をご記入ください。

母親は、「１年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」（30.4%）が最も多く、「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」（26.0%）、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」（22.9%）と続く。

父親は、「就労したいが、家庭の事情や自分の健康的な理由により、困難である」が７件、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が５件、「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が２件となっている。

#### ■母親



## 【学年別(母親)】

“1年”～“3年”“5年”で「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が最も多くなっており、“4年”では「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」が最も多く、“6年”では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多くなっている。なお、“2年”では「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」も多くなっている。

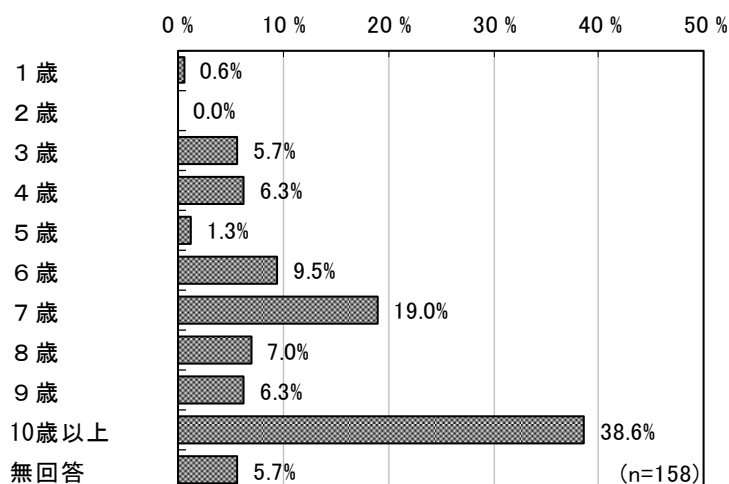
単位：％

	合計	子育てや家事に専念したい (就労の予定はない)	1年より先、一番下の子どもが ( )歳になったところに就労したい	すぐにでも、 もしくは1年以内に 就労したい	就労の予定が決まっている	就労したいが、家庭の事情や自分の 健康的な理由により、困難である	無回答
全体	519	26.0	30.4	22.9	1.0	17.1	2.5
1年	107	27.1	36.4	22.4	—	14.0	—
2年	98	27.6	27.6	21.4	1.0	17.3	5.1
3年	84	16.7	42.9	19.0	—	19.0	2.4
4年	87	29.9	25.3	25.3	3.4	13.8	2.3
5年	76	25.0	28.9	23.7	1.3	19.7	1.3
6年	57	29.8	15.8	31.6	—	19.3	3.5

## ＜1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい＞

母親は、「10歳以上」(38.6%)が最も多く、「7歳」(19.0%)、「6歳」(9.5%)と続く。

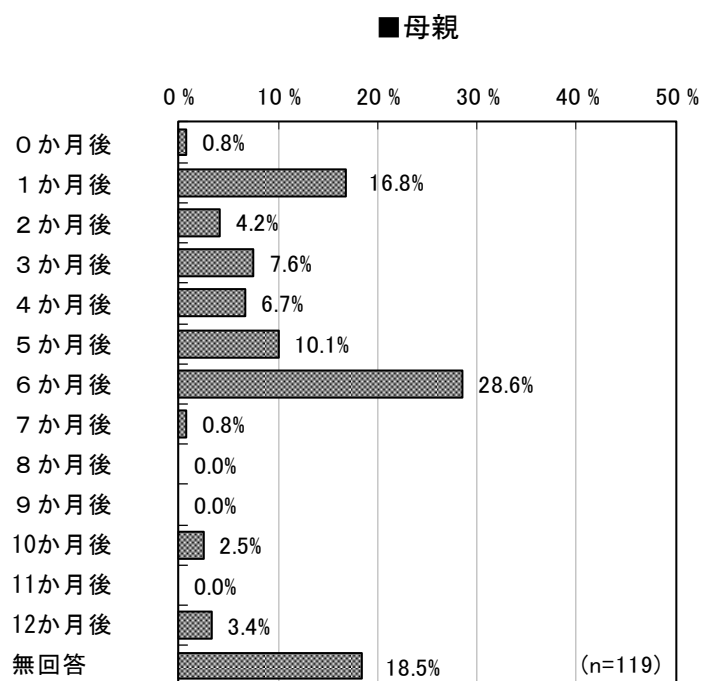
### ■母親



## <すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい>

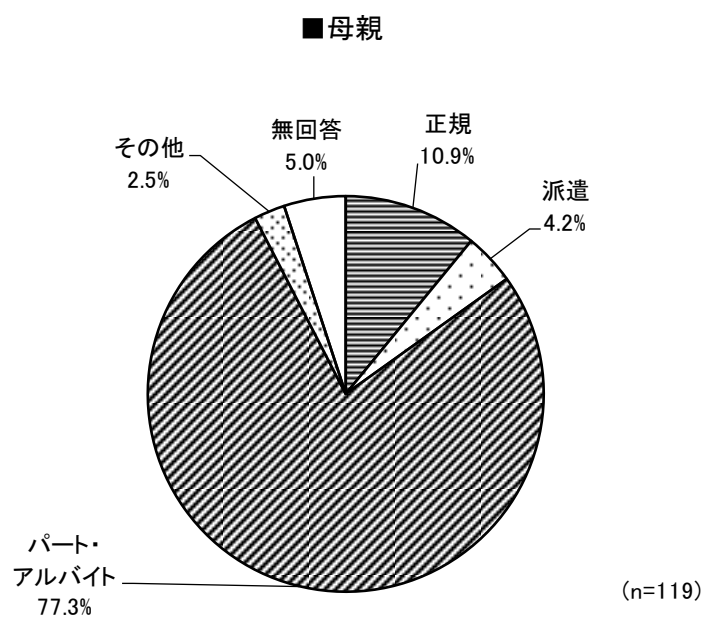
### 【希望時期】

母親は、「6か月後」(28.6%)が最も多く、「1か月後」(16.8%)、「5か月後」(10.1%)と続く。  
父親は、「1か月後」が2件、「3か月後」「6か月後」がそれぞれ1件となっている（無回答1件）。



### 【希望する就労形態】

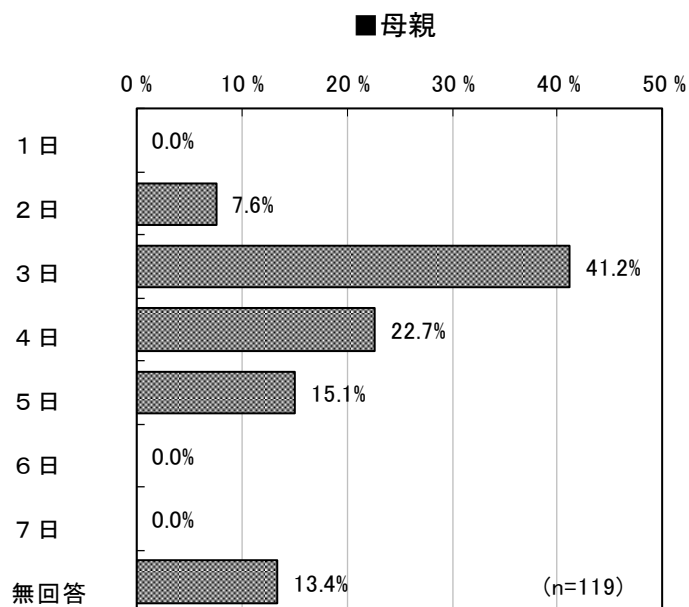
母親は、「パート・アルバイト」(77.3%)が最も多く、「正規」(10.9%)、「派遣」(4.2%)と続く。  
父親は、「正規」が4件、「パート・アルバイト」が1件となっている。



### 【1週当たり希望日数】

母親は、「3日」(41.2%)が最も多く、「4日」(22.7%)、「5日」(15.1%)と続く。

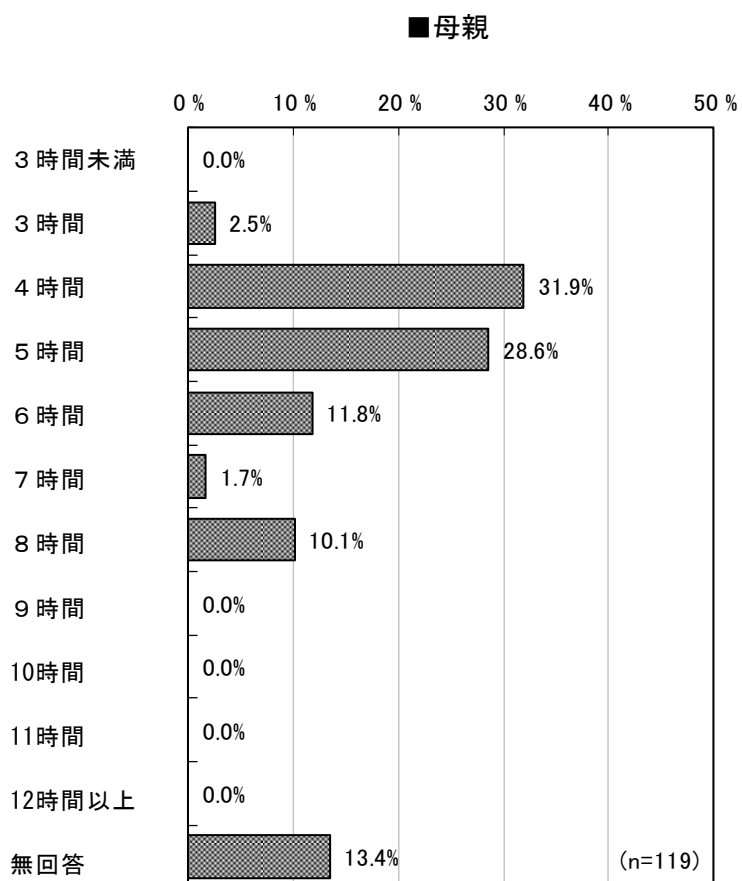
父親は、「5日」が2件、「6日」が1件となっている(無回答2件)。



### 【1日当たり希望時間】

母親は、「4時間」(31.9%)が最も多く、「5時間」(28.6%)、「6時間」(11.8%)と続く。

父親は、「8時間」が2件、「10時間」が1件となっている(無回答2件)。





**<就労の予定が決まっている>**

**【開始時期】**

母親は、「2022年4月」が2件、「2021年11月」「2021年12月」「2022年5月」がそれぞれ1件となっている。

**【1週当たり日数】**

母親は、「4日」が2件、「2日」「3日」がそれぞれ1件となっている（無回答1件）。

**【1日当たり時間】**

母親は、「5時間」が2件、「3時間」「4時間」がそれぞれ1件となっている（無回答1件）。

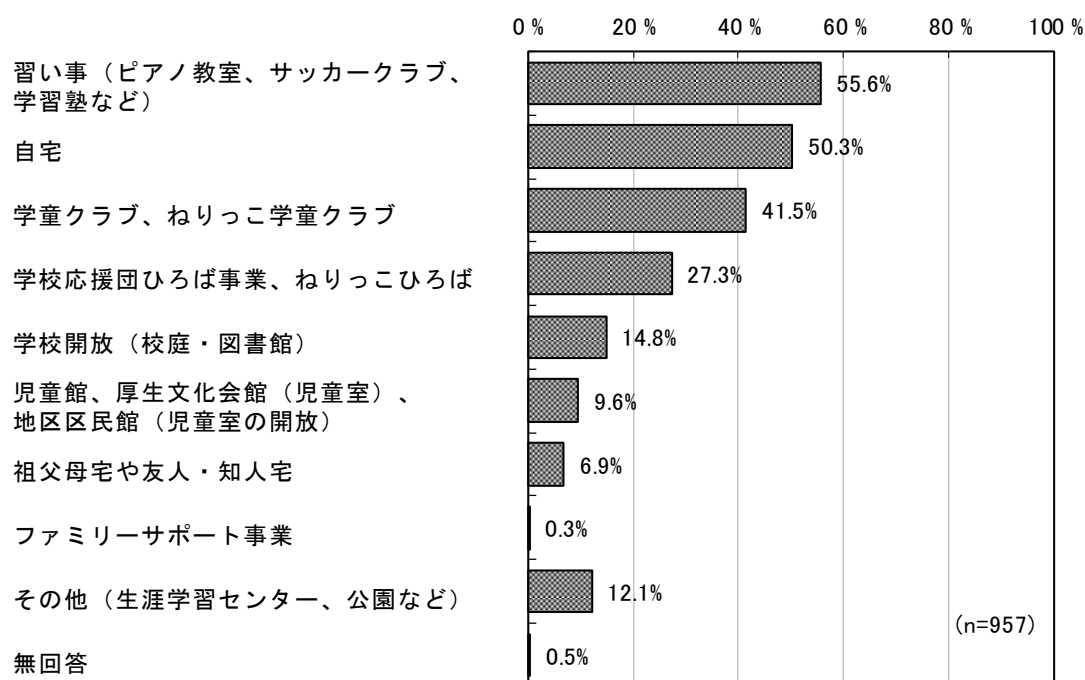
#### 4. 放課後の過ごし方について

問 16 あて名のお子さんを、放課後（平日の小学校終了後）の時間にどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、希望する日数をご記入ください。（１）は、お子さんが低学年（１～３年生）の方のみお答えください。（２）はすべての方がお答えください。

「学童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も（ ）内に 24 時間制でご記入ください。（例：19 時）

##### ① 小学校低学年（１～３年生）のとき ※お子さんが低学年（１～３年生）の方のみ回答

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」(55.6%)が最も多く、「自宅」(50.3%)、「学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」(41.5%)、「学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」(27.3%)と続く。



## 【学年別】

すべての学年で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、5割以上となっている。

単位：％

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学校開放（校庭・図書館）	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	957	50.3	6.9	55.6	9.6	27.3	14.8	41.5	0.3	12.1	0.5
1年	318	43.4	6.3	54.1	7.2	30.2	13.5	47.5	0.6	8.2	0.3
2年	317	51.4	5.0	53.6	9.5	31.9	15.5	40.1	—	12.6	0.6
3年	322	55.9	9.3	59.0	12.1	19.9	15.5	37.0	0.3	15.5	0.6

## 【母親の就労状況別】

“就労しており、産休・育休・介護休業中ではない” “就労しているが、産休・育休・介護休業中である” では「学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」が最も多く、“以前は就労していたが、現在は就労していない” では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、“これまで就労したことがない” では「自宅」が最も多くなっている。

単位：％

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学校開放（校庭・図書館）	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	957	50.3	6.9	55.6	9.6	27.3	14.8	41.5	0.3	12.1	0.5
就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	615	38.0	6.2	45.2	9.9	22.0	12.2	56.6	0.5	8.9	0.5
就労しているが、産休・育休・介護休業中である	25	28.0	4.0	36.0	4.0	32.0	16.0	68.0	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	276	77.9	8.3	80.8	9.8	40.2	20.3	6.5	—	20.3	0.4
これまで就労したことがない	13	76.9	—	61.5	7.7	23.1	23.1	7.7	—	23.1	—

## 【居住地区別】

すべての居住地区で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、5割以上となっている。

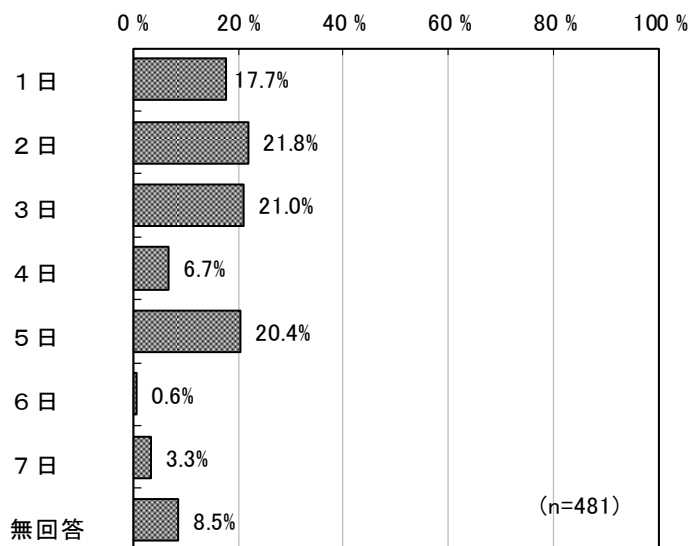
単位：％

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学校開放（校庭・図書館）	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	957	50.3	6.9	55.6	9.6	27.3	14.8	41.5	0.3	12.1	0.5
練馬	210	47.1	6.7	53.8	6.7	24.8	15.7	41.9	—	14.8	1.0
光が丘	265	49.4	7.5	54.3	13.2	28.7	12.5	44.9	0.4	10.9	—
石神井	287	51.6	4.5	55.4	7.3	25.8	16.0	41.1	0.7	12.5	0.3
大泉	186	53.2	8.6	60.2	11.8	31.2	15.6	37.1	—	10.2	1.1

## ○希望する 1 週当たり日数

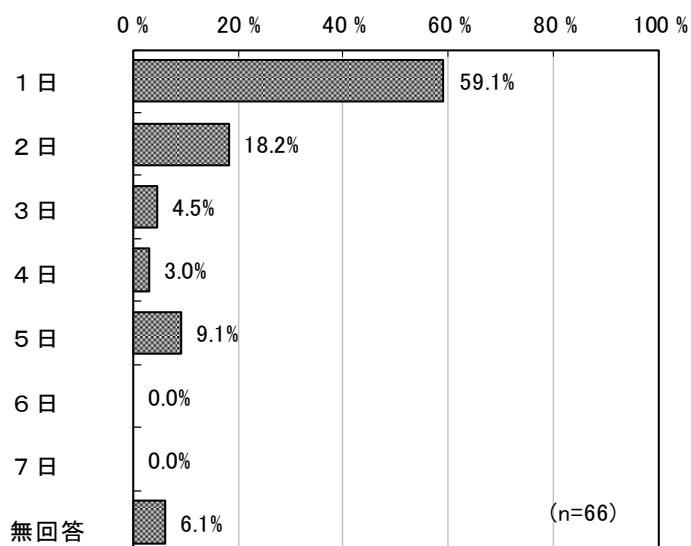
### ・ 自宅

「2 日」(21.8%)が最も多く、「3 日」(21.0%)、「5 日」(20.4%)と続く。平均は 3.1 日となっている。



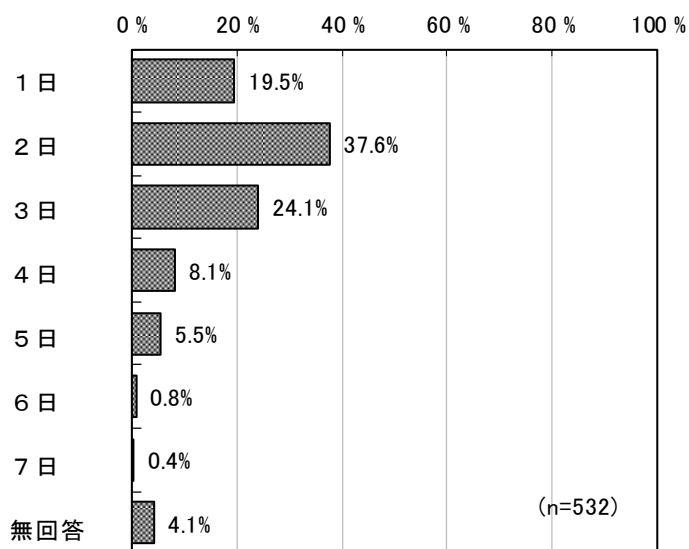
### ・ 祖父母宅や友人・知人宅

「1 日」(59.1%)が最も多く、「2 日」(18.2%)、「5 日」(9.1%)と続く。平均は 1.8 日となっている。



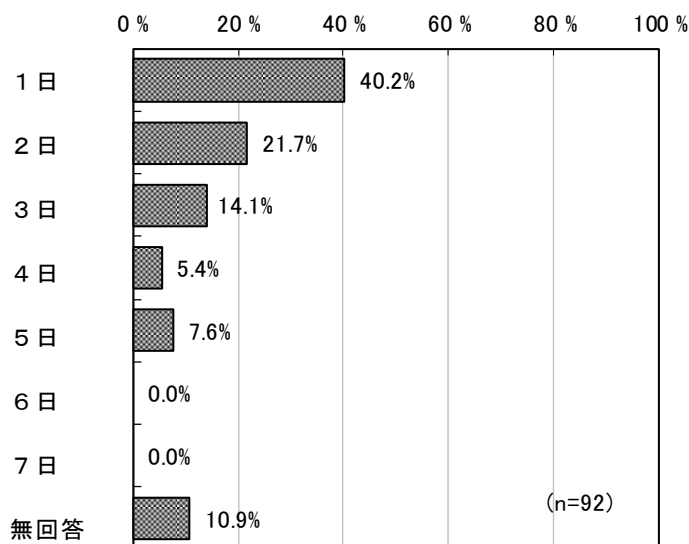
・習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」(37.6%)が最も多く、「3日」(24.1%)、「1日」(19.5%)と続く。平均は2.4日となっている。



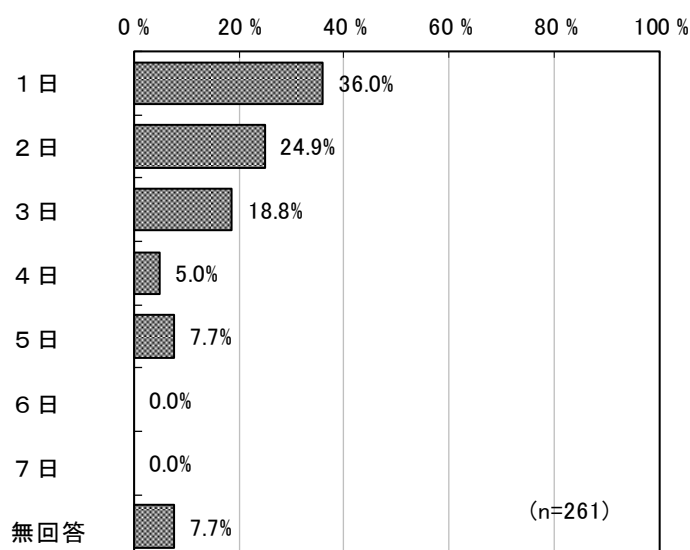
・児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）

「1日」(40.2%)が最も多く、「2日」(21.7%)、「3日」(14.1%)と続く。平均は2.1日となっている。



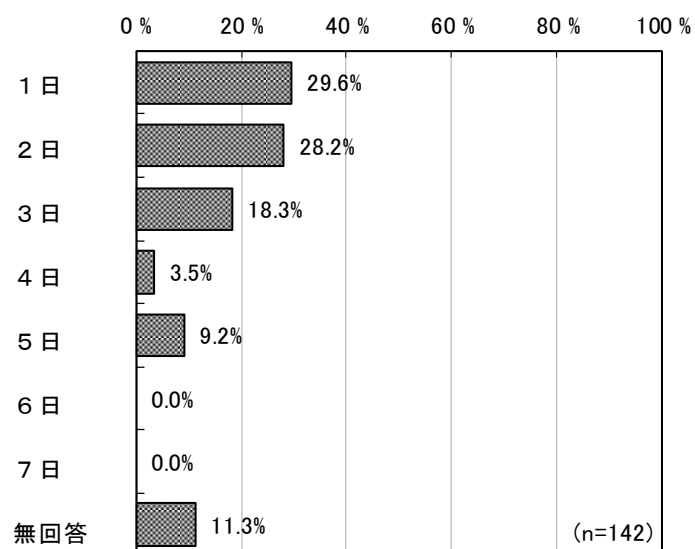
#### ・学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば

「1日」(36.0%)が最も多く、「2日」(24.9%)、「3日」(18.8%)と続く。平均は2.2日となっている。



#### ・学校開放（校庭・図書館）

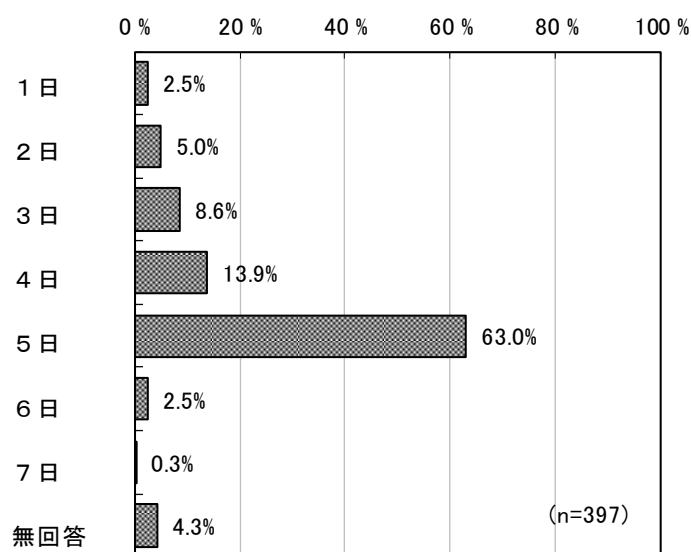
「1日」(29.6%)が最も多く、「2日」(28.2%)、「3日」(18.3%)と続く。平均は2.3日となっている。





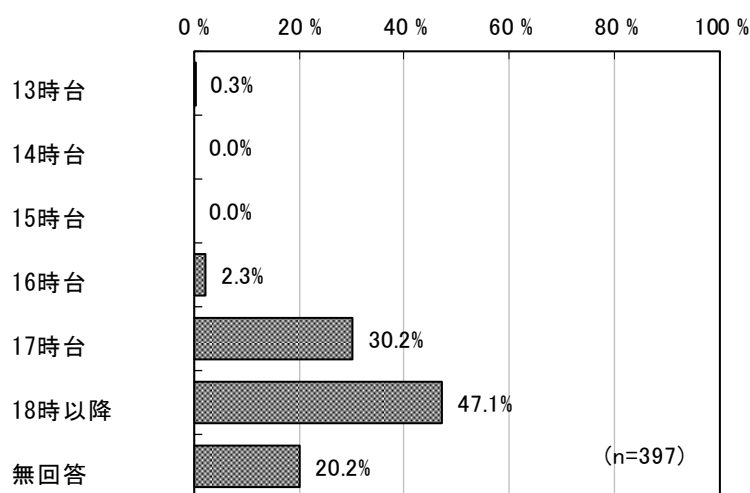
### ・学童クラブ、ねりっこ学童クラブ

「5日」(63.0%)が最も多く、「4日」(13.9%)、「3日」(8.6%)と続く。平均は4.4日となっている。



### 【利用希望時間「下校から（ ）時まで」】

「18時以降」(47.1%)が最も多く、「17時台」(30.2%)、「16時台」(2.3%)と続く。平均は17時40分となっている。

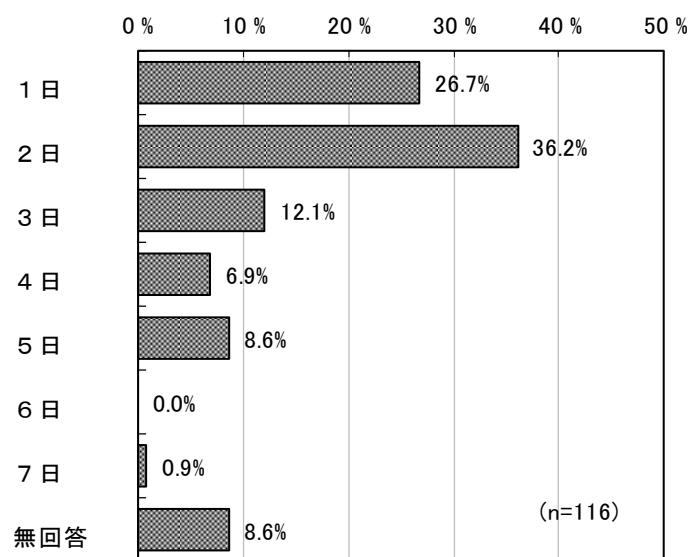


### ・ファミリーサポート事業

「5日」が2件、「1日」が1件となっている。

・その他（生涯学習センター、公園など）

「2日」(36.2%)が最も多く、「1日」(26.7%)、「3日」(12.1%)と続く。平均は2.3日となっている。



【学年別 小学校低学年の放課後に過ごさせたい場所の1週当たり平均日数】

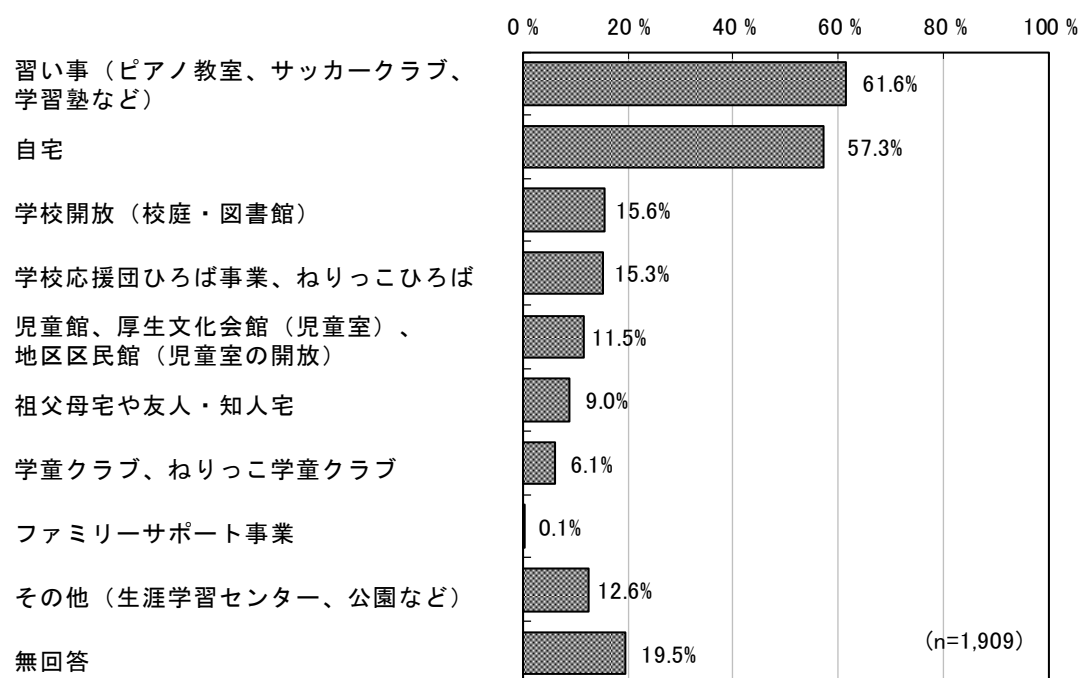
すべての学年で「学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」が4日以上となっている。

単位：日

	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事 (ピアノ教 室、サッカ ークラブ、 学習塾な ど)	児童館、 厚生文化会 館(児童 室)、地区 区民館(児 童室の開 放)	学校応援 団ひろば 事業、 ねりっこひ ろば	学童クラ ブ、 ねりっこ学 童クラブ	ファミリー サポート 事業	その他 (生涯学 習センタ ー、公園 など)
全体	3.1	1.8	2.4	2.1	2.2	4.4	3.7	2.3
1年	3.0	2.1	2.5	2.4	2.2	4.5	5.0	2.1
2年	3.1	2.0	2.3	2.3	2.2	4.5	—	2.5
3年	3.1	1.5	2.5	1.8	2.1	4.4	1.0	2.3

② 小学校高学年（４～６年生）のとき ※すべての方が回答

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」(61.6%)が最も多く、「自宅」(57.3%)、「学校開放(校庭・図書館)」(15.6%)と続く。



## 【学年別】

“1年”～“4年”で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多くなっている。また、“5年”“6年”では「自宅」が最も多く、学年が上がるにつれて「自宅」が多くなる傾向がみられる。

単位：％

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学校開放（校庭・図書館）	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	1,909	57.3	9.0	61.6	11.5	15.3	15.6	6.1	0.1	12.6	19.5
1年	318	35.8	8.2	48.4	8.8	19.2	18.6	8.2	0.3	6.9	37.4
2年	317	38.5	4.4	44.8	7.9	15.5	15.1	5.7	—	10.4	41.0
3年	322	45.0	7.1	53.4	10.6	16.8	13.7	8.7	—	11.8	33.2
4年	302	73.2	11.6	75.5	13.6	21.2	17.9	8.6	0.3	14.6	1.3
5年	304	75.3	9.5	72.7	15.8	10.5	15.1	3.6	—	16.4	1.3
6年	310	77.1	12.6	76.5	12.9	8.7	14.2	1.9	—	16.1	0.3

# 【母親の就労状況別】

“これまで就労したことがない”を除いて「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多くなっている。

単位：％

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	地区区民館（児童室の開放）	児童館、厚生文化会館（児童室）、	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学校開放（校庭・図書館）	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	1,909	57.3	9.0	61.6	11.5	15.3	15.6	6.1	0.1	12.6	19.5	
就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1,298	57.2	9.1	60.8	11.6	15.2	14.8	7.6	0.2	11.7	18.0	
就労しているが、産休・育休・介護休業中である	35	42.9	8.6	60.0	14.3	25.7	31.4	5.7	—	11.4	25.7	
以前は就労していたが、現在は就労していない	480	58.1	9.0	64.6	10.8	16.5	16.9	2.1	—	15.0	23.1	
これまで就労したことがない	39	74.4	2.6	56.4	7.7	10.3	17.9	—	—	23.1	15.4	

## 【居住地区別】

すべての居住地区で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、6割以上となっている。

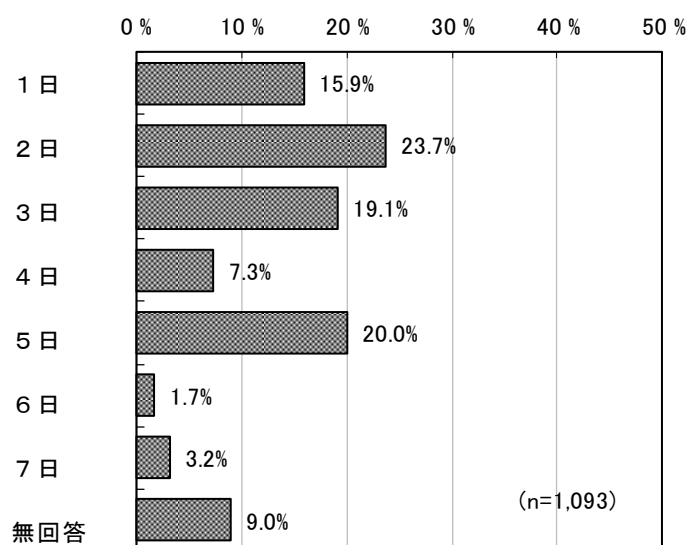
単位：％

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）	学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	学校開放（校庭・図書館）	学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	ファミリーサポート事業	その他（生涯学習センター、公園など）	無回答
全体	1,909	57.3	9.0	61.6	11.5	15.3	15.6	6.1	0.1	12.6	19.5
練馬	403	57.8	7.7	64.5	7.9	13.2	15.6	6.0	—	11.7	19.9
光が丘	517	54.9	8.9	61.5	15.7	19.7	16.1	6.8	0.4	13.0	19.7
石神井	562	56.9	7.3	60.1	8.9	12.6	13.2	6.8	—	11.6	20.3
大泉	403	60.0	12.2	61.0	13.9	16.1	18.9	4.5	—	15.1	17.4

## ○希望する1週当たり日数

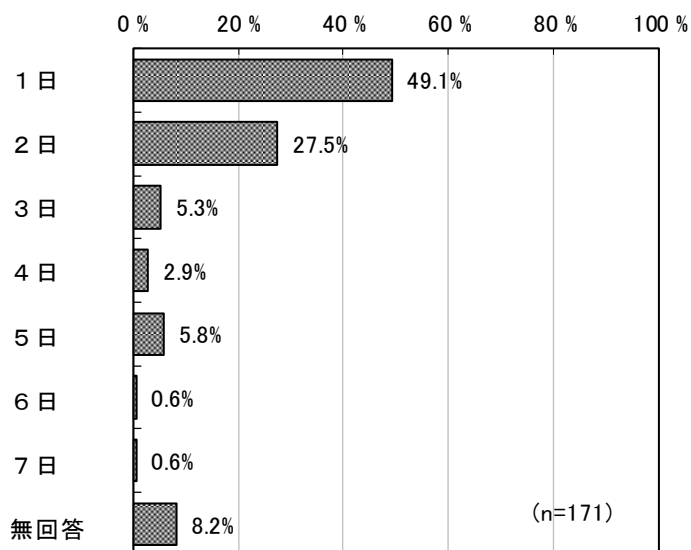
### ・自宅

「2日」（23.7%）が最も多く、「5日」（20.0%）「3日」（19.1%）と続く。平均は3.1日となっている。



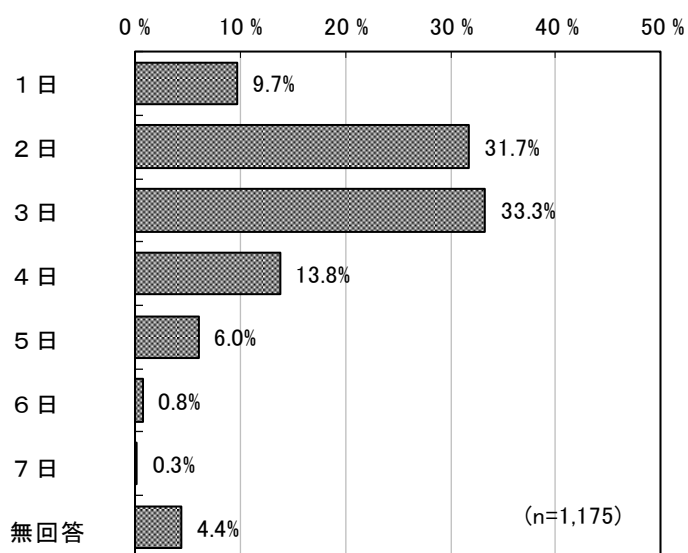
#### ・祖父母宅や友人・知人宅

「1日」(49.1%)が最も多く、「2日」(27.5%)、「5日」(5.8%)と続く。平均は1.8日となっている。



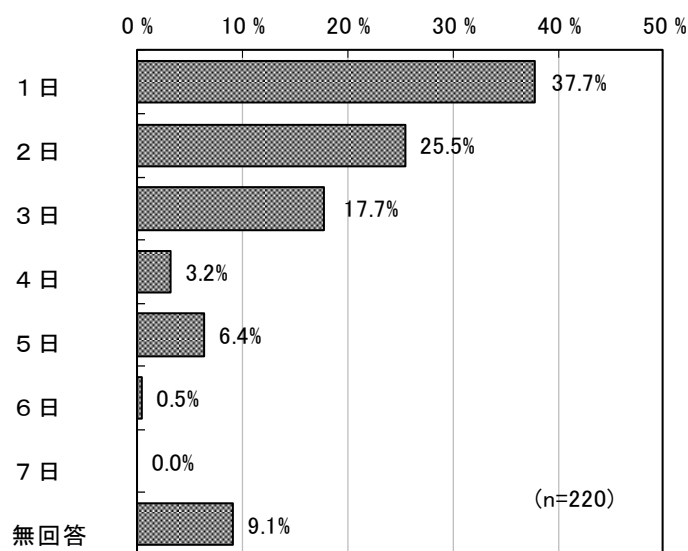
#### ・習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「3日」(33.3%)が最も多く、「2日」(31.7%)、「4日」(13.8%)と続く。平均は2.8日となっている。



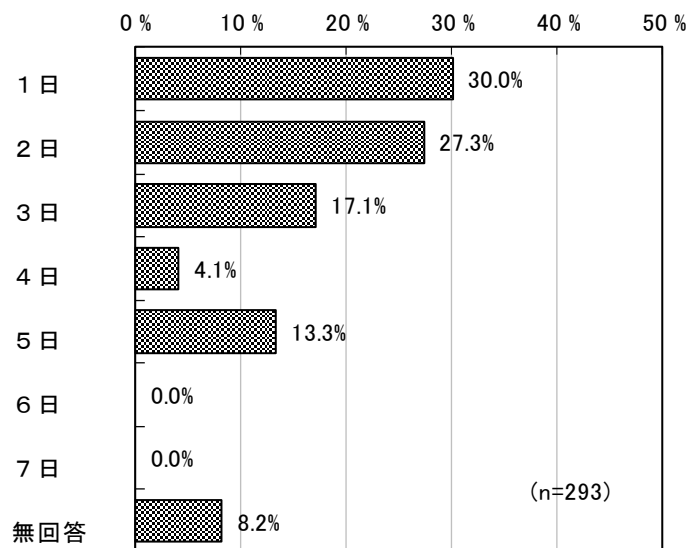
・児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）

「1日」(37.7%)が最も多く、「2日」(25.5%)、「3日」(17.7%)と続く。平均は2.1日となっている。



・学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば

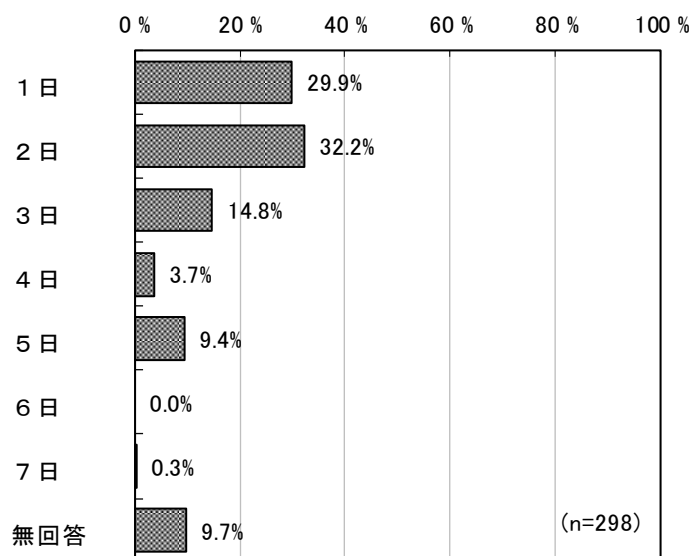
「1日」(30.0%)が最も多く、「2日」(27.3%)、「3日」(17.1%)と続く。平均は2.4日となっている。





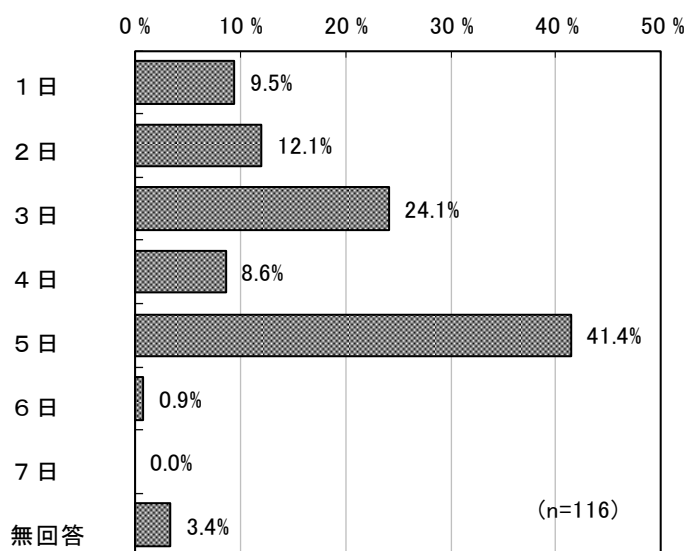
#### ・学校開放（校庭・図書館）

「2日」(32.2%)が最も多く、「1日」(29.9%)、「3日」(14.8%)と続く。平均は2.2日となっている。



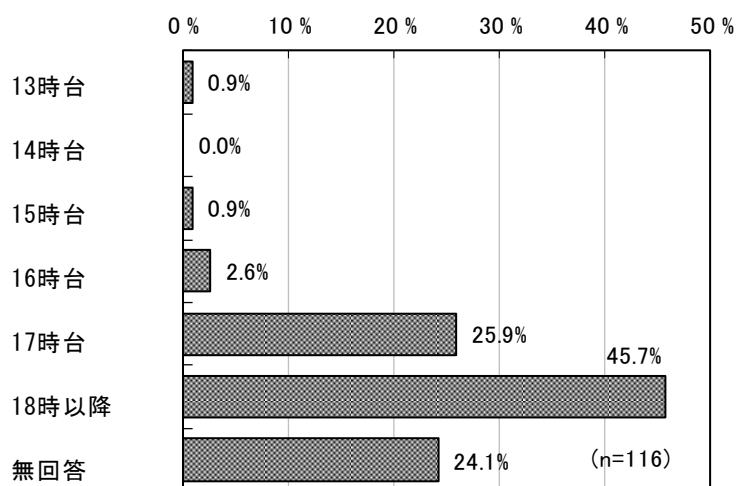
#### ・学童クラブ、ねりっこ学童クラブ

「5日」(41.4%)が最も多く、「3日」(24.1%)、「2日」(12.1%)、と続く。平均は3.7日となっている。



### 【利用希望時間「下校から（ ）時まで」】

「18時以降」(45.7%)が最も多く、「17時台」(25.9%)、「16時台」(2.6%)と続く。平均は17時40分となっている。

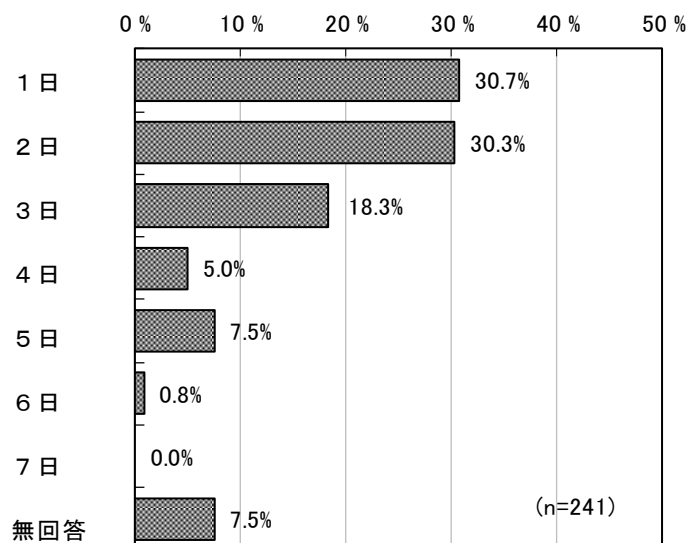


### ・ファミリーサポート事業

「4日」「5日」がそれぞれ1件となっている。

・その他（生涯学習センター、公園など）

「1日」(30.7%)が最も多く、「2日」(30.3%)、「3日」(18.3%)と続く。平均は2.3日となっている。



【学年別 小学校高学年の放課後に過ごさせたい場所の1週当たり平均日数】

すべての学年で「学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」が多く、3日以上となっている。

単位：日

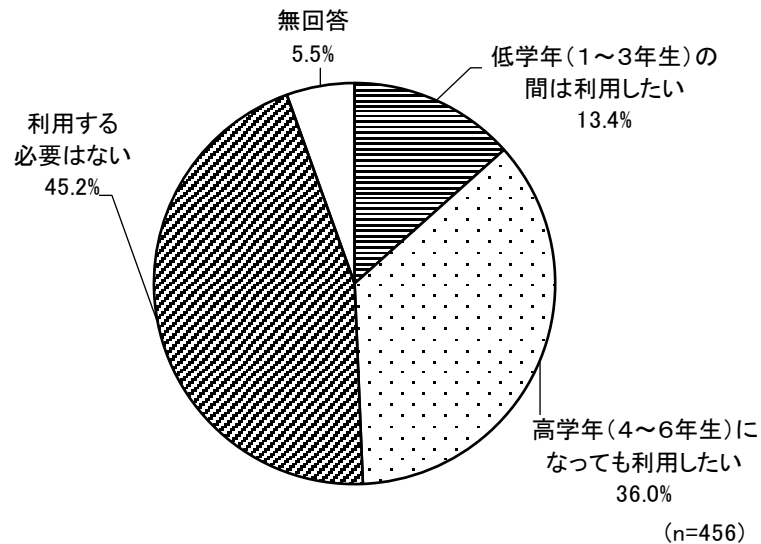
	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事 (ピアノ 教室、サッ カークラ ブ、学習塾 など)	児童館、 厚生文化 会館(児童 室)、地区 区民館(児 童室の開 放)	学校応援 団ひろば 事業、 ねりっこ ひろば	学童クラ ブ、ねりっ こ学童クラ ブ	ファミリ ーサポー ト事業	その他 (生涯学 習センタ ー、公園 など)
全体	3.1	1.8	2.8	2.1	2.4	3.7	4.5	2.3
1年	2.8	1.8	2.8	2.0	2.6	3.8	5.0	1.8
2年	3.2	2.3	2.6	2.5	2.4	4.1	—	2.0
3年	2.9	1.6	2.8	1.9	2.4	3.2	—	1.9
4年	3.1	1.8	2.6	1.8	2.3	3.3	4.0	2.3
5年	3.2	1.9	2.9	2.1	2.3	4.3	—	2.3
6年	3.2	1.9	3.0	2.2	2.2	4.5	—	2.8

問 17 問 16 の（１）または（２）で、「５．学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」を選んだ方にうかがいます。

土曜日と夏休みなどの長期休業期間に、ひろば事業を利用したいですか。（それぞれ１つに○）

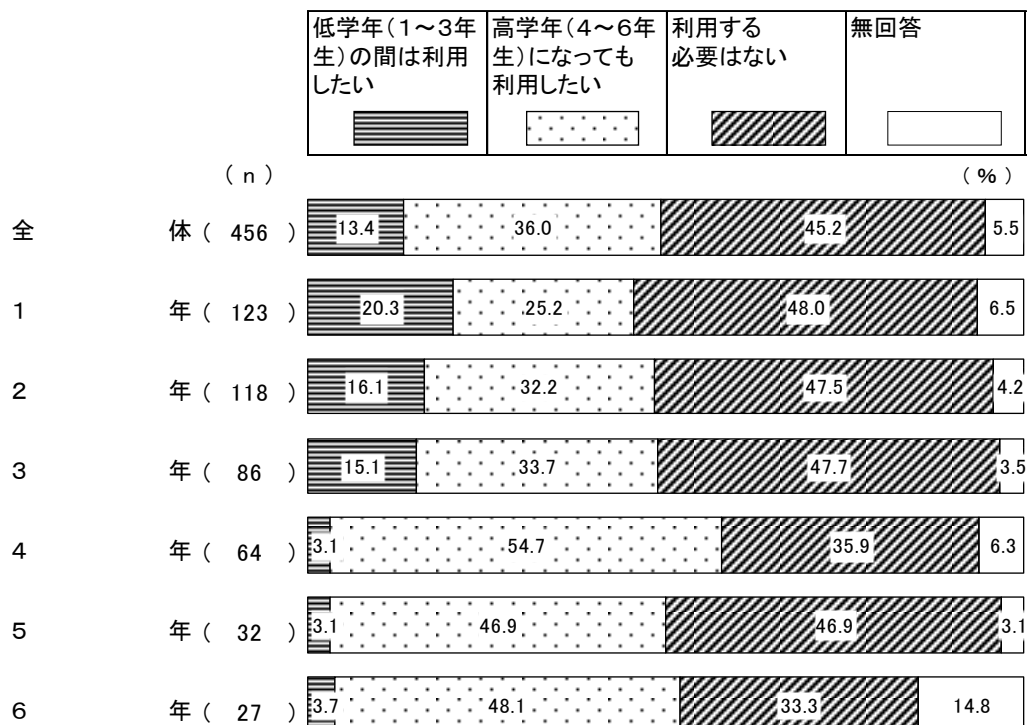
#### ① 土曜日

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を合わせて『利用したい』と回答した人は 49.4％となっている。



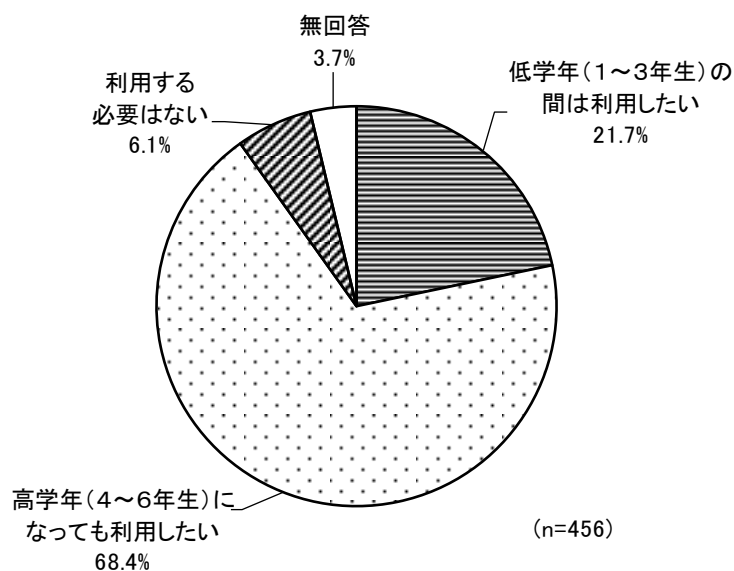
#### 【学年別】

学年が上がるにつれて「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が多くなる傾向がみられる。



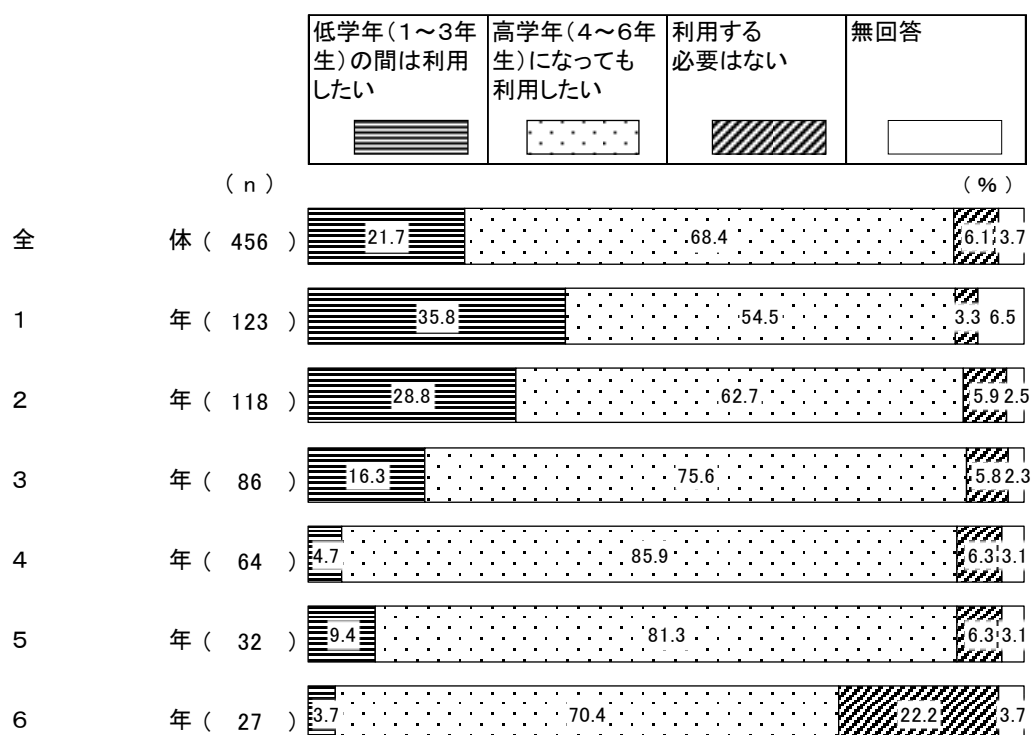
## ② 夏休みなどの長期休業期間

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」「高学年（４～６年生）になっても利用したい」を合わせて『利用したい』と回答した人は 90.1% となっている。



### 【学年別】

すべての学年で「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が最も多くなっている。



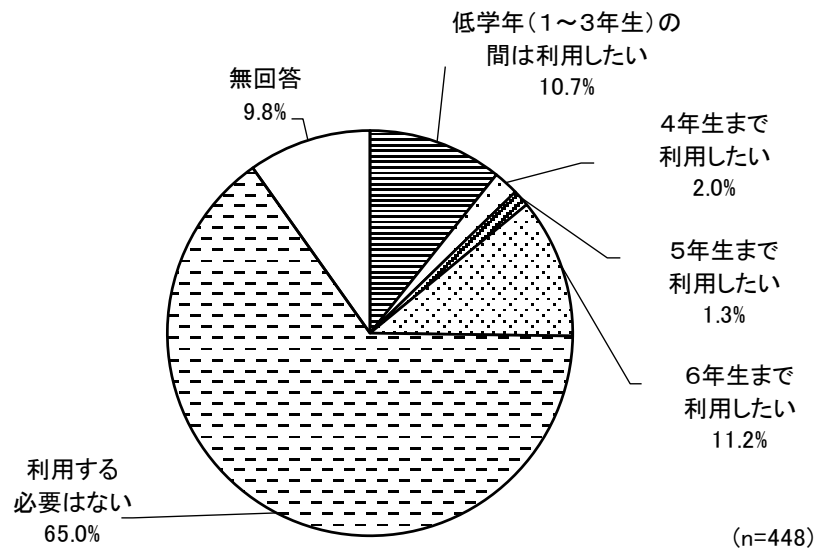
問 18 問 16 の（１）または（２）で、「７．学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」を選んだ方にうかがいます。

土曜日、日曜日・祝日、夏休みなどの長期休業期間に、学童クラブを利用したいですか。（それぞれ１つに○）

また、利用したい時間帯を（ ）内に 24 時間制でご記入ください（例：８時～19 時）。なお、事業の利用には、原則として月額 5,500 円の保育料がかかります。

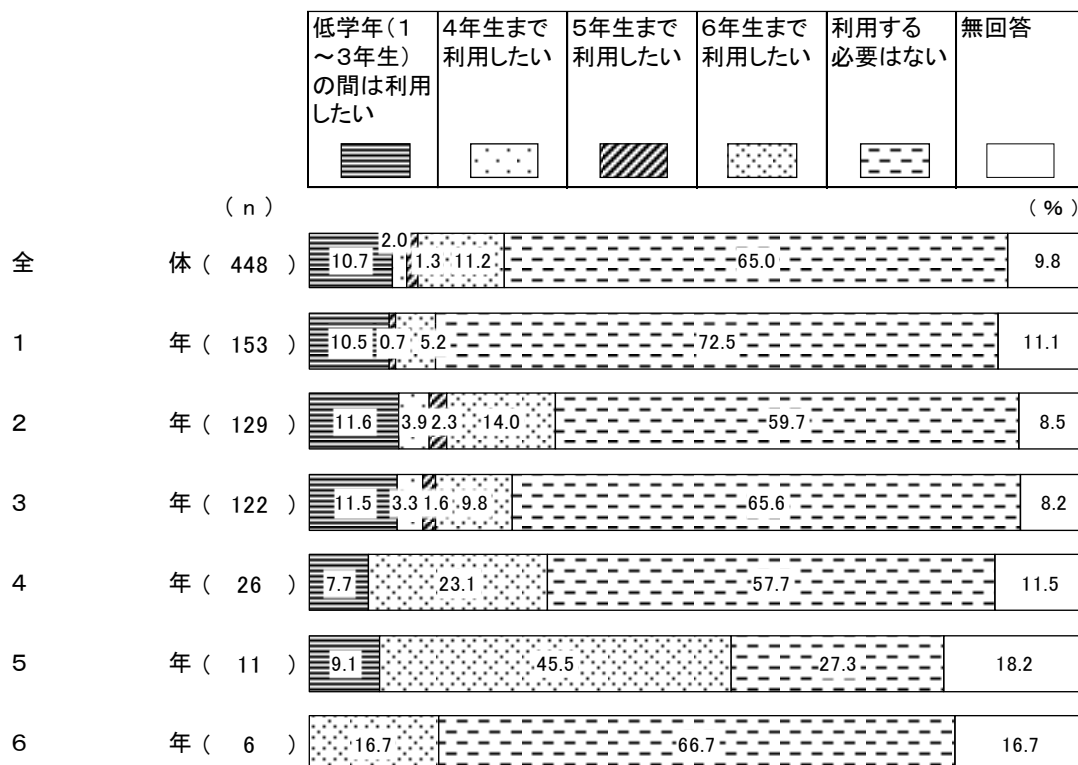
#### ① 土曜日

「利用する必要はない」（65.0%）が最も多く、「６年生まで利用したい」（11.2%）、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」（10.7%）と続く。



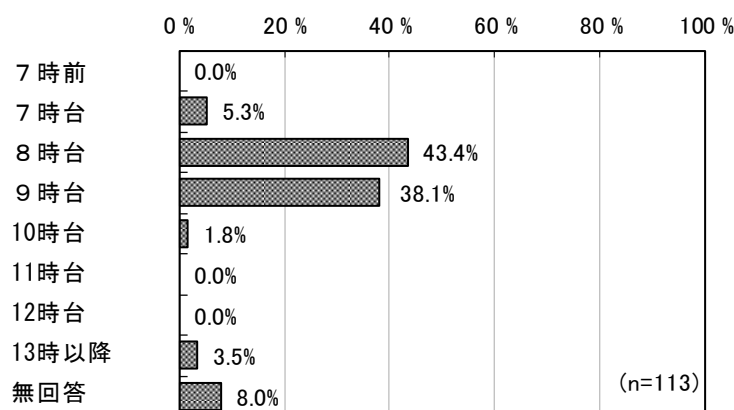
#### 【学年別】

“１年”～“４年”では「利用する必要はない」が５割半ば以上となっている。



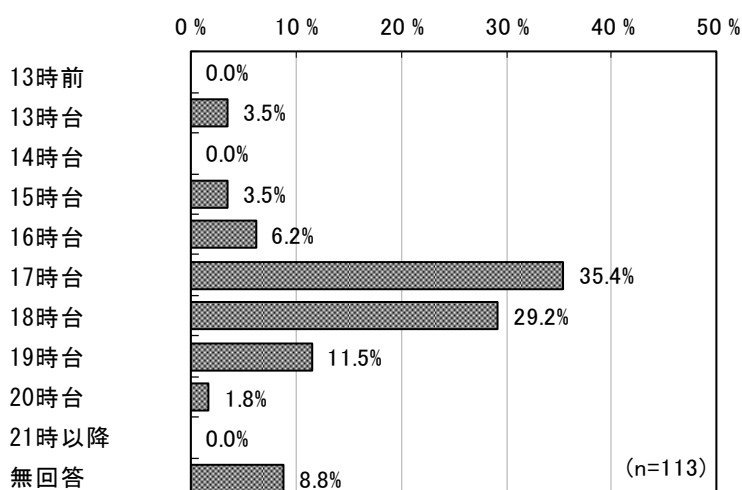
### 【利用したい時間帯 開始時刻】

「8 時台」(43.4%)が最も多く、「9 時台」(38.1%)、「7 時台」(5.3%)と続く。



### 【利用したい時間帯 終了時刻】

「17 時台」(35.4%)が最も多く、「18 時台」(29.2%)、「19 時台」(11.5%)と続く。



### 【学年別 利用したい時間帯の平均開始時刻と平均終了時刻】

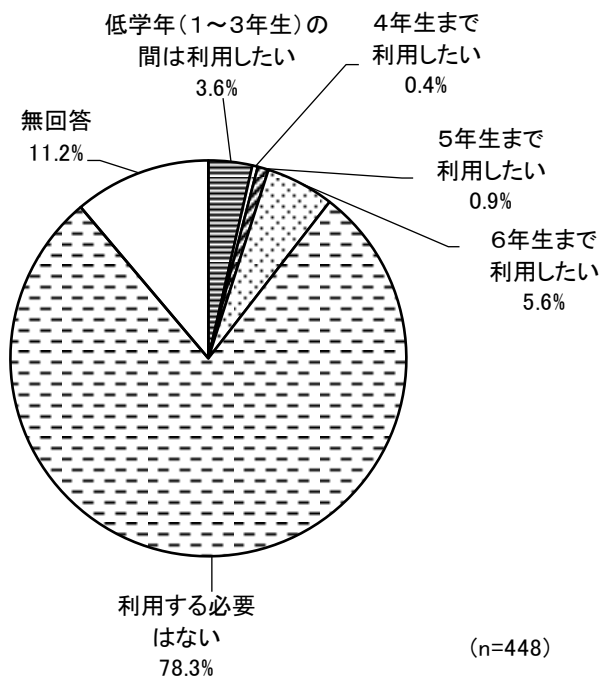
平均開始時刻は、「1 年」～「5 年」で 8 時台となっており、「1 年」「4 年」(8 時 52 分)が最も遅くなっている。平均終了時刻は、「1 年」～「3 年」で 17 時台となっており、「4 年」(16 時 30 分)が最も早くなっている。

単位：時間

	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
平均開始時刻	8 時 38 分	8 時 52 分	8 時 34 分	8 時 34 分	8 時 52 分	8 時 12 分	7 時 00 分
平均終了時刻	17 時 19 分	17 時 20 分	17 時 22 分	17 時 17 分	16 時 30 分	18 時 00 分	20 時 00 分

## ② 日曜日・祝日

「利用する必要はない」(78.3%)が最も多く、「6年生まで利用したい」(5.6%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(3.6%)と続く。



## 【学年別】

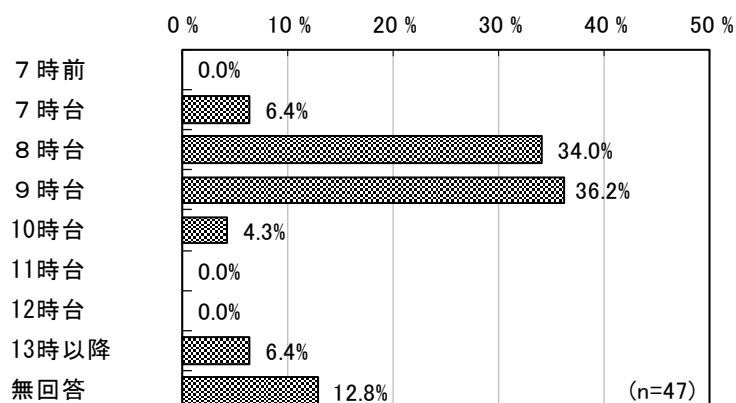
“1年”～“4年”では「利用する必要はない」が7割以上となっている。

	低学年(1～3年生)の間は利用したい	4年生まで利用したい	5年生まで利用したい	6年生まで利用したい	利用する必要はない	無回答
	(n)				(%)	
全 体 ( 448 )	3.6 0.4	0.9 5.6			78.3	11.2
1 年 ( 153 )	6.5 0.7	2.6			79.1	11.1
2 年 ( 129 )	2.3 1.6	5.4			78.3	12.4
3 年 ( 122 )	1.6 0.8	1.6 4.9			82.0	9.0
4 年 ( 26 )	3.8 11.5				73.1	11.5
5 年 ( 11 )			36.4		45.5	18.2
6 年 ( 6 )				16.7	66.7	16.7



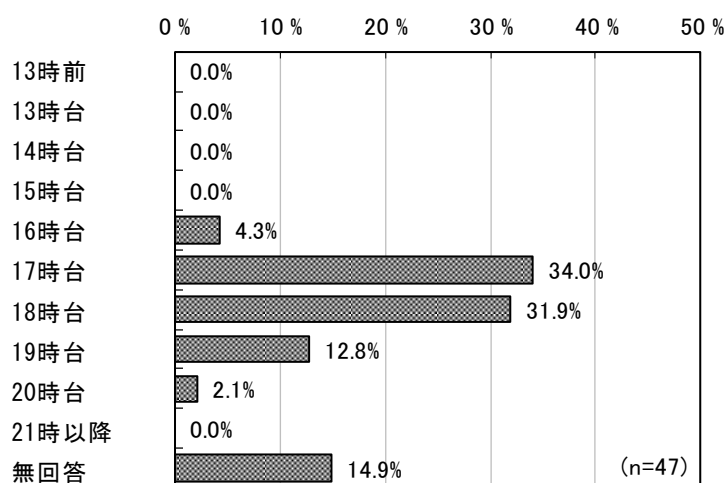
### 【利用したい時間帯 開始時刻】

「9 時台」(36.2%)が最も多く、「8 時台」(34.0%)、「7 時台」「13 時以降」(それぞれ 6.4%)と続く。



### 【利用したい時間帯 終了時刻】

「17 時台」(34.0%)が最も多く、「18 時台」(31.9%)、「19 時台」(12.8%)と続く。



### 【学年別 利用したい時間帯の平均開始時刻と平均終了時刻】

平均開始時刻は、「1 年」「2 年」で 9 時台、「3 年」「5 年」で 8 時台となっている。

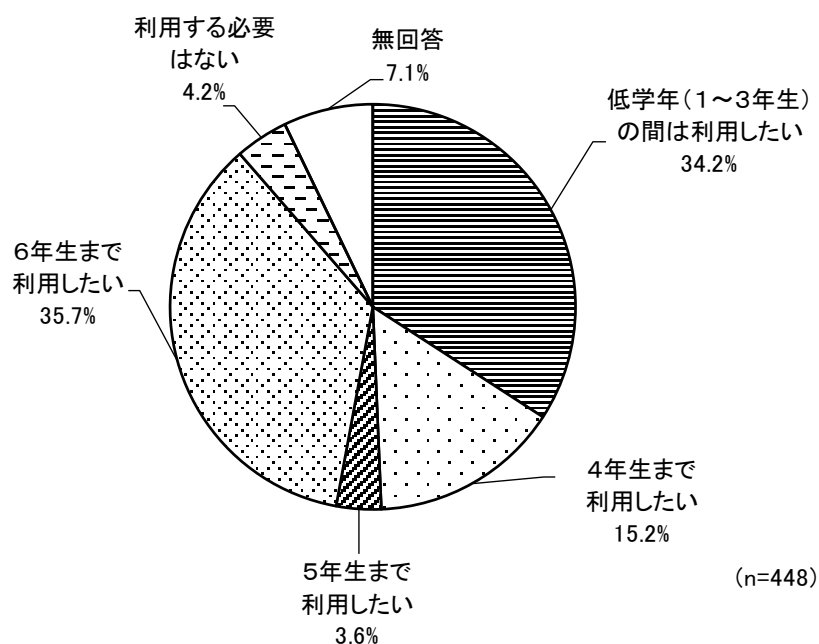
平均終了時刻は、「1 年」「2 年」「4 年」「5 年」で 17 時台となっている。

単位：時間

	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
平均開始時刻	8 時 55 分	9 時 12 分	9 時 00 分	8 時 24 分	10 時 20 分	8 時 20 分	7 時 00 分
平均終了時刻	17 時 42 分	17 時 36 分	17 時 30 分	18 時 00 分	17 時 00 分	17 時 40 分	20 時 00 分

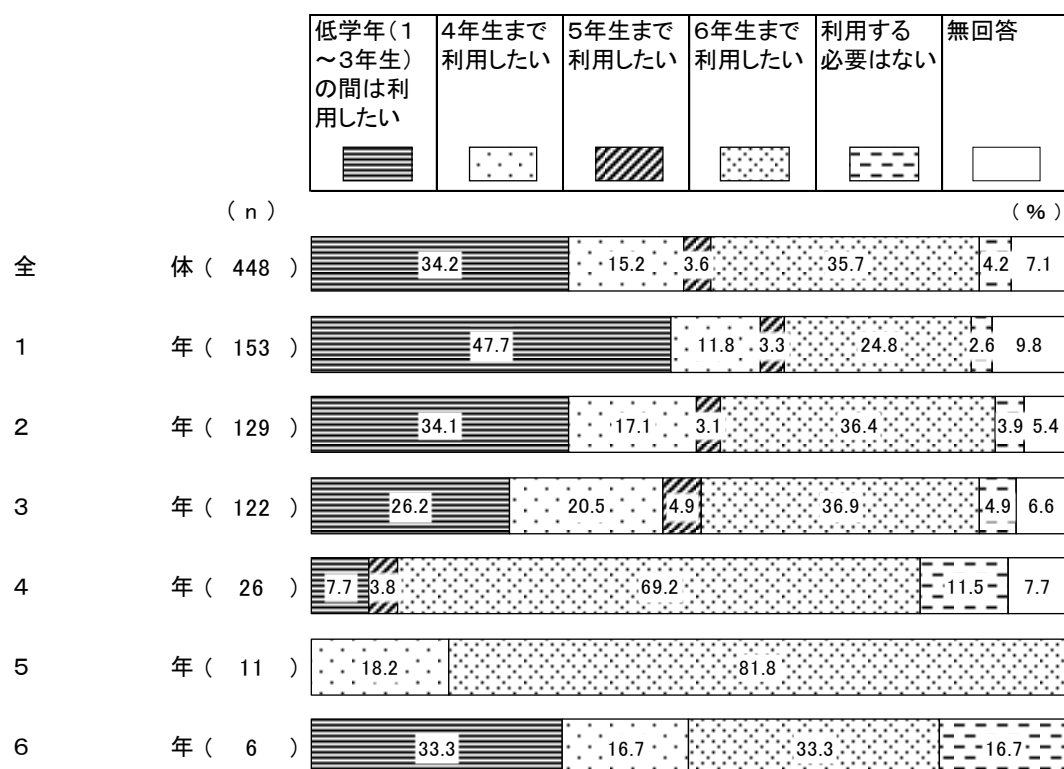
### ③ 夏休みなどの長期休業期間

「6年生まで利用したい」(35.7%)が最も多く、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(34.2%)、「4年生まで利用したい」(15.2%)と続く。



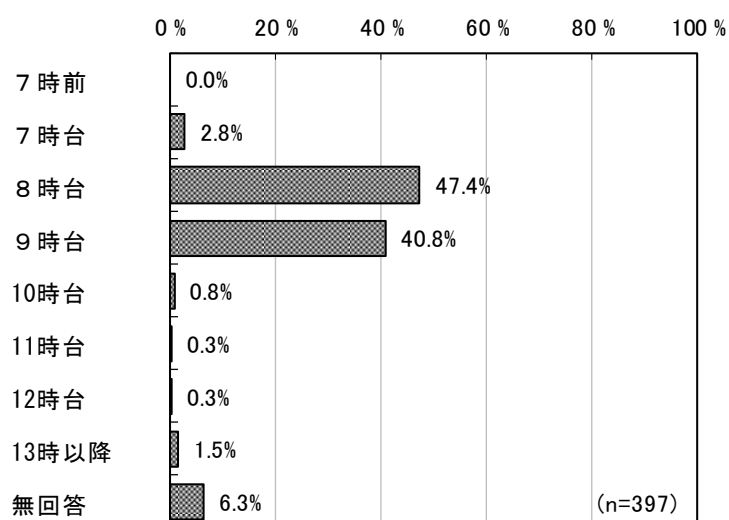
### 【学年別】

“1年”～“3年”では「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が2割半ばから4割半ばとなっている。また、“1年”～“5年”まで学年が上がるにつれて「6年生まで利用したい」が多くなる傾向がみられる。



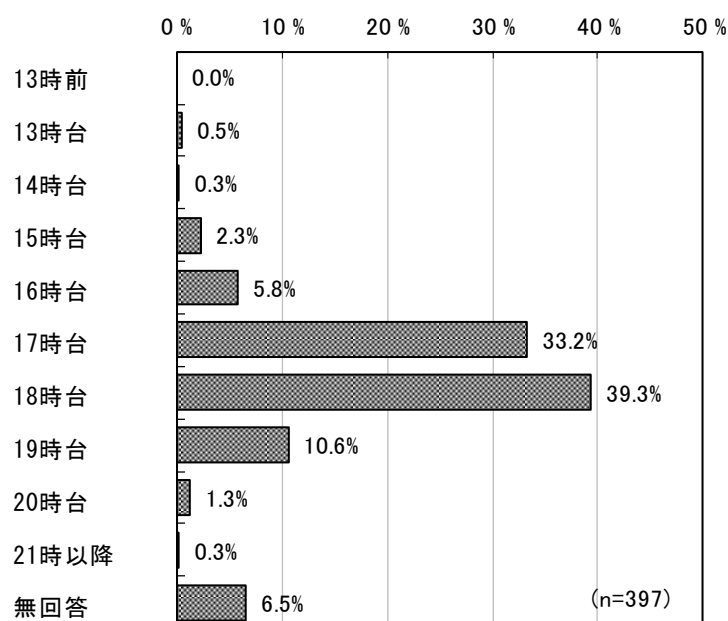
### 【利用したい時間帯 開始時刻】

「8 時台」(47.4%)が最も多く、「9 時台」(40.8%)、「7 時台」(2.8%)と続く。



### 【利用したい時間帯 終了時刻】

「18 時台」(39.3%)が最も多く、「17 時台」(33.2%)、「19 時台」(10.6%)と続く。



### 【学年別 利用したい時間帯の平均開始時刻と平均終了時刻】

平均開始時刻は、「1 年」～「5 年」で 8 時台となっている。

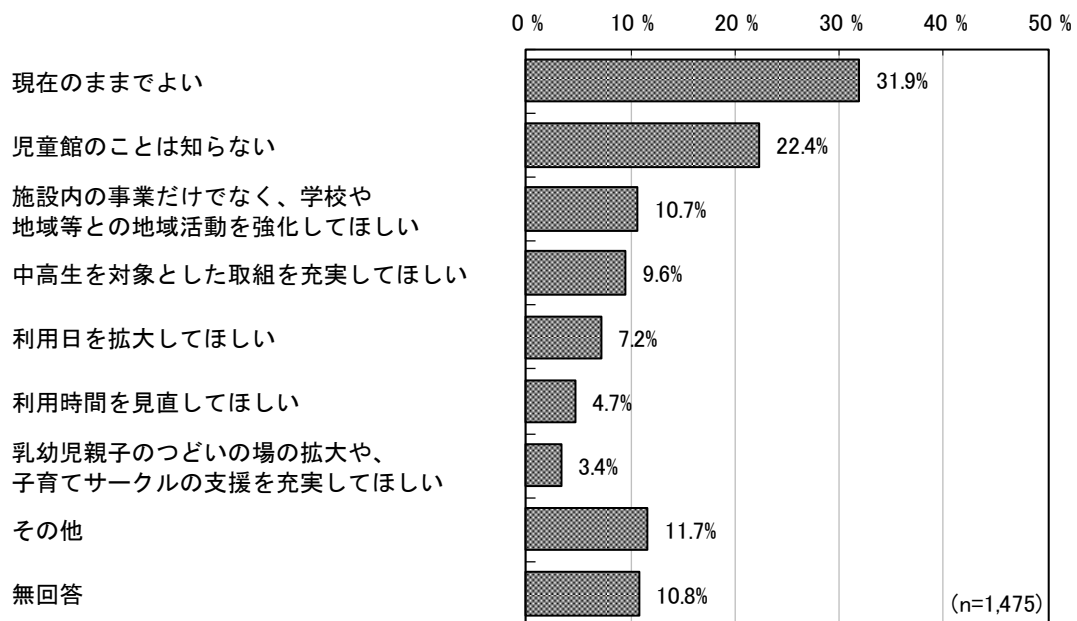
平均終了時刻は、「1 年」～「4 年」で 17 時台となっている。

単位：時間

	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
平均開始時刻	8 時 32 分	8 時 33 分	8 時 30 分	8 時 36 分	8 時 37 分	8 時 18 分	7 時 40 分
平均終了時刻	17 時 33 分	17 時 36 分	17 時 31 分	17 時 31 分	17 時 17 分	18 時 06 分	18 時 00 分

### 問 19 児童館に対して、あなたはどのように感じていますか（3つまで○）

「現在のままでよい」（31.9%）が最も多く、「児童館のことは知らない」（22.4%）、「施設内の事業だけでなく、学校や地域等との地域活動を強化してほしい」（10.7%）と続く。



### 【学年別】

“2年”～“6年”で「現在のままでよい」が最も多く、3割以上となっており、“1年”では「児童館のことは知らない」が最も多くなっている。

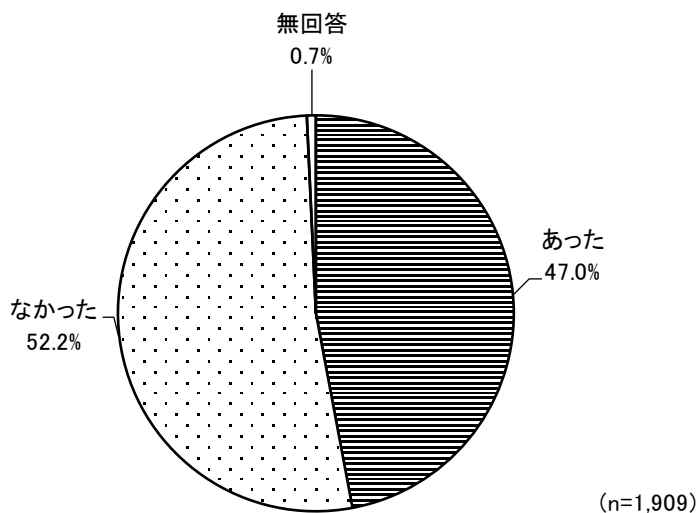
単位：％

	合計	利用日を拡大してほしい	利用時間を見直してほしい	乳幼児親子のつどいの場の拡大や、子育てサークルの支援を充実してほしい	中高生を対象とした取組を充実してほしい	施設内の事業だけでなく、学校や地域等との地域活動を強化してほしい	現在のままでよい	児童館のことは知らない	その他
全体	1,315	8.1	5.3	3.8	10.7	12.0	35.8	25.1	13.1
1年	219	8.7	2.3	4.6	6.4	11.0	31.5	34.2	11.9
2年	225	7.1	4.9	4.0	9.3	12.9	34.7	27.1	12.0
3年	229	9.6	8.3	3.9	10.0	12.7	33.6	24.0	14.0
4年	205	7.8	6.3	4.4	8.8	13.7	42.4	18.5	17.6
5年	205	6.3	3.9	4.4	14.1	11.7	36.6	21.5	13.2
6年	204	8.3	6.4	1.5	16.7	10.3	35.8	24.5	10.8

## 5. 病気の際の対応について

問 20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)

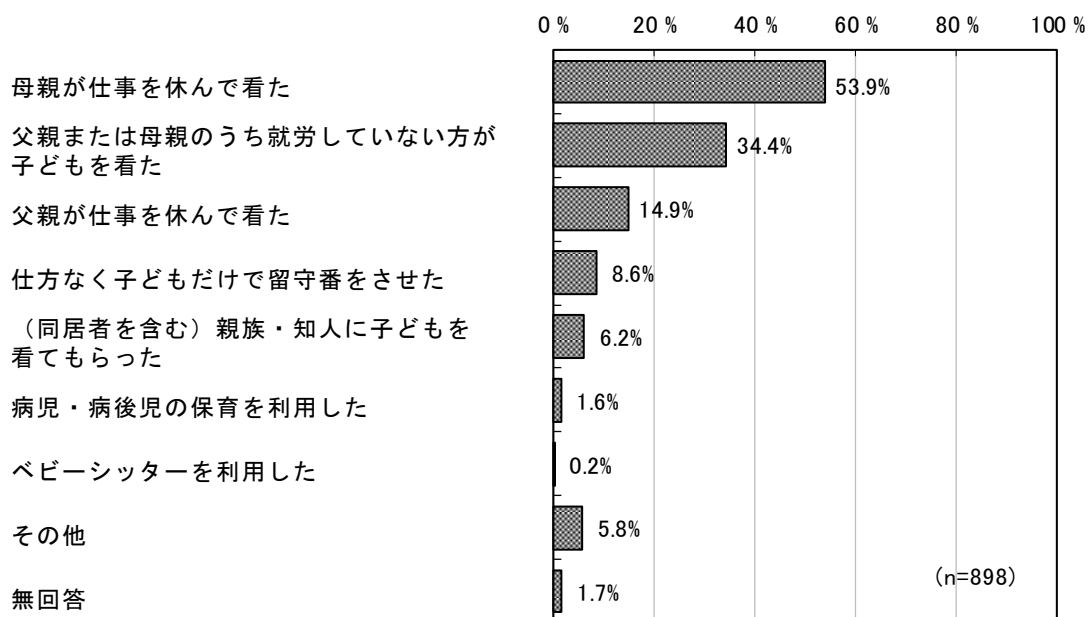
「あった」(47.0%)、「なかった」(52.2%)となっている。



問 21 問 20 で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。

この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、日数を( )内にご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

「母親が仕事を休んで見た」(53.9%)が最も多く、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」(34.4%)、「父親が仕事を休んで見た」(14.9%)と続く。



## 【学年別】

すべての学年で「母親が仕事を休んで見た」が最も多く、5割前後となっている。また、学年が上がるにつれて「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が多くなる傾向がみられる。

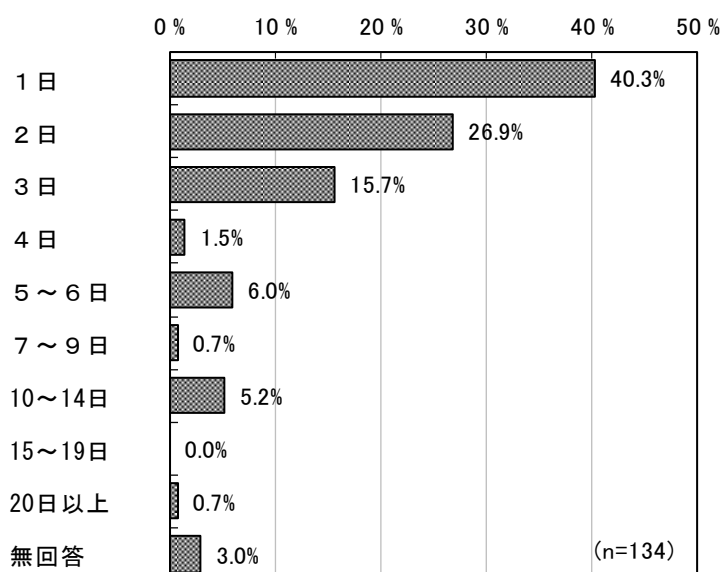
単位：％

	合計	父親が仕事を休んで見た	母親が仕事を休んで見た	父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	子どもを看てもらった (同居者を含む) 親族・知人に	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	898	14.9	53.9	34.4	6.2	1.6	0.2	8.6	5.8	1.7
1年	136	22.8	46.3	37.5	8.1	4.4	0.7	3.7	5.9	2.2
2年	162	16.0	54.9	36.4	5.6	—	—	6.8	3.1	1.2
3年	162	15.4	55.6	35.8	4.3	1.2	—	4.9	5.6	1.2
4年	142	12.0	50.7	36.6	4.9	2.1	—	11.3	7.7	0.7
5年	140	10.0	53.6	35.0	4.3	1.4	—	12.9	7.9	1.4
6年	139	10.8	59.0	25.9	10.8	—	0.7	12.9	5.8	3.6

## ○ 1年間の対処日数

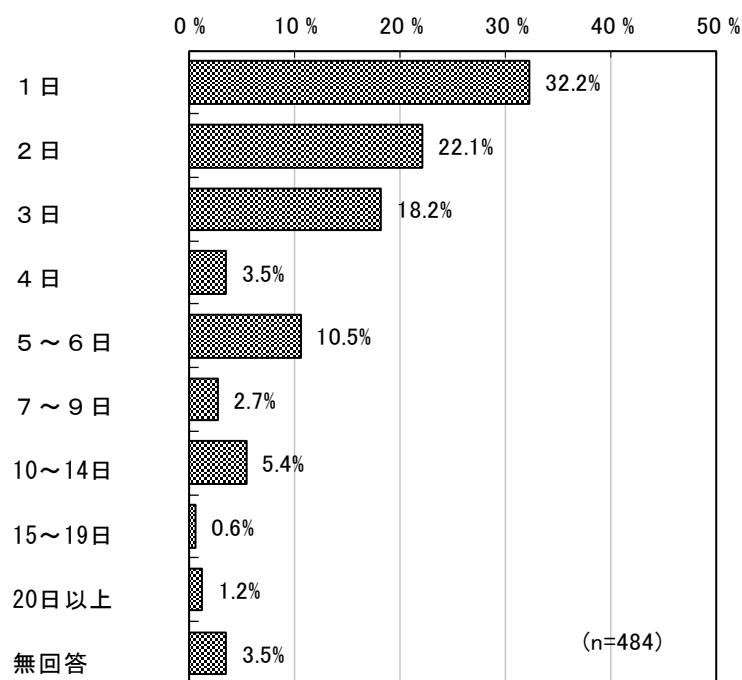
### ・父親が仕事を休んで見た

「1日」(40.3%)が最も多く、「2日」(26.9%)、「3日」(15.7%)と続く。



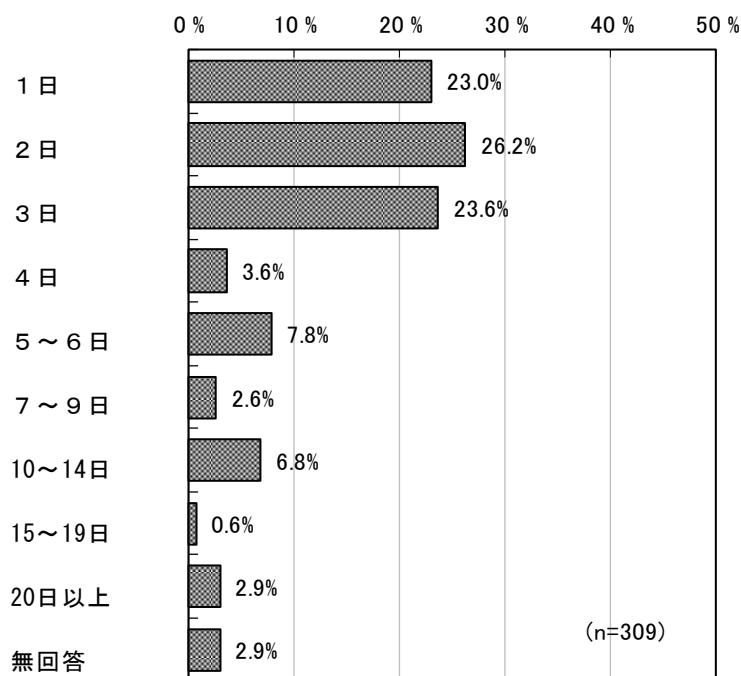
・ 母親が仕事を休んで見た

「1 日」 (32.2%) が最も多く、「2 日」 (22.1%)、「3 日」 (18.2%) と続く。



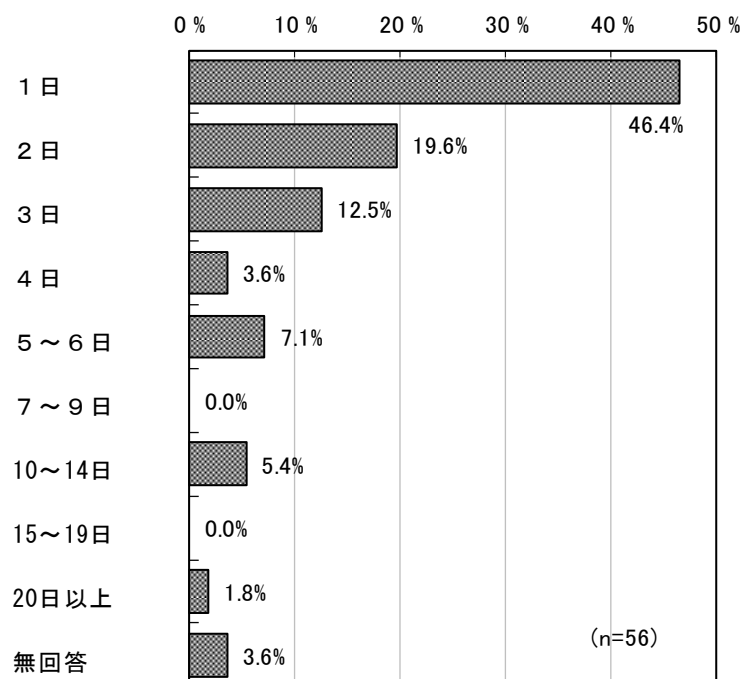
・ 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た

「2 日」 (26.2%) が最も多く、「3 日」 (23.6%)、「1 日」 (23.0%) と続く。



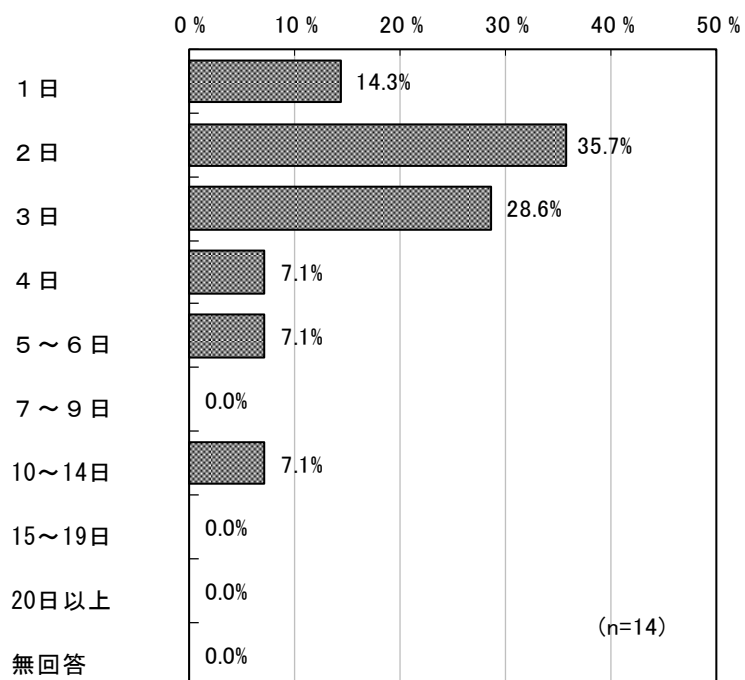
・（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった

「1日」（46.4%）が最も多く、「2日」（19.6%）、「3日」（12.5%）と続く。



・病児・病後児の保育を利用した

「2日」（35.7%）が最も多く、「3日」（28.6%）、「1日」（14.3%）と続く。



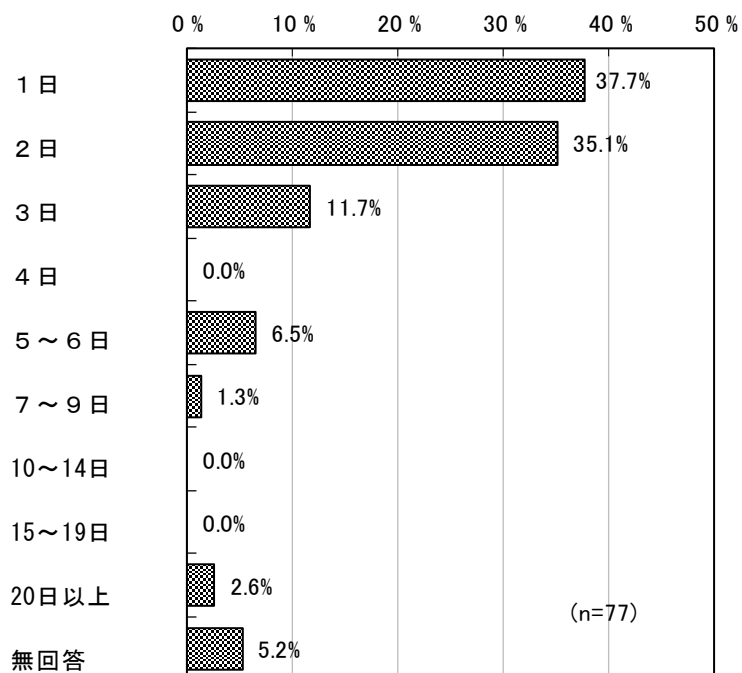
・ベビーシッターを利用した

「10～14日」が1件となっている。（無回答1件）



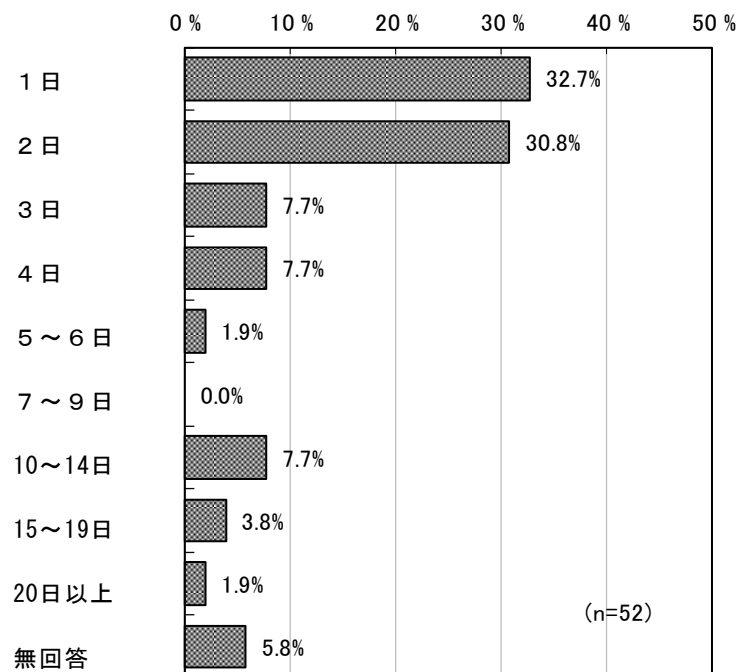
・仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1日」(37.7%)が最も多く、「2日」(35.1%)、「3日」(11.7%)と続く。



・その他

「1日」(32.7%)が最も多く、「2日」(30.8%)、「3日」「4日」「10～14日」(それぞれ7.7%)と続く。“その他”では、「在宅勤務をしながら見た」が多くなっている。



# 【全体・学年別 病気の際の１年間の平均対処日数】

“２年” “３年” “６年” は「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」が最も多くなっている。“４年” は「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」が最も多くなっている。

単位：日

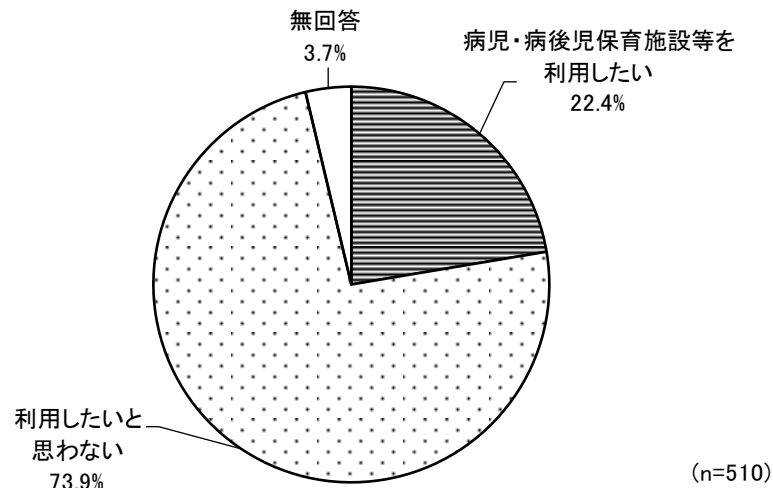
	父親が仕事を休んで看た	母親が仕事を休んで看た	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだ留守番をさせた	その他
全体	2.6	3.4	4.4	2.7	3.1	12.0	2.9	3.6
１年	2.4	4.5	3.0	3.1	3.3	12.0	1.6	3.3
２年	2.8	3.4	5.0	2.3	—	—	1.9	2.0
３年	2.9	3.4	5.5	1.8	3.0	—	3.1	5.0
４年	2.6	2.9	2.7	4.6	3.0	—	4.3	3.5
５年	2.3	2.5	3.2	1.2	3.0	—	3.9	4.9
６年	3.1	3.9	7.6	2.7	—	—	1.8	2.1

問 22 問 21 で「1.」または「2.」を選んだ方にうかがいます。

その際、「仕事を休まないで済むように、病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号を1つ選び、【望ましいと思う事業形態】・【利用したいと思わない理由】のいずれかから、あてはまるものすべてに○をつけてください。「1.」を選んだ方は、日数も（ ）内にご記入ください。

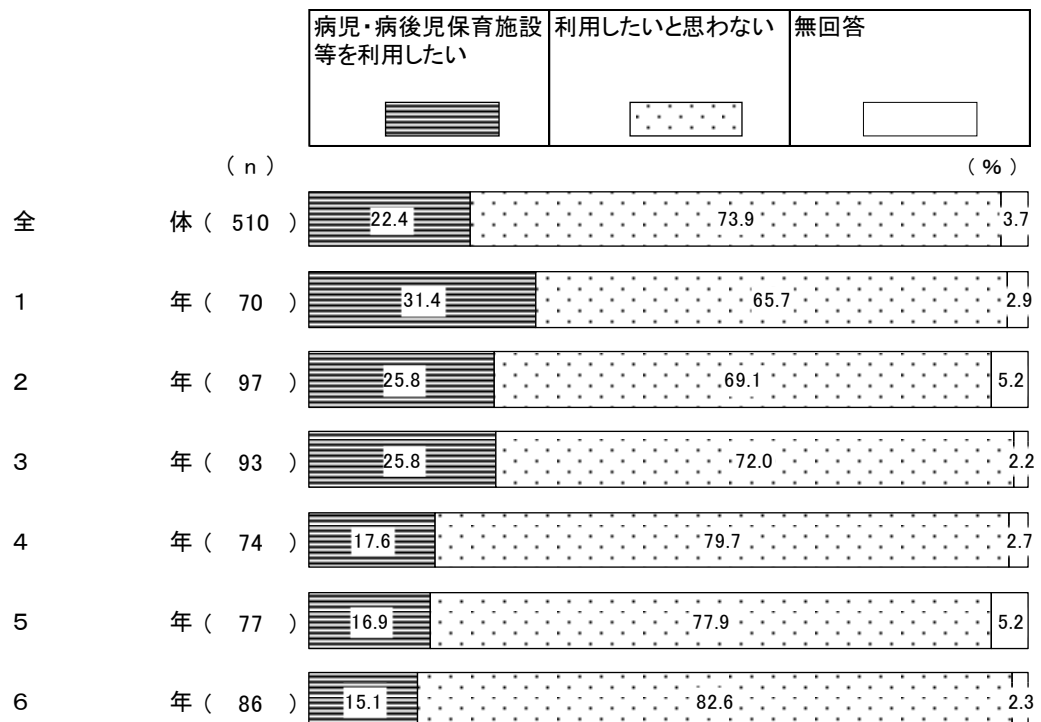
なお、事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「利用したいと思わない」（73.9%）、「病児・病後児保育施設等を利用したい」（22.4%）となっている。



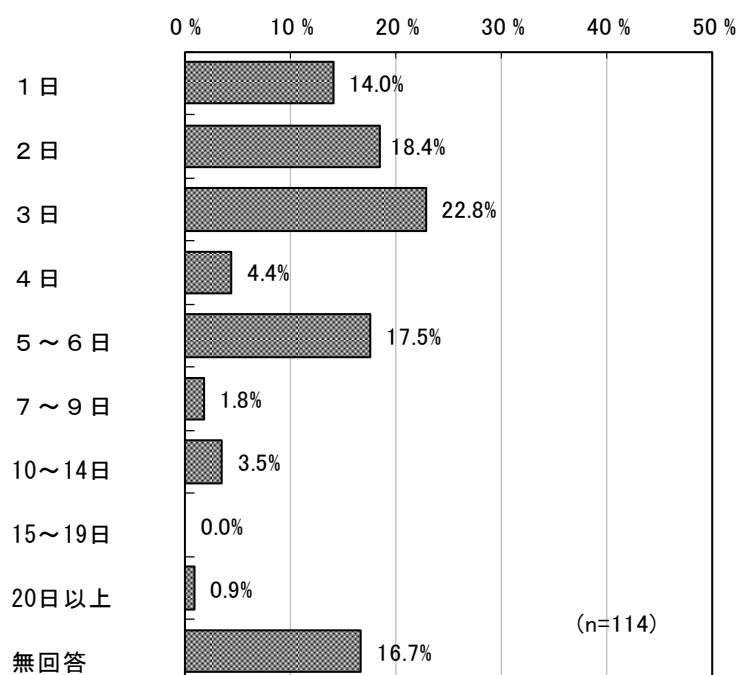
### 【学年別】

すべての学年で「利用したいと思わない」が最も多くなっている。



## ○ 1年間の利用希望日数

「3日」(22.8%)が最も多く、「2日」(18.4%)、「5～6日」(17.5%)と続く。



## 【全体・学年別 1年間の平均利用希望日数】

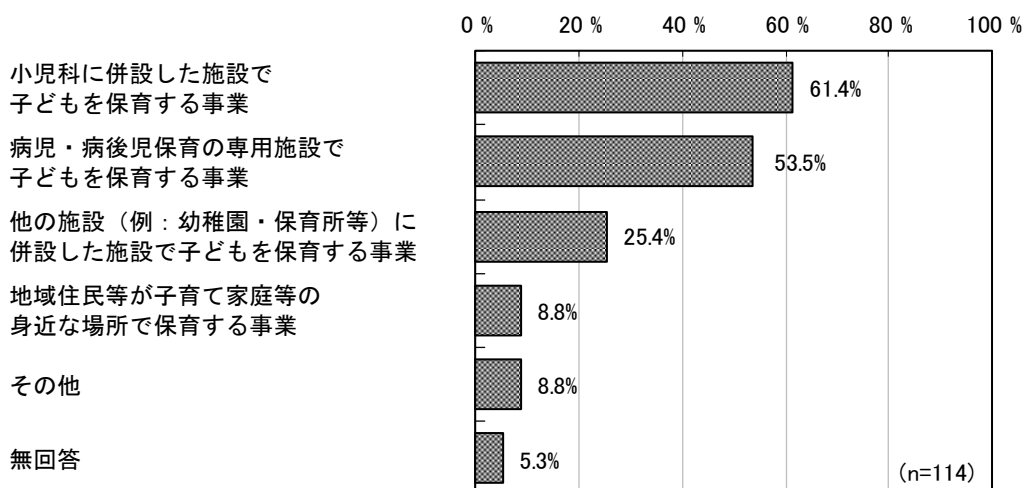
「5年」(5.2日)が最も多く、「6年」(3.0日)が最も少なくなっている。平均は3.6日となっている。

単位：日

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均	3.6	3.2	3.4	3.7	3.3	5.2	3.0

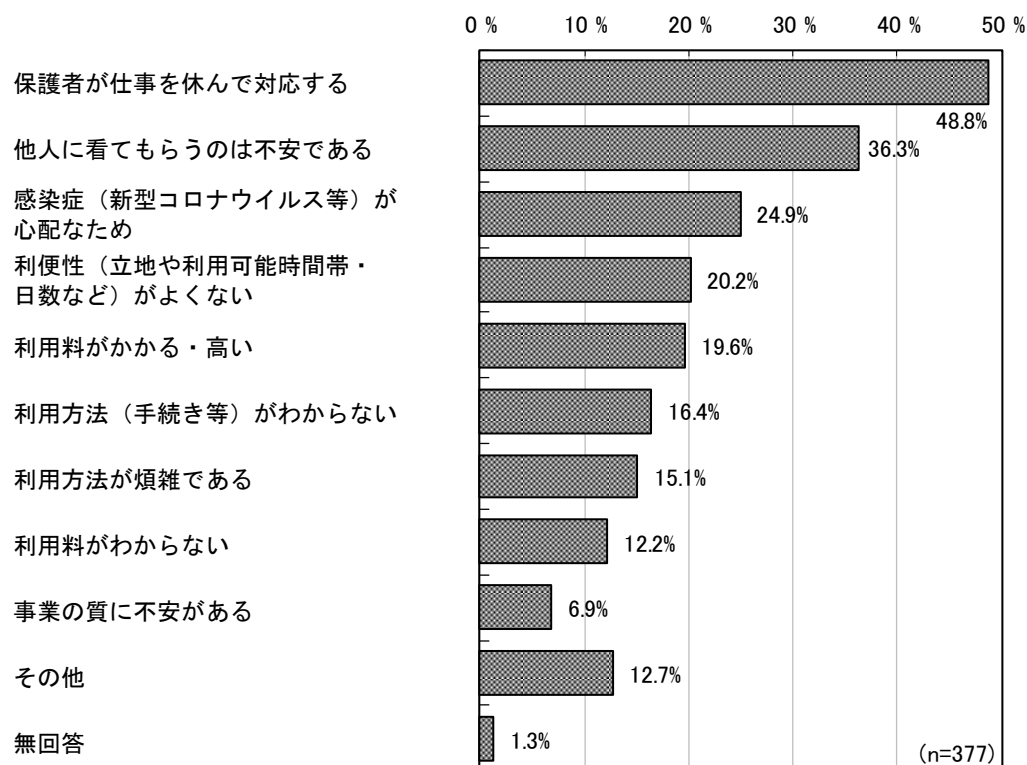
## ○望ましい事業形態

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(61.4%)が最も多く、「病児・病後児保育の専用施設で子どもを保育する事業」(53.5%)、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」(25.4%)、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」(8.8%)と続く。



## ○利用したいと思わない理由

「保護者が仕事を休んで対応する」(48.8%)が最も多く、「他人に看てもらうのは不安である」(36.3%)、「感染症(新型コロナウイルス等)が心配なため」(24.9%)と続く。



## 【学年別】

“3年”を除いて「保護者が仕事を休んで対応する」が最も多くなっている。

単位：%

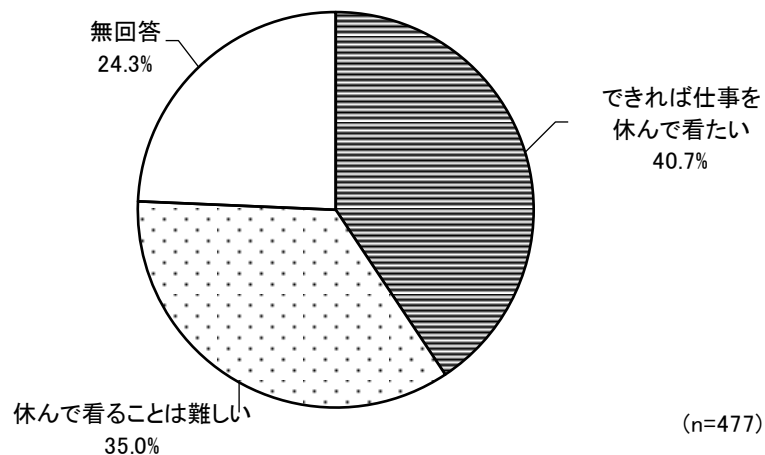
	合計	他人に看てもらうのは不安である	事業の質に不安がある	利便性(立地や利用可能時間帯・日数など)がよい	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	保護者が仕事を休んで対応する	利用方法(手続き等)がわからない	利用方法が煩雑である	感染症(新型コロナウイルス等)が心配なため	その他	無回答
全体	377	36.3	6.9	20.2	19.6	12.2	48.8	16.4	15.1	24.9	12.7	1.3
1年	46	30.4	—	26.1	8.7	8.7	47.8	8.7	21.7	23.9	4.3	—
2年	67	31.3	7.5	14.9	20.9	14.9	53.7	11.9	14.9	23.9	11.9	1.5
3年	67	44.8	3.0	16.4	20.9	16.4	41.8	17.9	19.4	26.9	14.9	3.0
4年	59	37.3	5.1	28.8	11.9	8.5	54.2	18.6	13.6	27.1	11.9	1.7
5年	60	38.3	10.0	25.0	28.3	8.3	53.3	18.3	13.3	21.7	13.3	—
6年	71	32.4	14.1	15.5	25.4	14.1	40.8	21.1	11.3	26.8	18.3	1.4

問 23 問 21 で「3.」～「8.」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。(1 つに○)

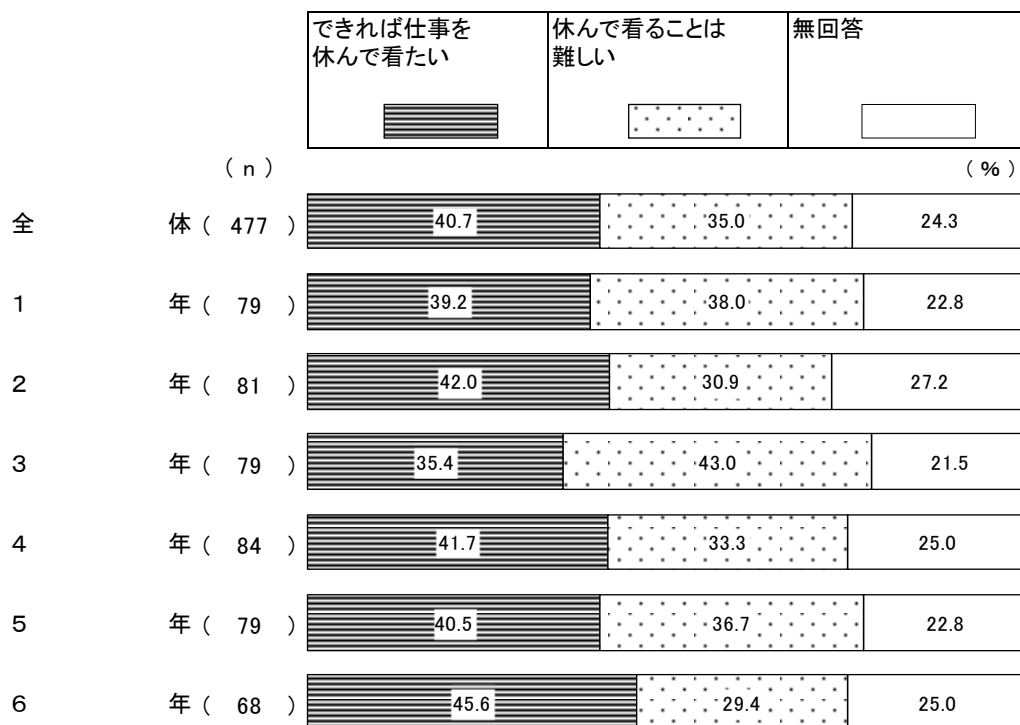
また、「1.」を選んだ方は、問 21 で答えた日数のうち、仕事を休んで見たかった日数をご記入ください。「2.」を選んだ方は、【休んで看ることが難しい理由】のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「できれば仕事を休んで看たい」(40.7%)、「休んで看ことは難しい」(35.0%)となっている。



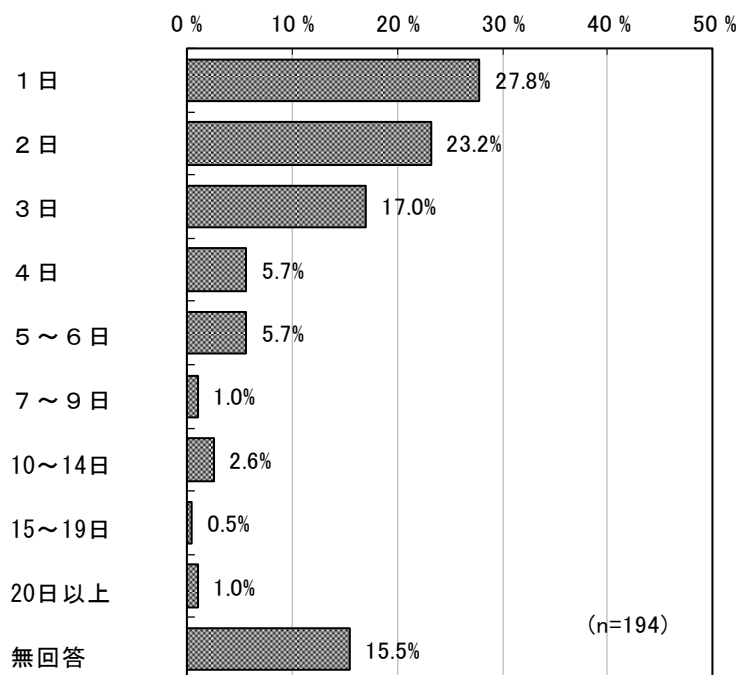
### 【学年別】

“3 年”を除いたすべての学年で「できれば仕事を休んで看たい」が最も多くなっている。



## ○仕事を休んで見たかった日数

「1日」(27.8%)が最も多く、「2日」(23.2%)、「3日」(17.0%)と続く。平均は3.8日となっている。



## 【全体・学年別 仕事を休んで見たかった平均日数】

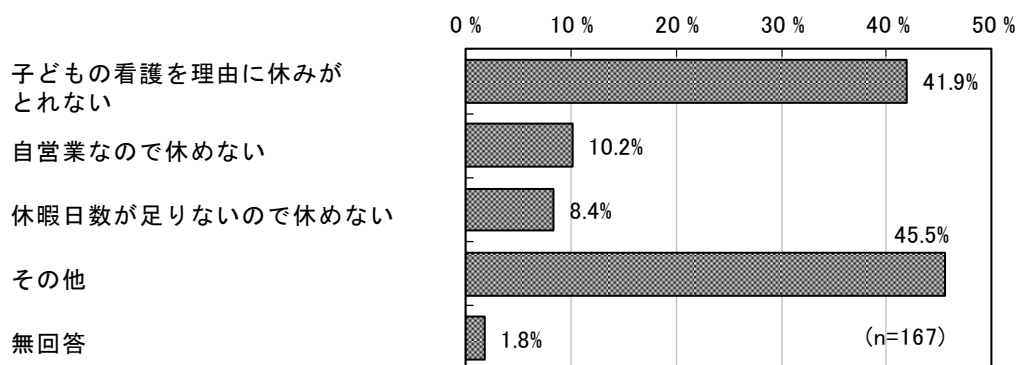
「6年」(8.8日)が最も多く、「1年」(2.1日)が最も少なくなっている。平均は3.8日となっている。

単位：日

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均	3.8	2.1	2.9	3.8	2.3	2.8	8.8

## ○休んで看ることが難しい理由

「子どもの看護を理由に休みがとれない」(41.9%)が最も多く、「自営業なので休めない」(10.2%)、「休假日数が足りないので休めない」(8.4%)となっている。



# 【学年別】

“3年” “5年” “6年” で「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多くなっている。

単位：％

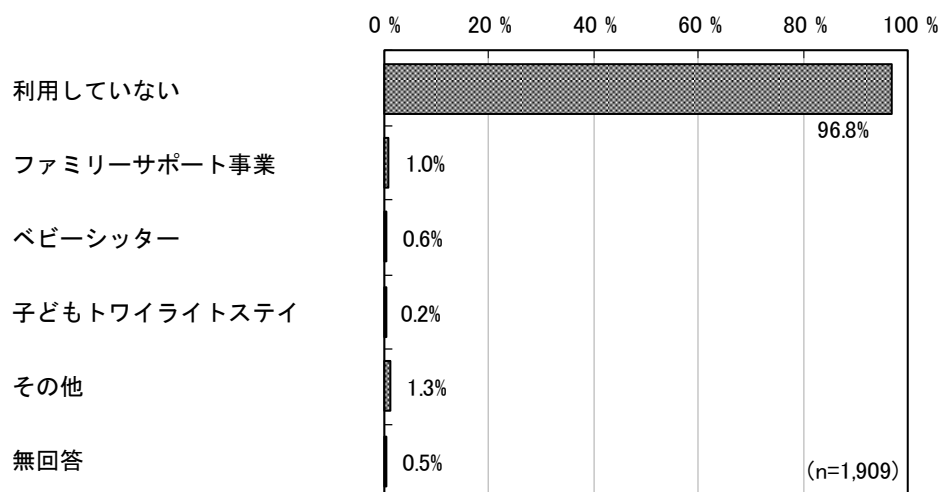
	合計	子どもの看護を理由に 休みがとれない	自営業なので休めない	休暇日数が足りないので 休めない	その他	無回答
全体	167	41.9	10.2	8.4	45.5	1.8
1年	30	43.3	3.3	6.7	53.3	3.3
2年	25	40.0	4.0	—	56.0	—
3年	34	47.1	14.7	8.8	32.4	—
4年	28	35.7	10.7	10.7	53.6	—
5年	29	41.4	13.8	6.9	34.5	6.9
6年	20	45.0	15.0	20.0	45.0	—



## 6. 不定期に利用したり、宿泊を伴って利用する事業について

問 24 日中の定期的な保育（学童クラブ等）や病気のため以外に、あて名のお子さんが保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその利用日数も（ ）内にご記入ください。

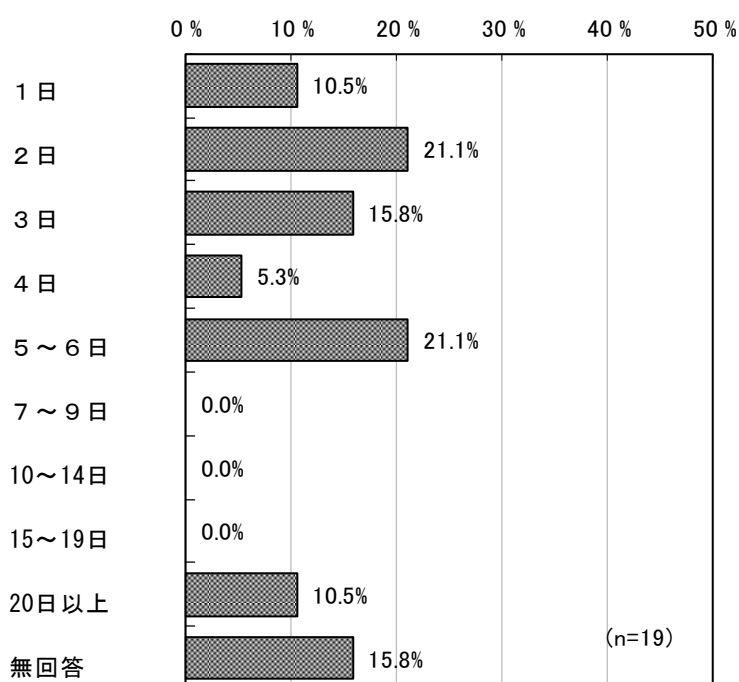
「利用していない」（96.8%）が最も多くなっている。



### ○ 1 年間の利用日数

#### ・ ファミリーサポート事業

「2日」「5～6日」（それぞれ 21.1%）が最も多く、「3日」（15.8%）、「1日」「20日以上」（それぞれ 10.5%）と続く。平均は 8.2 日となっている。



### ・子どもトワイライトステイ

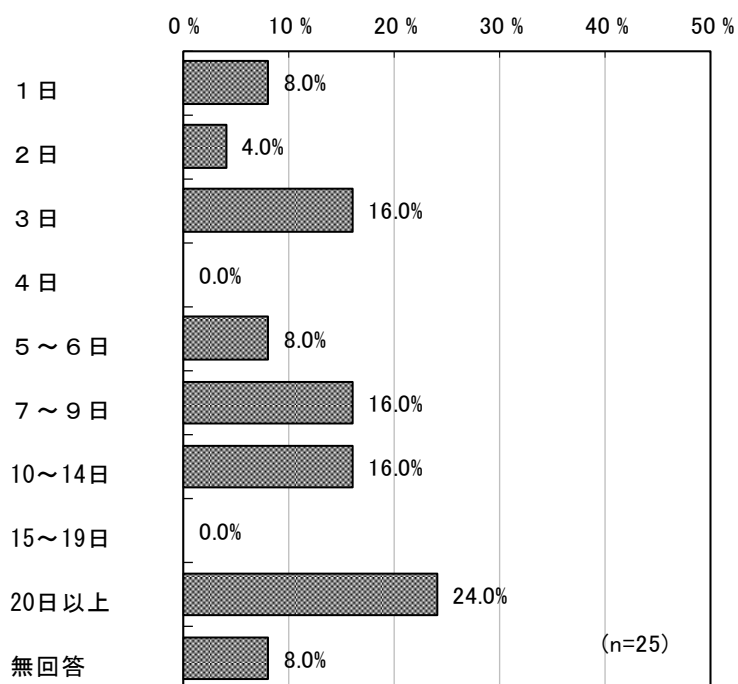
「1 日」が2 件、「20 日以上」が1 件となっている。（無回答1 件）

### ・ベビーシッター

「1 日」「2 日」「3 日」がそれぞれ3 件、「20 日以上」が1 件となっている。（無回答1 件）

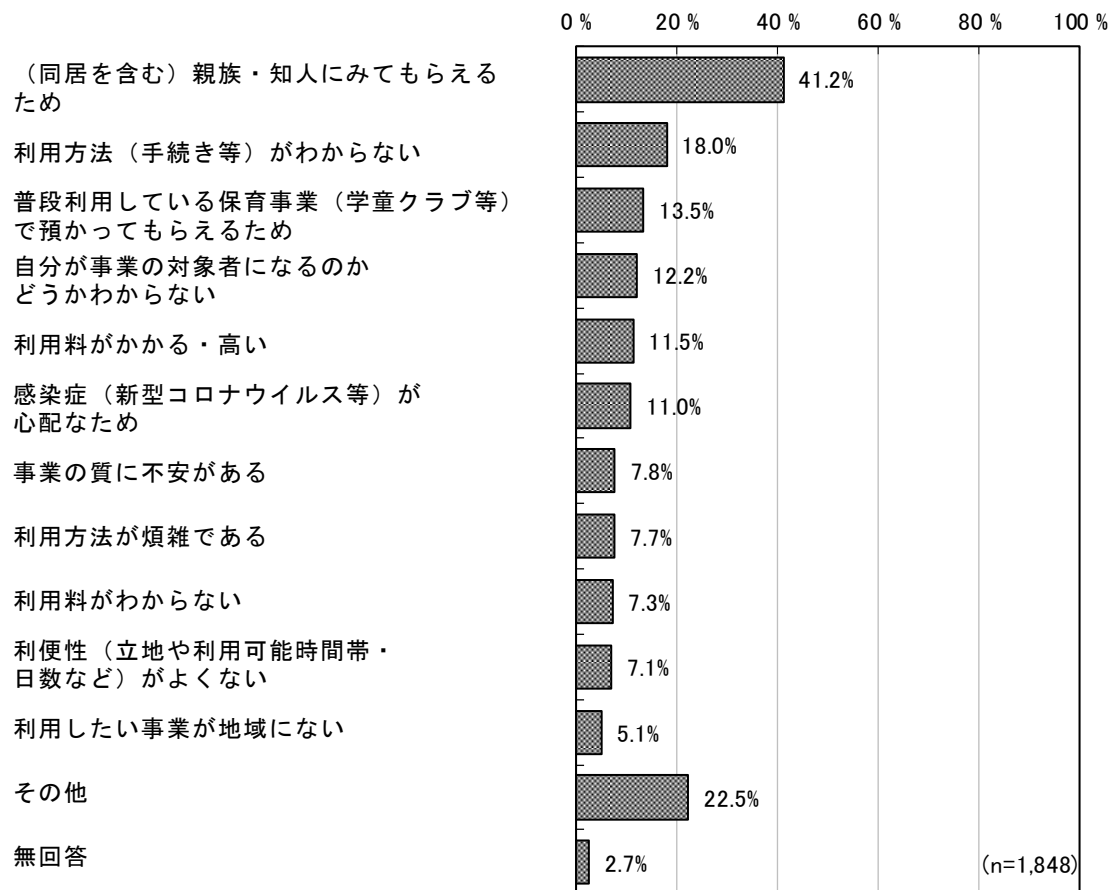
### ・その他

「20 日以上」(24.0%)が最も多く、「3 日」「7～9 日」「10～14 日」(それぞれ16.0%)と続く。  
平均は31.4 日となっている。



問 25 問 24 で「5. 利用していない」を選んだ方にうかがいます。  
利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

「(同居を含む) 親族・知人にみてもらえるため」(41.2%)が最も多く、「利用方法(手続き等)がわからない」(18.0%)、「普段利用している保育事業(学童クラブ等)で預かってもらえるため」(13.5%)と続く。



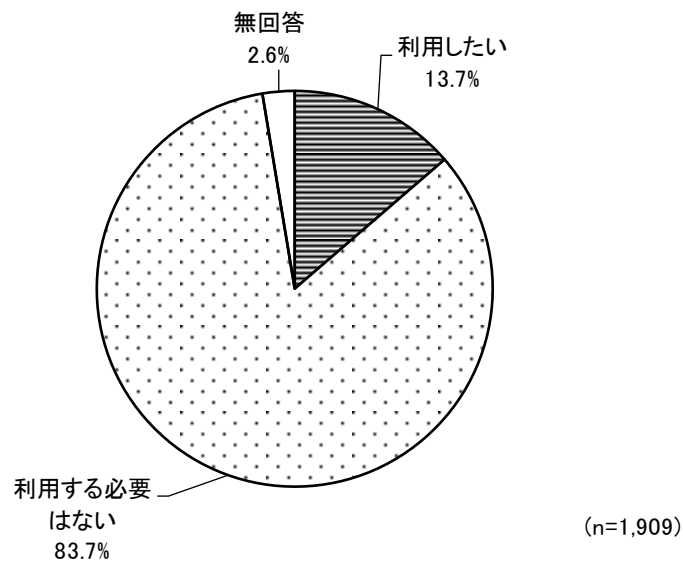
問 26 あて名のお子さんについて、保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、問 24 の事業を利用したいですか。利用希望の有無について、いずれかの番号に○をつけてください。

また、利用したい場合は、年間で利用したい日数を（ ）内にご記入ください（利用したい日数の合計と、内訳の日数をご記入ください）。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります※。

※ファミリーサポート事業：平日 1 時間 800 円（土・日曜、祝日、年末年始 1 時間 900 円）

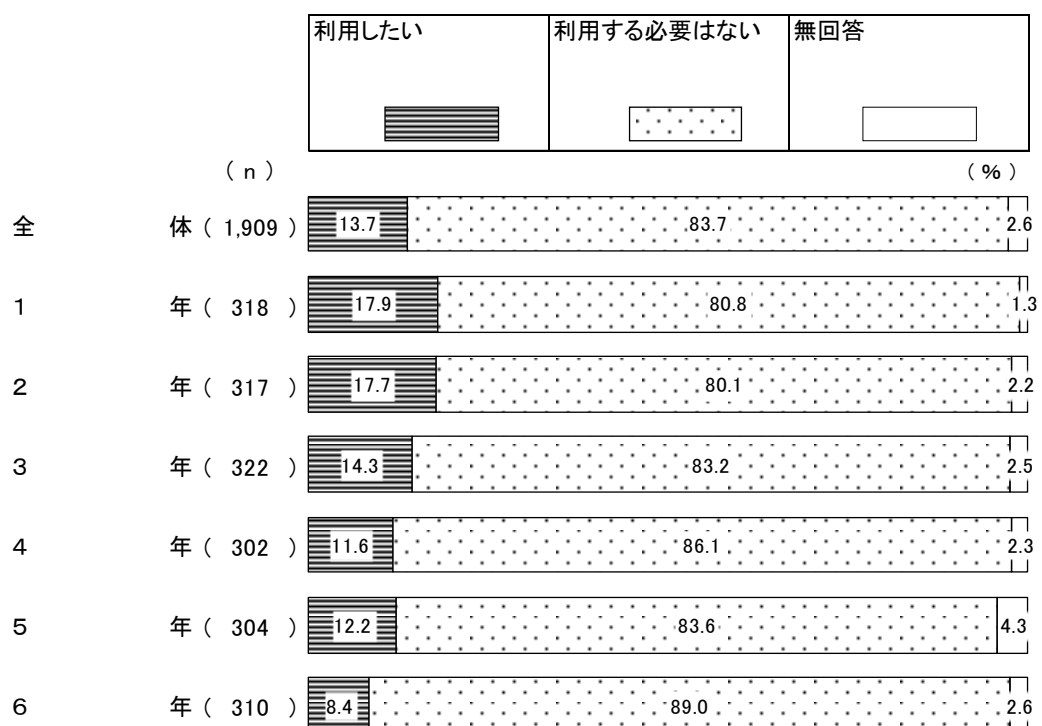
子どもトワイライトステイ：1 回 2,000 円（減免あり）

「利用する必要はない」（83.7%）、「利用したい」（13.7%）となっている。



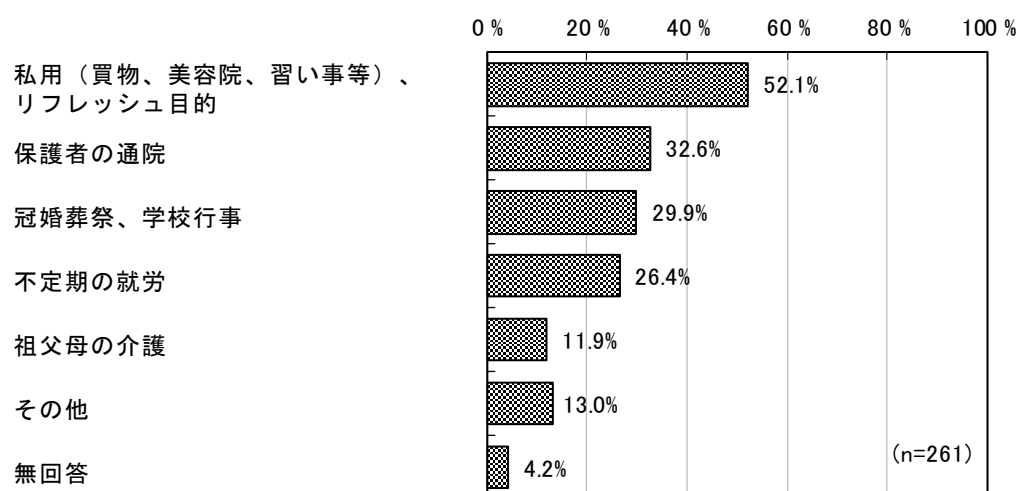
### 【学年別】

すべての学年で「利用する必要はない」が最も多く、8割以上となっている。



## ○利用したい理由

「私用（買物、美容院、習い事等）、リフレッシュ目的」（52.1%）が最も多く、「保護者の通院」（32.6%）、「冠婚葬祭、学校行事」（29.9%）と続く。



## 【学年別】

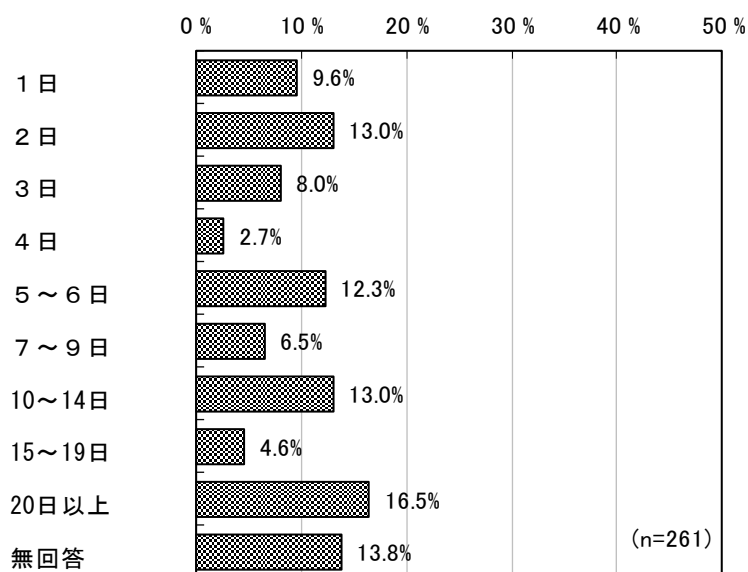
すべての学年で「私用（買物、美容院、習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多くなっている。

単位：%

	合計	私用（買物、美容院、習い事等）、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事	保護者の通院	祖父母の介護	不定期の就労	その他	無回答
全体	261	52.1	29.9	32.6	11.9	26.4	13.0	4.2
1年	57	54.4	38.6	31.6	8.8	22.8	7.0	5.3
2年	56	66.1	33.9	33.9	3.6	28.6	5.4	1.8
3年	46	45.7	26.1	39.1	19.6	26.1	10.9	4.3
4年	35	54.3	25.7	28.6	14.3	25.7	11.4	2.9
5年	37	43.2	24.3	29.7	8.1	35.1	16.2	5.4
6年	26	42.3	23.1	34.6	26.9	23.1	38.5	3.8

## ○ 1年間の利用希望日数

「20日以上」(16.5%)が最も多く、「2日」「10～14日」(それぞれ13.0%)、「5～6日」(12.3%)と続く。



## 【全体・学年別 1年間の平均利用希望日数】

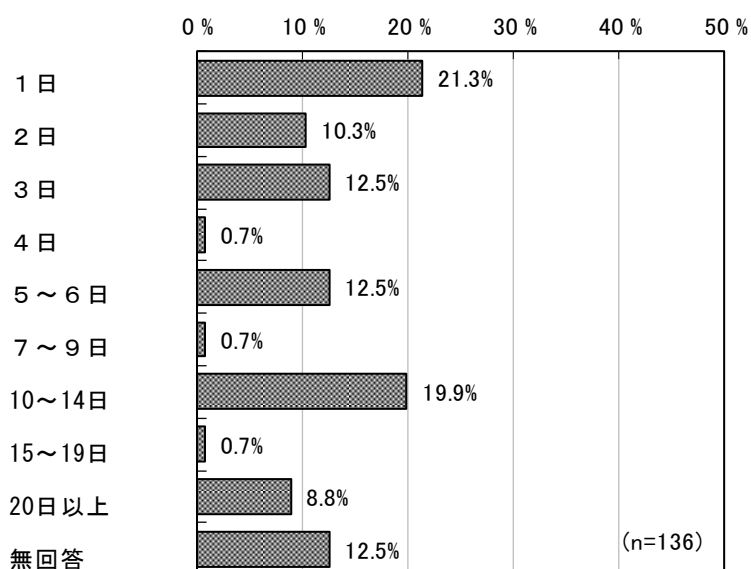
「5年」(21.2日)が最も多く、「6年」(9.4日)が最も少なくなっている。平均は13.3日となっている。

単位：日

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平均	13.3	11.1	12.0	12.7	16.2	21.2	9.4

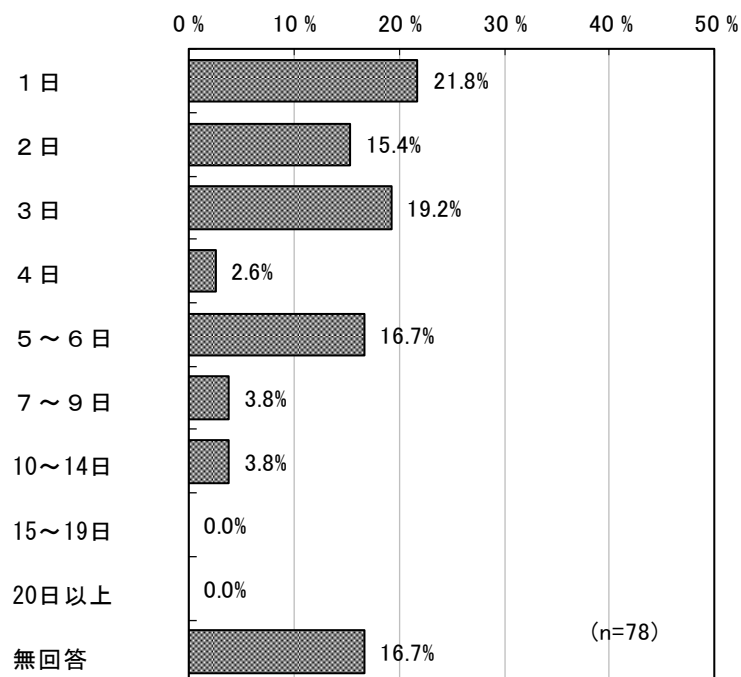
## ・私用（買物、美容院、習い事等）、リフレッシュ目的

「1日」(21.3%)が最も多く、「10～14日」(19.9%)、「3日」「5～6日」(それぞれ12.5%)と続く。平均は7.8日となっている。



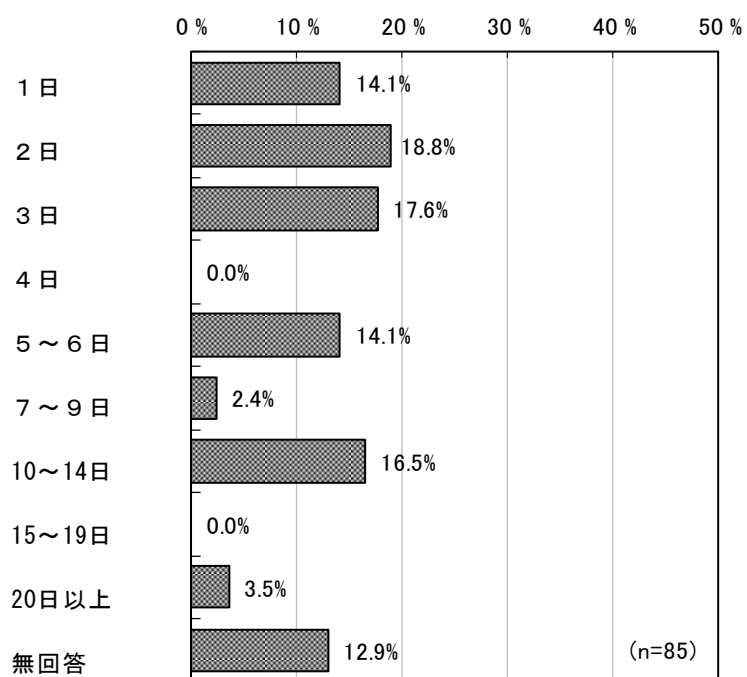
### ・冠婚葬祭、学校行事

「1日」(21.8%)が最も多く、「3日」(19.2%)、「5～6日」(16.7%)と続く。平均は3.3日となっている。



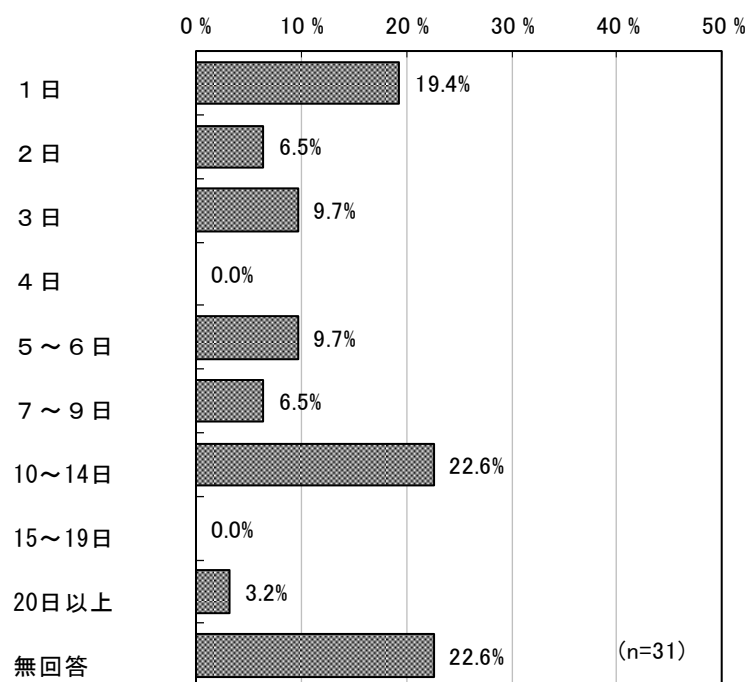
### ・保護者の通院

「2日」(18.8%)が最も多く、「3日」(17.6%)、「10～14日」(16.5%)と続く。平均は5.3日となっている。



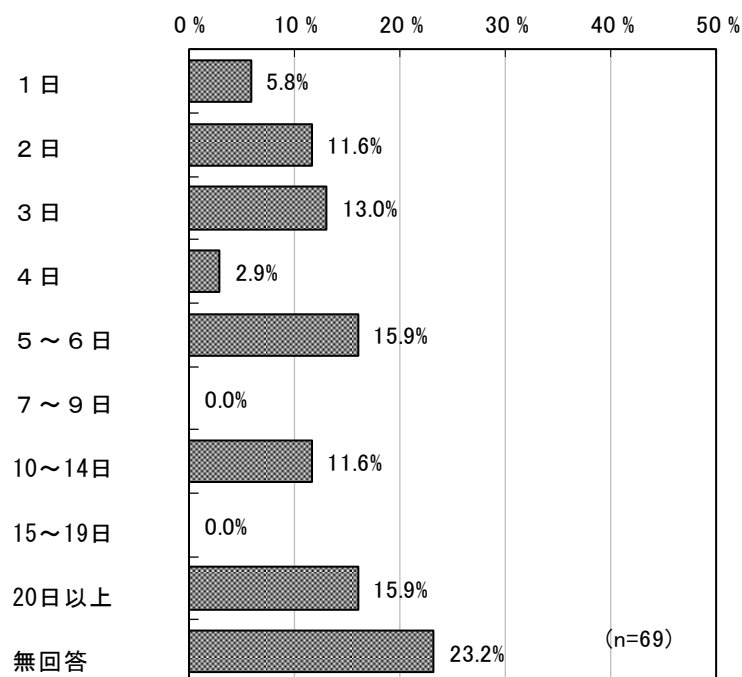
## ・ 祖父母の介護

「10～14 日」(22.6%)が最も多く、「1 日」(19.4%)、「3 日」「5～6 日」(それぞれ 9.7%)と続く。平均は 6.5 日となっている。



## ・ 不定期の就労

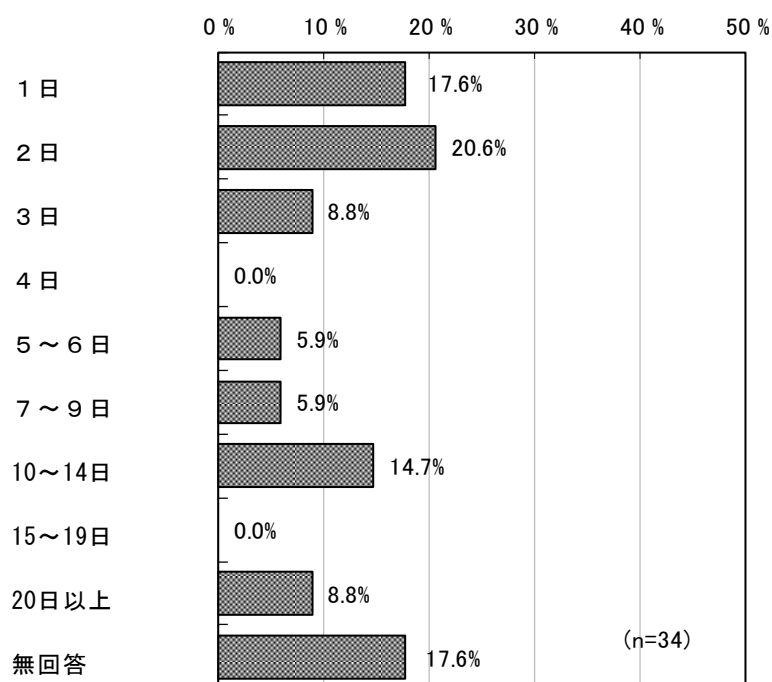
「5～6 日」「20 日以上」(それぞれ 15.9%)が最も多く、「3 日」(13.0%)、「2 日」「10～14 日」(それぞれ 11.6%) と続く。平均は 13.4 日となっている。





・その他

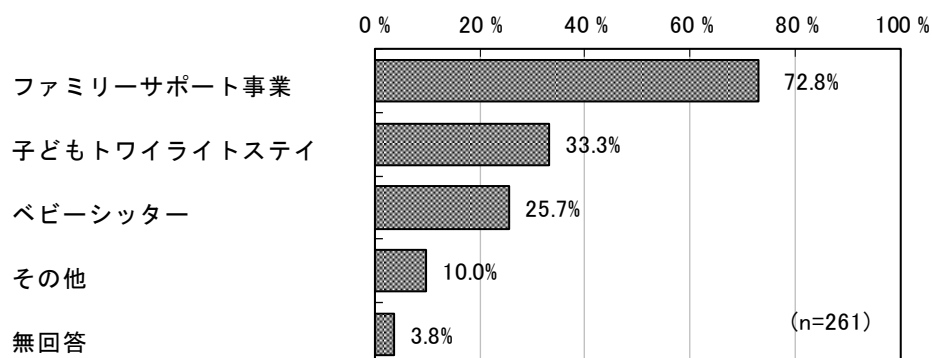
「2日」(20.6%)が最も多く、「1日」(17.6%)、「10～14日」(14.7%)と続く。平均は19.2日となっている。



問 27 問 26 で「1. 利用したい」を選んだ方にうかがいます。

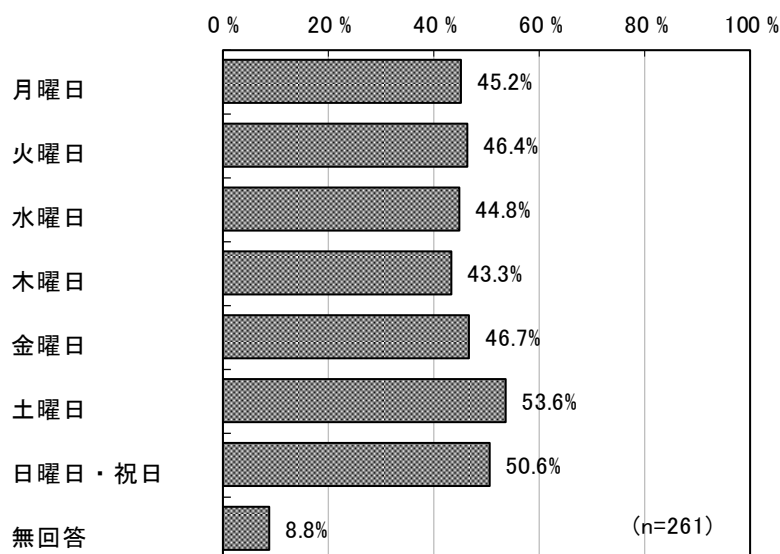
問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(いくつでも○)。

「ファミリーサポート事業」(72.8%)が最も多く、「子どもトワイライトステイ」(33.3%)、「ベビーシッター」(25.7%)と続く。



問 28 利用したい曜日はいつですか。(いくつでも○)

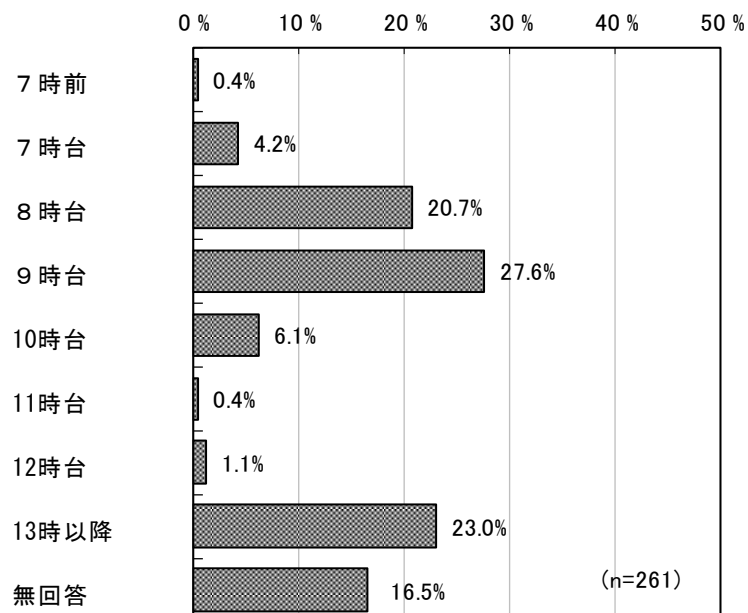
すべての曜日で4割以上となっている。



問 29 利用したい時間帯を、( ) 内に 24 時間制でご記入ください (例：9 時 00 分～18 時 00 分)。

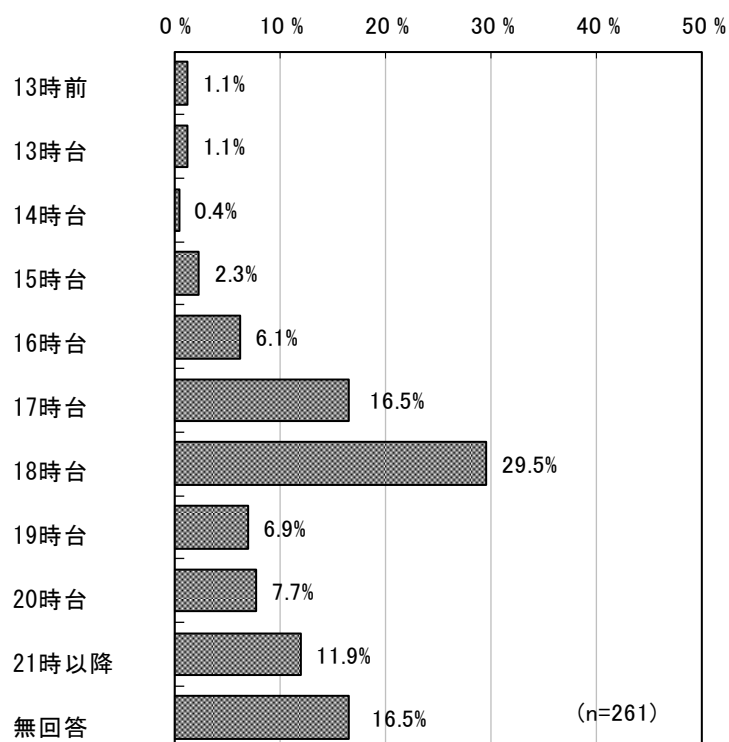
○希望の開始時刻

「9 時台」(27.6%)が最も多く、「13 時以降」(23.0%)、「8 時台」(20.7%)と続く。平均は 10 時 34 分となっている。



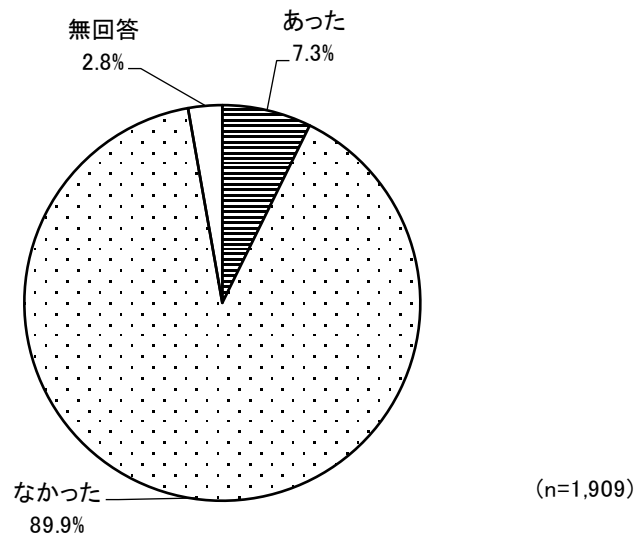
## ○希望の終了時刻

「18 時台」(29.5%)が最も多く、「17 時台」(16.5%)、「21 時以降」(11.9%)と続く。平均は 18 時 14 分となっている。



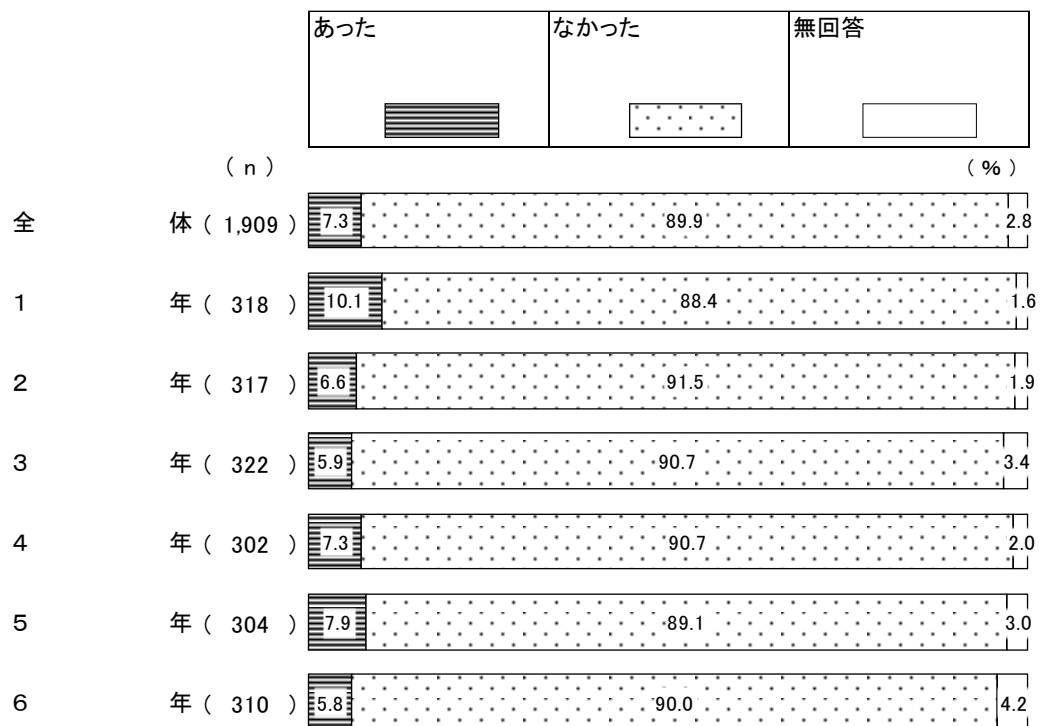
問 30 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数を（ ）内にご記入ください。

「なかった」(89.9%)、「あった」(7.3%)となっている



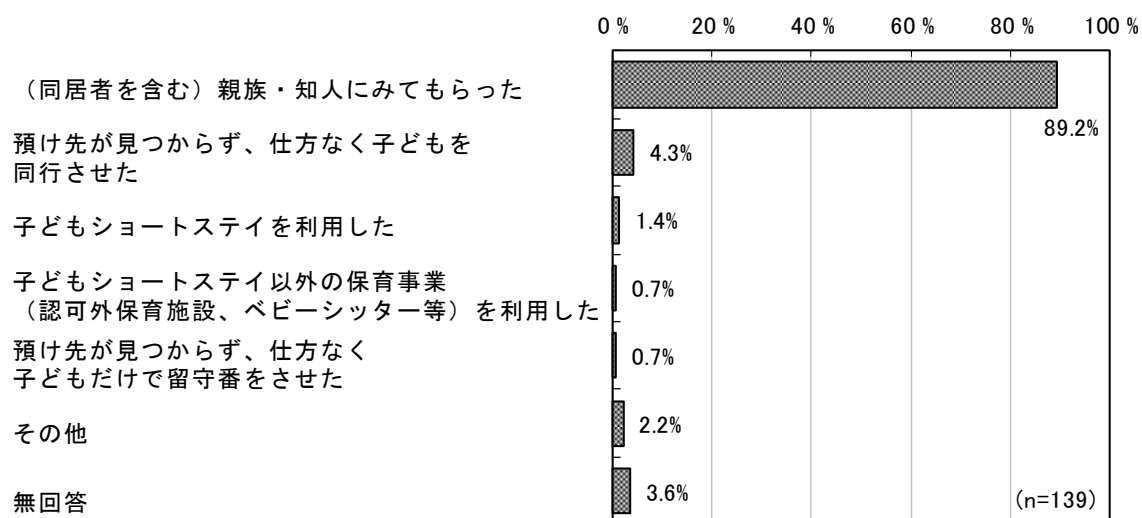
### 【学年別】

すべての学年で「なかった」が最も多く、9割前後となっている。



## ○ 1 年間の対処方法

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」（89.2%）が最も多くなっている。



## 【学年別】

すべての学年で「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く、8割半ば以上となっている。

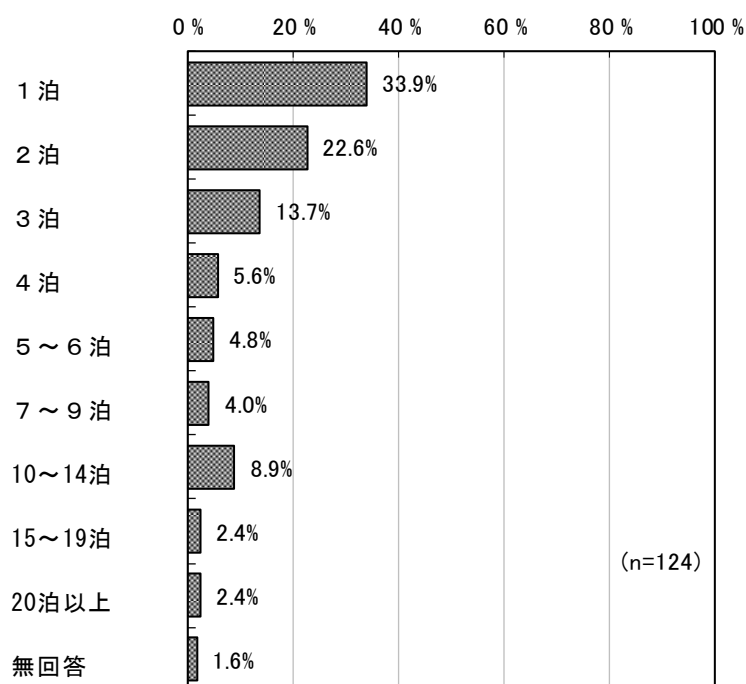
単位：%

	合計	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	子どもショートステイを利用した	子どもショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた	預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	139	89.2	1.4	0.7	4.3	0.7	2.2	3.6
1年	32	84.4	3.1	—	9.4	—	3.1	—
2年	21	90.5	—	—	4.8	—	9.5	—
3年	19	84.2	5.3	—	—	—	—	10.5
4年	22	90.9	—	—	—	—	—	9.1
5年	24	91.7	—	4.2	4.2	4.2	—	4.2
6年	18	94.4	—	—	5.6	—	—	—

## ○ 1年間の対処日数

### ・（同居者を含む）親族・知人にみてもらった

「1泊」（33.9%）が最も多く、「2泊」（22.6%）、「3泊」（13.7%）、「10～14泊」（8.9%）と続く。



### ・ 子どもショートステイを利用した

「5～6泊」「20泊以上」がそれぞれ1件となっている。

### ・ 子どもショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した

「1泊」が1件となっている。

### ・ 預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた

「1泊」が2件、「2泊」「3泊」「4泊」「10～14泊」がそれぞれ1件となっている。

### ・ 預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1泊」が1件となっている。

### ・ その他

「5～6泊」「10～14泊」がそれぞれ1件となっている（無回答1件）。

【全体・学年別 保護者の用事による際の１年間の平均対処日数】

“２年” “４年” “５年” では「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多くなっている。

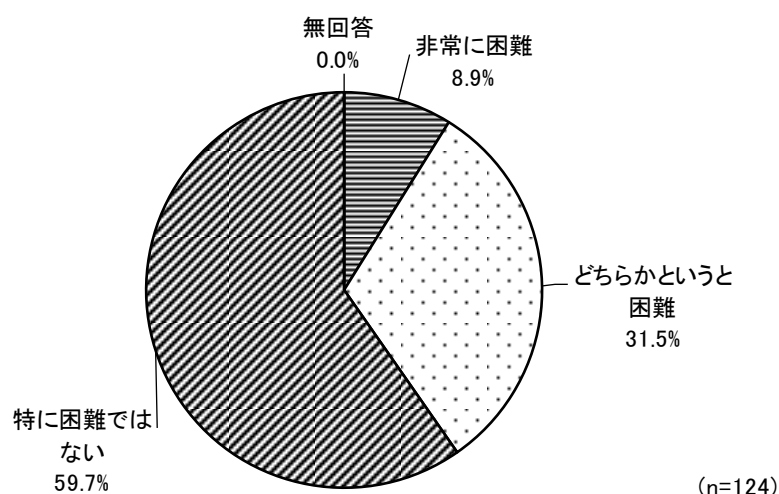
単位：日

	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	子どもショートステイを利用した	子どもショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた	預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
全体	4.6	39.0	1.0	3.5	1.0	8.5
１年	3.5	6.0	—	4.7	—	5.0
２年	9.3	—	—	1.0	—	12.0
３年	4.4	72.0	—	—	—	—
４年	4.8	—	—	—	—	—
５年	2.4	—	1.0	2.0	1.0	—
６年	3.9	—	—	4.0	—	—

問 31 問 30 で「１. あった」のうち、「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」を選んだ方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。（１つに○）

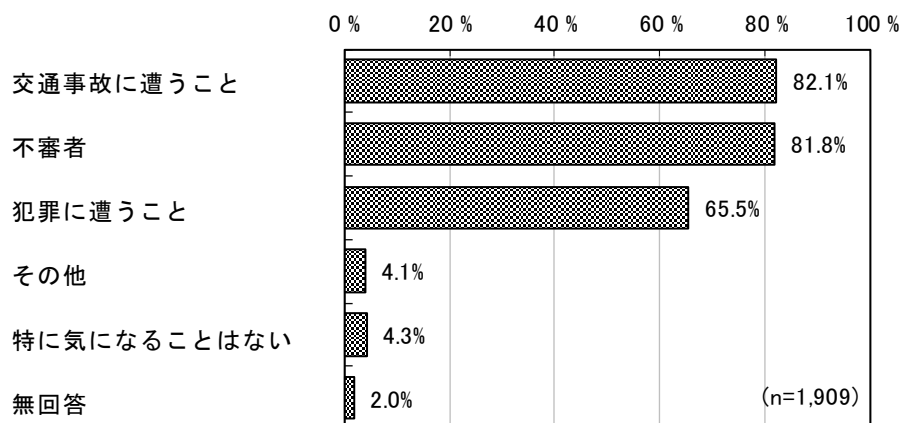
「特に困難ではない」（59.7%）が最も多く、「どちらかという困難」（31.5%）、「非常に困難」（8.9%）と続く。



## 7. 安全、防犯対策について

### 問 32 あなたは、通学路の安全について気になることがありますか。(いくつでも○)

「交通事故に遭うこと」(82.1%)、「不審者」(81.8%)、「犯罪に遭うこと」(65.5%)、「特に気になることはない」(4.3%)と続く。



### 【学年別】

すべての学年で「交通事故に遭うこと」「不審者」が多くなっている。

単位：%

	合計	交通事故に遭うこと	不審者	犯罪に遭うこと	その他	特に気になることはない	無回答
全体	1,909	82.1	81.8	65.5	4.1	4.3	2.0
1年	318	86.5	85.2	67.3	1.9	3.5	0.6
2年	317	85.5	81.4	71.6	5.4	2.5	1.3
3年	322	83.9	84.5	64.9	6.2	4.3	1.6
4年	302	83.1	79.1	63.9	3.6	5.0	1.7
5年	304	80.6	82.6	64.1	2.6	3.6	3.0
6年	310	72.6	78.1	61.0	4.2	7.7	2.9



## 【居住地区別】

すべての居住地区で「交通事故に遭うこと」「不審者」が多くなっている。

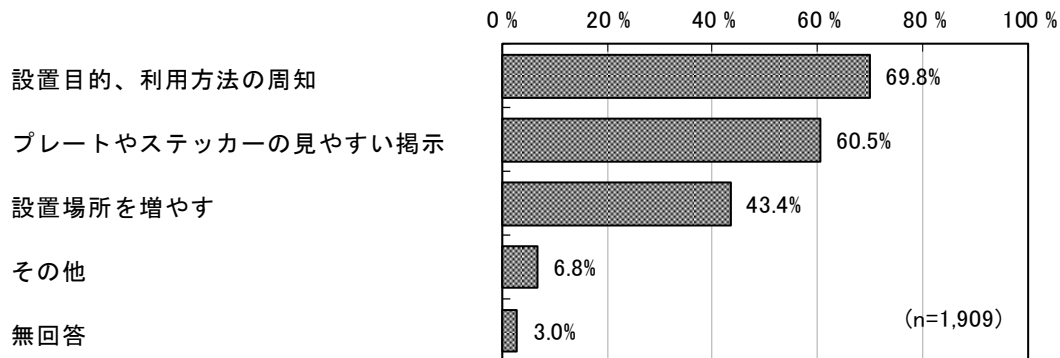
単位：％

	合計	交通事故に遭うこと	不審者	犯罪に遭うこと	その他	特に気になることはない	無回答
全体	1,909	82.1	81.8	65.5	4.1	4.3	2.0
練馬	403	84.6	81.1	62.5	4.7	4.2	2.0
光が丘	517	79.3	80.9	66.9	3.3	5.6	1.9
石神井	562	81.9	83.6	66.7	6.0	3.2	1.4
大泉	403	84.4	81.6	65.5	2.0	4.0	2.5

問 33 あなたは、緊急避難場所※に関して、今後何が必要だと考えますか。(いくつでも○)

※緊急避難場所：区の各地域には子どもが犯罪に巻き込まれそうになったときのかけこみ場所として、「ひまわり 110 番」、「こども 110 番」などの名称で約 4,400 か所の緊急避難場所が設置されています。区では表示図柄を統一した「ひまわり 110 番」のプレートやステッカーを配布しています。

「設置目的、利用方法の周知」(69.8%)が最も多く、「プレートやステッカーの見やすい掲示」(60.5%)、「設置場所を増やす」(43.4%)と続く。



## 【学年別】

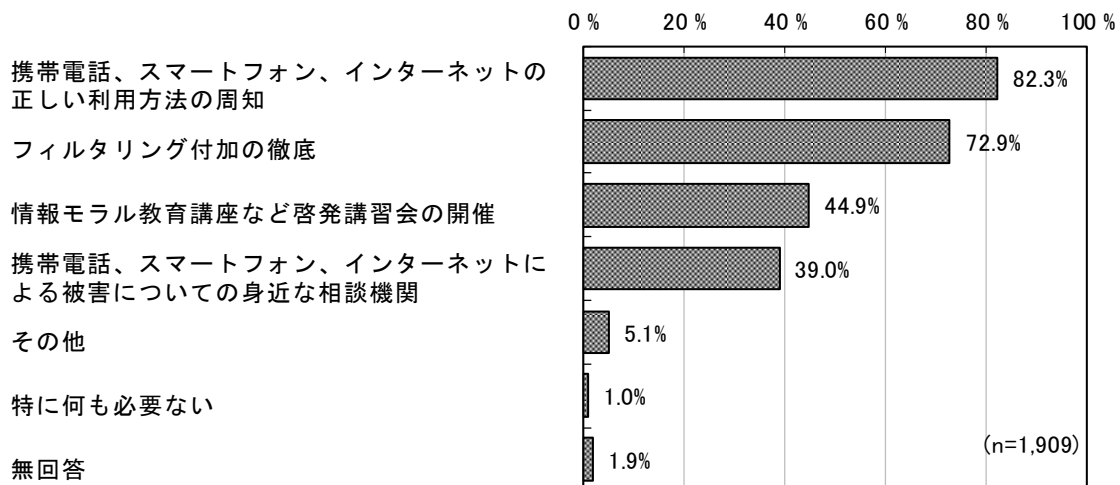
すべての学年で「設置目的、利用方法の周知」が最も多く、7割前後となっている。

単位：%

	合計	設置目的、 利用方法の周知	設置場所を増やす	プレートやステッカーの 見やすい掲示	その他	無回答
全体	1,909	69.8	43.4	60.5	6.8	3.0
1 年	318	68.6	47.5	65.4	4.4	2.2
2 年	317	69.4	45.7	60.9	6.0	2.8
3 年	322	71.1	46.0	60.9	7.5	2.2
4 年	302	68.9	40.1	61.9	8.3	3.0
5 年	304	71.7	36.8	57.6	6.6	3.9
6 年	310	70.0	44.2	58.1	7.4	2.9

**問 34 あなたは、携帯電話やインターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取組として何が必要だと考えますか。(いくつでも○)**

「携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知」(82.3%)が最も多く、「フィルタリング付加の徹底」(72.9%)、「情報モラル教育講座など啓発講習会の開催」(44.9%)、「携帯電話、スマートフォン、インターネットによる被害についての身近な相談機関」(39.0%)と続く。



**【学年別】**

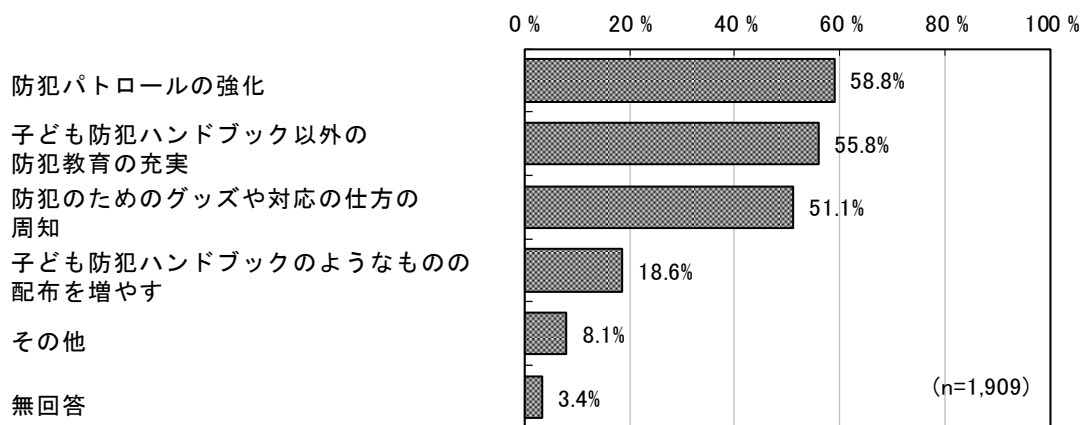
すべての学年で「携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知」が最も多く、8割以上となっている。

単位：％

	合計	携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知	フィルタリング付加の徹底	情報モラル教育講座など啓発講習会の開催	携帯電話、スマートフォン、インターネットによる被害についての身近な相談機関	その他	特に何も必要ない	無回答
全体	1,909	82.3	72.9	44.9	39.0	5.1	1.0	1.9
1年	318	84.0	72.6	43.7	40.9	3.8	1.6	0.6
2年	317	82.6	70.7	46.4	38.5	5.7	0.3	1.6
3年	322	82.9	77.0	44.4	40.4	5.6	1.6	1.9
4年	302	80.8	75.2	43.0	35.4	6.6	1.0	1.7
5年	304	82.2	68.8	48.7	39.8	3.0	1.0	2.6
6年	310	82.6	73.2	43.9	39.0	5.8	0.6	2.3

問 35 子どもの防犯に関して、今後何が必要だと考えますか。(いくつでも○)

「防犯パトロールの強化」(58.8%)が最も高く、「子ども防犯ハンドブック以外の防犯教育の充実」(55.8%)、「防犯のためのグッズや対応の仕方の周知」(51.1%)、「子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす」(18.6%)と続く。



【学年別】

すべての学年で「防犯パトロールの強化」が最も多くなっている。また、「子ども防犯ハンドブック以外の防犯教育の充実」「防犯のためのグッズや対応の仕方の周知」も5割前後と多くなっている。

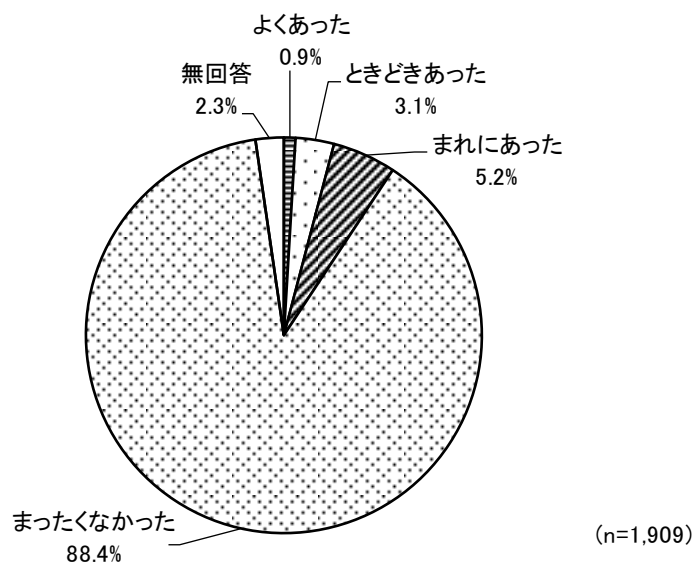
単位：％

	合計	子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす	子ども防犯ハンドブック以外の防犯教育の充実	防犯のためのグッズや対応の仕方の周知	防犯パトロールの強化	その他	無回答
全体	1,909	18.6	55.8	51.1	58.8	8.1	3.4
1年	318	18.6	53.1	52.8	59.1	6.6	4.1
2年	317	19.2	58.7	55.2	59.0	8.5	2.5
3年	322	21.1	60.2	50.3	61.5	9.6	1.9
4年	302	19.9	59.6	49.7	59.6	7.6	1.7
5年	304	19.1	51.0	49.7	57.9	10.2	5.6
6年	310	15.2	52.6	47.1	56.8	5.8	3.9

## 8. 家庭での生活について

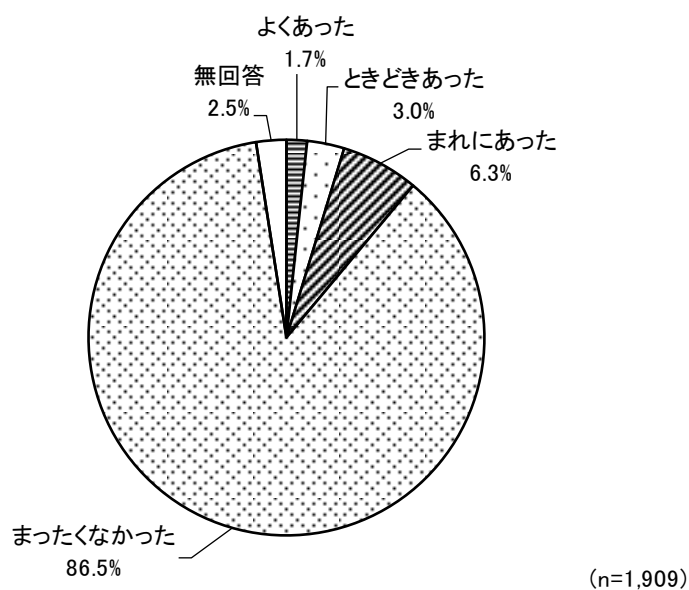
問 36 この1年間に、お金が足りず、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。  
(1つに○)

「まったくなかった」(88.4%)が最も多く、「まれにあった」(5.2%)、「ときどきあった」(3.1%)、「よくあった」(0.9%)と続く。



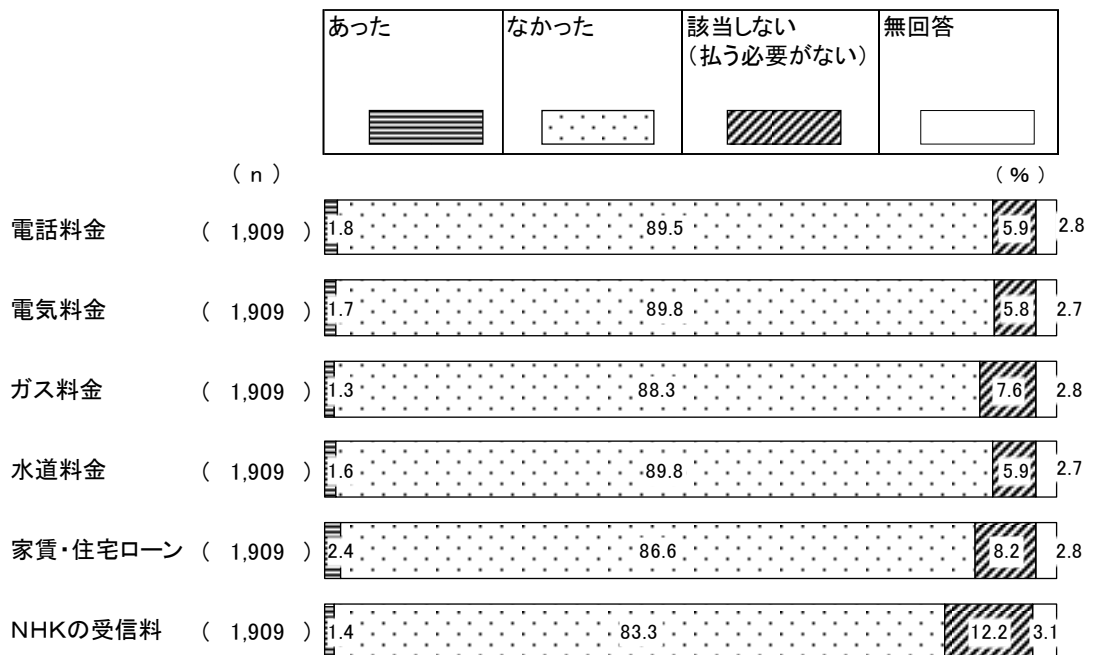
問 37 この1年間に、お金が足りず、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。  
(1つに○)

「まったくなかった」(86.5%)が最も多く、「まれにあった」(6.3%)、「ときどきあった」(3.0%)、「よくあった」(1.7%)と続く。



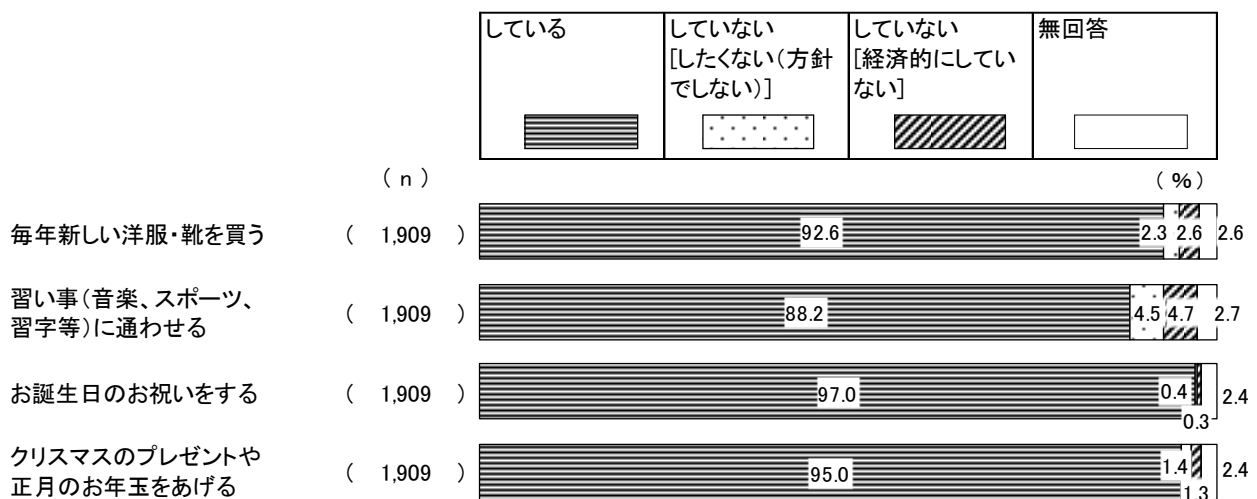
問 38 この１年間に、経済的な理由で、以下の料金を支払えないことがありましたか。  
(それぞれ１つに○)

すべての項目で「なかった」が最も多く、８割以上となっている。



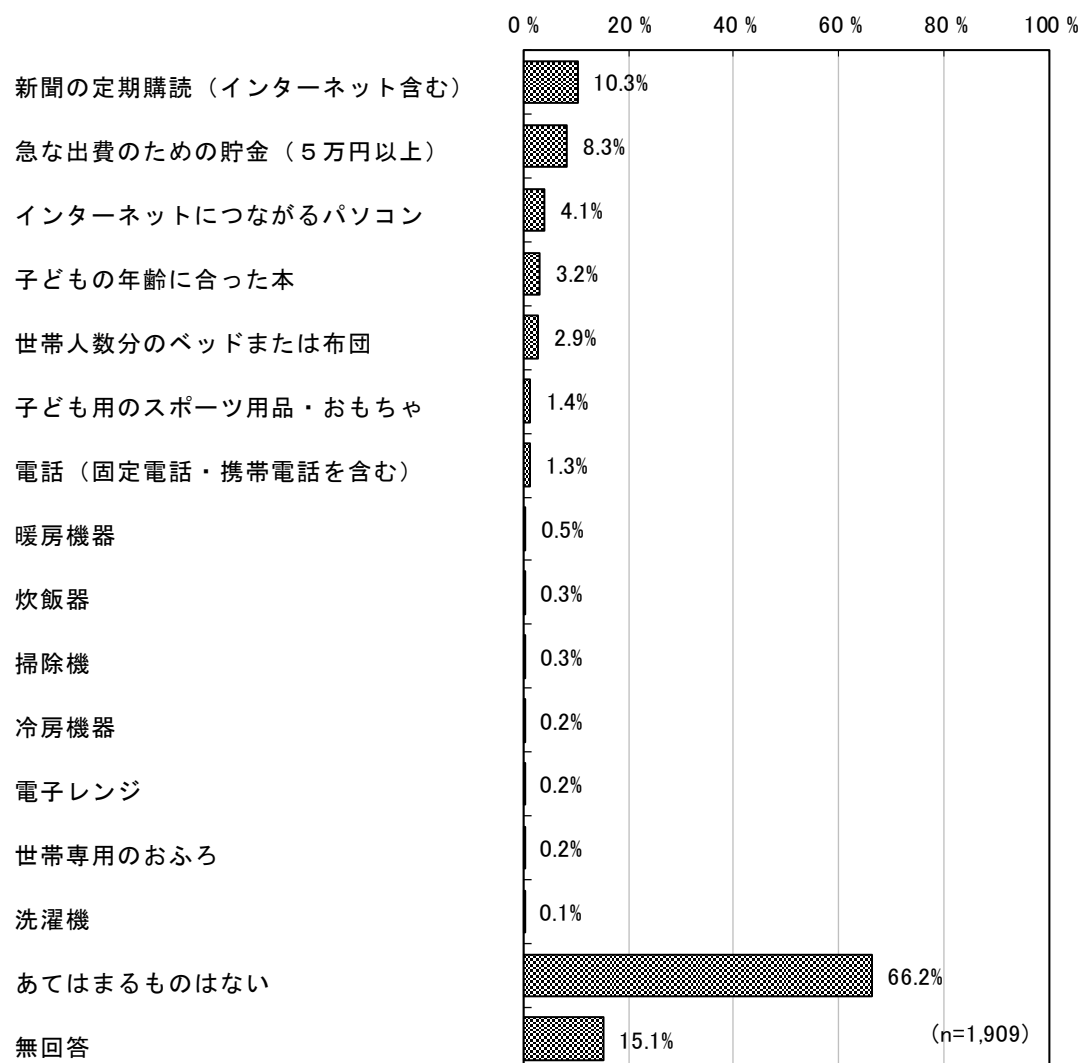
問 39 あて名のお子さんにつぎのようなことをしていますか。(それぞれ１つに○)

すべての項目で「している」が最も多く、９割前後となっている。



問 40 つぎのうち、経済的理由のためにあなたの家庭にないものはありますか。(いくつかでも○)

「あてはまるものはない」(66.2%)が最も多く、「新聞の定期購読(インターネット含む)」(10.3%)、「急な出費のための貯金(5万円以上)」(8.3%)と続く。

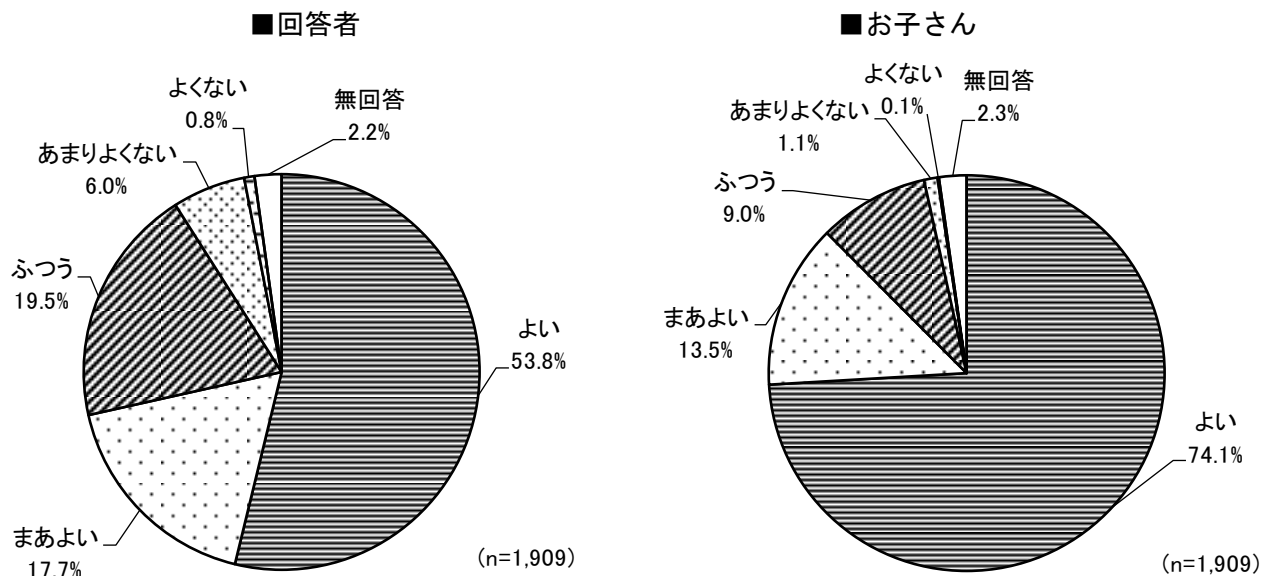


## 9. 食事・健康について

問 41 あなたとあて名のお子さんの健康状態についてうかがいます。(それぞれ、最も近い番号 1 つに○)

回答者は、「よい」(53.8%)が最も多く、「ふつう」(19.5%)、「まあよい」(17.7%)、「あまりよくない」(6.0%)と続く。

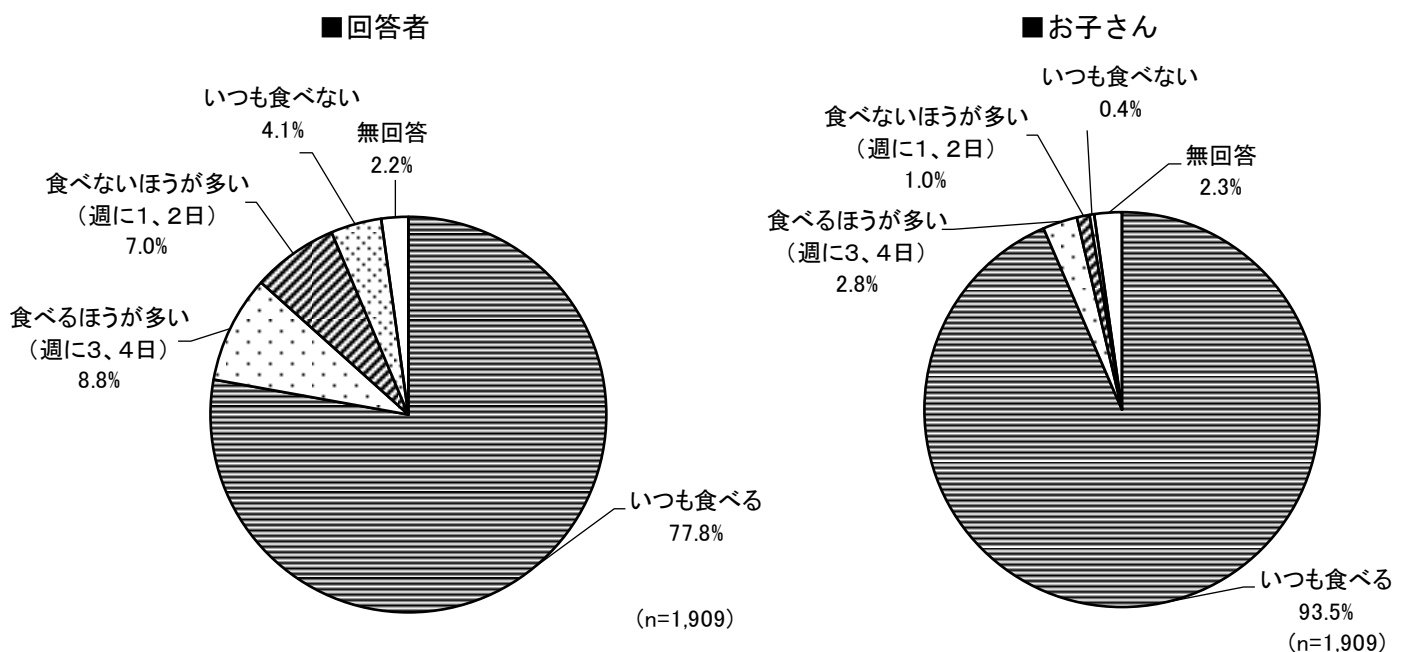
お子さんは、「よい」(74.1%)が最も多く、「まあよい」(13.5%)、「ふつう」(9.0%)と続く。



問 42 あなたとあて名のお子さんは、平日に毎日、朝ごはんを食べますか。(1 つに○)

回答者は、「いつも食べる」(77.8%)が最も多く、「食べるほうが多い(週に3、4日)」(8.8%)、「食べないほうが多い(週に1、2日)」(7.0%)、「いつも食べない」(4.1%)と続く。

お子さんは、「いつも食べる」(93.5%)が最も多く、「食べるほうが多い(週に3、4日)」(2.8%)、「食べないほうが多い(週に1、2日)」(1.0%)、「いつも食べない」(0.4%)と続く。

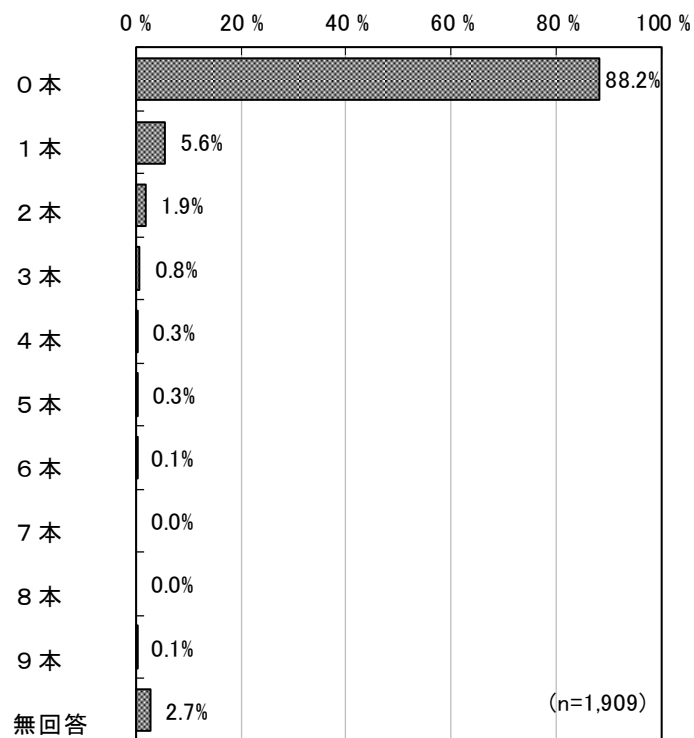




問 43 あて名のお子さんには、今、虫歯が何本くらいありますか。治療中のものも含み、数字でお答えください。

※虫歯がない場合は、0本とご記入ください。治療が終わったものは数えません。

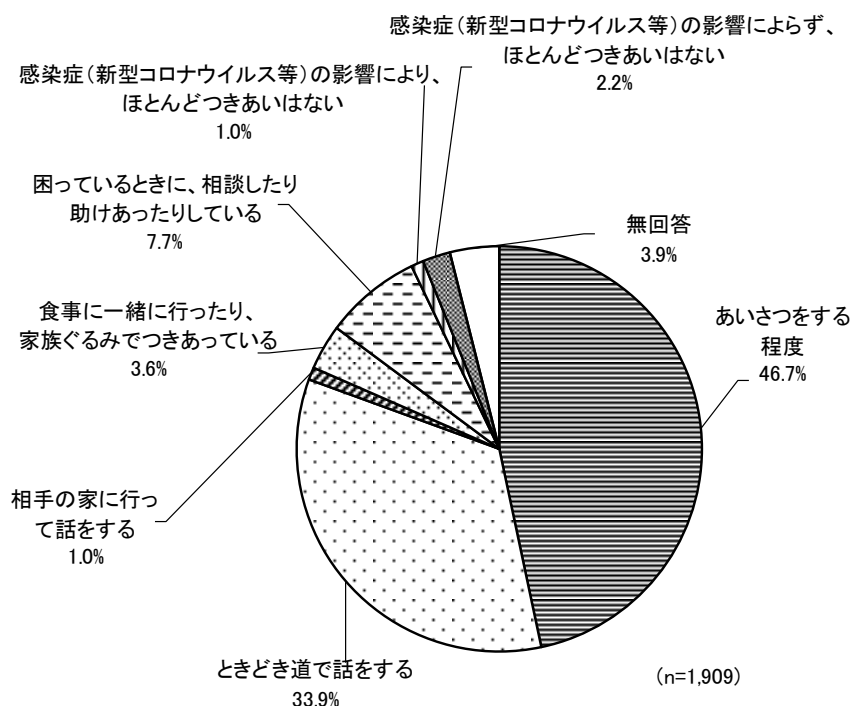
「0本」(88.2%)が最も多く、「1本」(5.6%)、「2本」(1.9%)と続く。



## 10. 地域との交流について

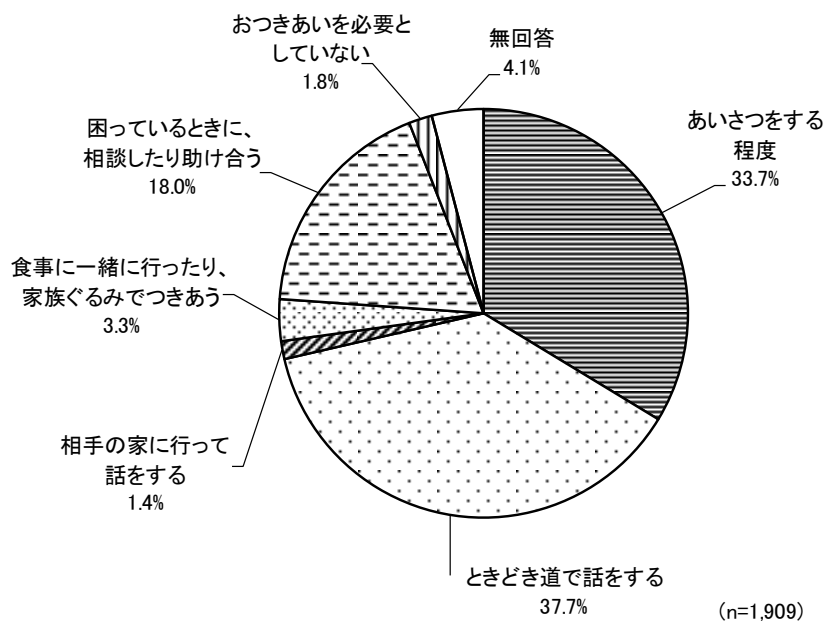
### 問 44 あなたの近所とおつきあいの程度についてお答えください。(1つに○)

「あいさつをする程度」(46.7%)が最も多く、「ときどき道で話をする」(33.9%)、「困っているときに、相談したり助けあったりしている」(7.7%)と続く。



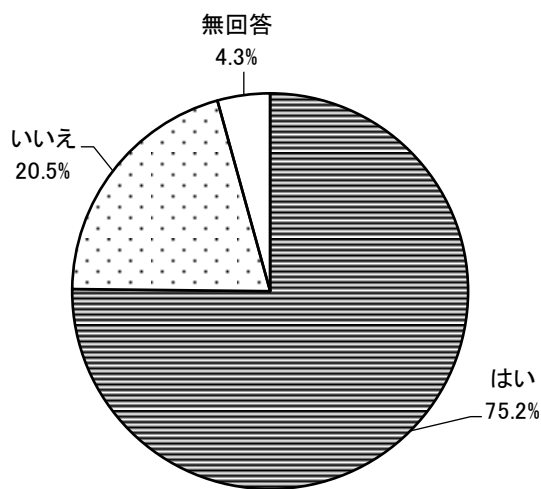
### 問 45 あなたは、近所とおつきあいをどの程度望んでいますか。(1つに○)

「ときどき道で話をする」(37.7%)が最も多く、「あいさつをする程度」(33.7%)、「困っているときに、相談したり助け合う」(18.0%)と続く。



問 46 現在は感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、さまざまな地域行事が中止になっていますが、あなたは今後地域で行っている行事に参加したいですか。参加希望について、いずれかの番号に○をつけてください。また、「1. はい」を選んだ方は【参加したい行事】からあてはまるものすべてに○をつけてください。

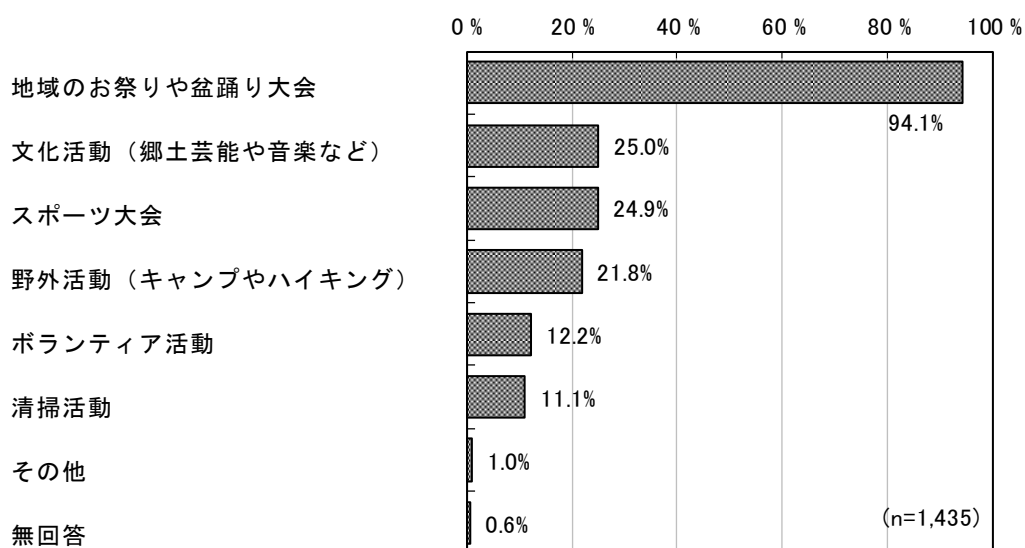
「はい」(75.2%)、「いいえ」(20.5%)となっている。



(n=1,909)

#### <参加したい行事>

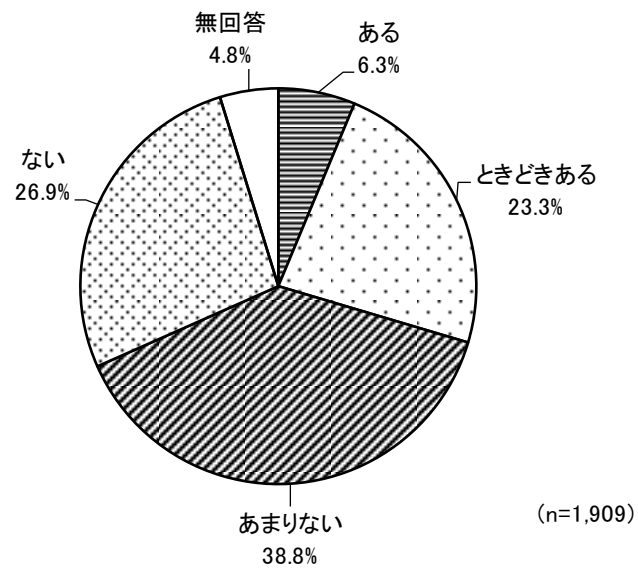
「地域のお祭りや盆踊り大会」(94.1%)が最も多く、「文化活動（郷土芸能や音楽など）」(25.0%)「スポーツ大会」(24.9%)、「野外活動（キャンプやハイキング）」(21.8%)と続く。



(n=1,435)

問 47 あなたは、子育てに関して孤立感を感じることはありますか。(1つに○)

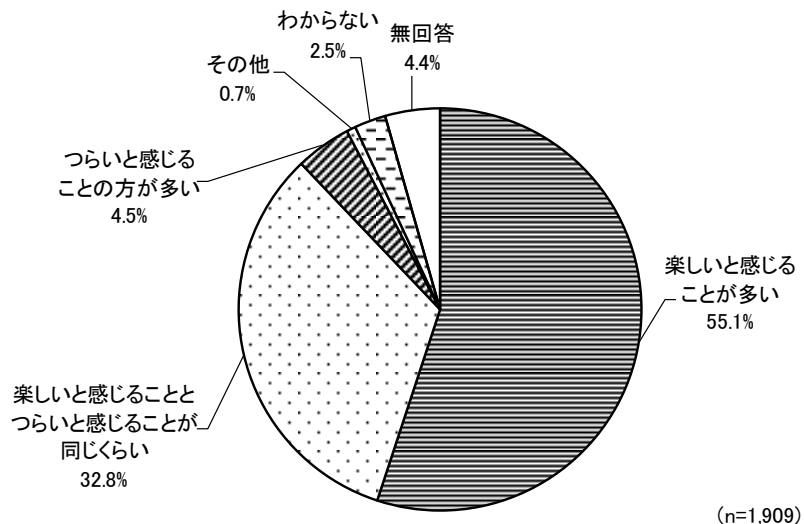
「あまりない」(38.8%)が最も多く、「ない」(26.9%)、「ときどきある」(23.3%)、「ある」(6.3%)と続く。



## 11. 子育て全般について

### 問 48 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いですか。（1つに○）

「楽しいと感じることが多い」（55.1%）が最も多く、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」（32.8%）、「つらいと感じることの方が多い」（4.5%）と続く。



### 【学年別】

すべての学年で「楽しいと感じることが多い」が最も多く 5 割前後となっている。

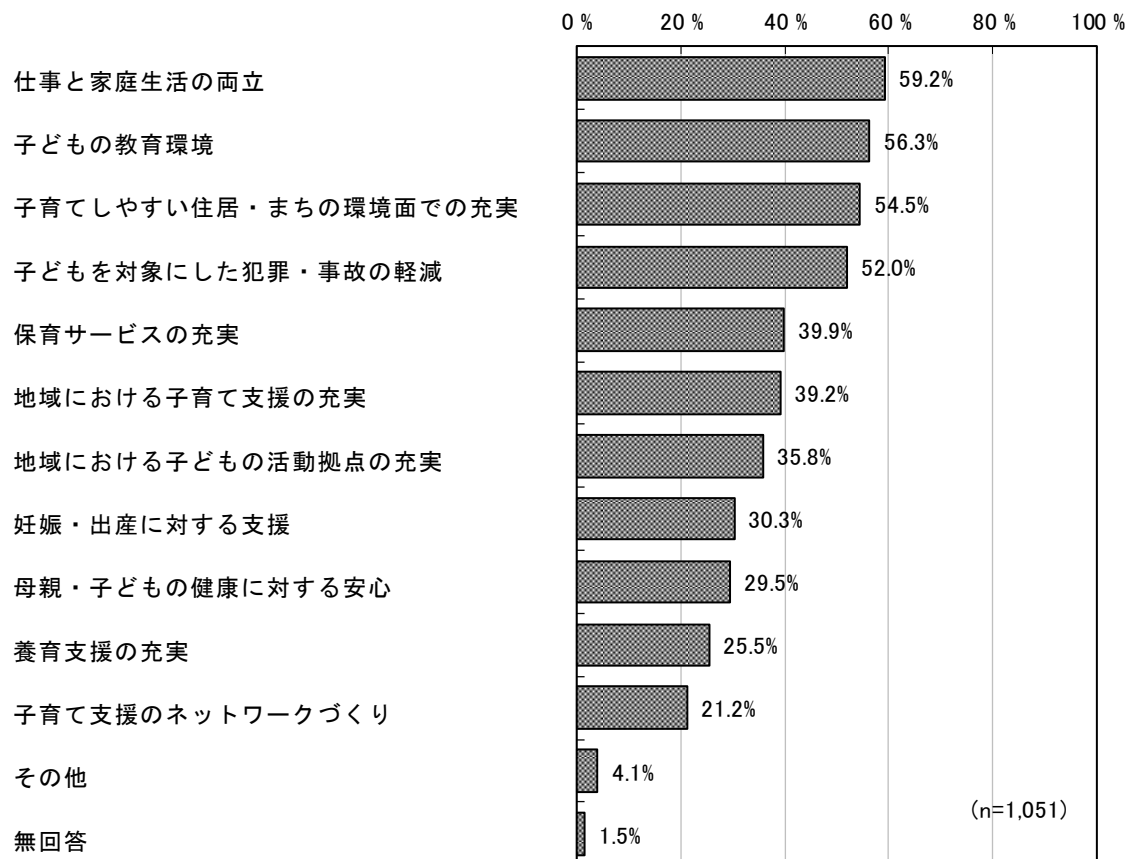
単位：%

	合計	楽しいと感じることが多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
全体	1,909	55.1	32.8	4.5	0.7	2.5	4.4
1 年	318	54.7	36.5	3.5	0.6	0.3	4.4
2 年	317	57.4	31.5	5.0	—	2.2	3.8
3 年	322	55.0	34.8	3.1	0.6	2.8	3.7
4 年	302	57.0	28.8	5.6	1.3	4.3	3.0
5 年	304	49.3	34.2	5.9	1.0	3.6	5.9
6 年	310	56.5	31.0	4.2	0.6	1.9	5.8

問 49 問 48 で「1. 楽しいと感じることが多い」を選んだ方にうかがいます。

子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。(いくつでも○)

「仕事と家庭生活の両立」(59.2%)が最も多く、「子どもの教育環境」(56.3%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(54.5%)、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(52.0%)、「保育サービスの充実」(39.9%)と続く。



## 【学年別】

“２年” “６年”を除いて「仕事と家庭生活の両立」が最も多く、“２年”は「子どもの教育環境」 “６年”は「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も多くなっている。

単位：％

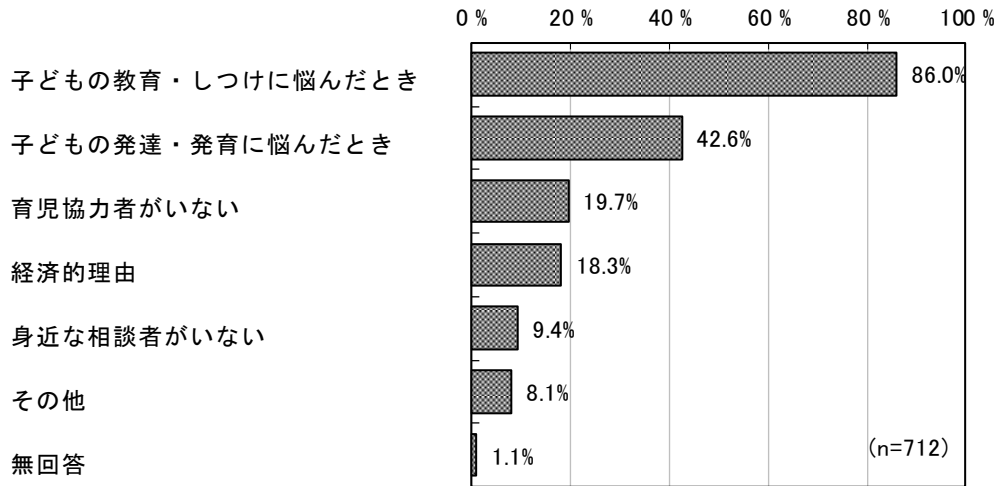
	合計	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	母親・子どもの健康に対する安心
全体	1,051	39.2	39.9	21.2	35.8	30.3	29.5
１年	174	42.5	47.1	23.6	37.4	39.7	25.9
２年	182	36.3	39.6	17.6	35.2	26.4	29.1
３年	177	40.1	42.9	18.1	35.6	33.3	29.9
４年	172	37.8	34.9	20.3	36.0	25.6	28.5
５年	150	38.7	37.3	23.3	34.0	26.0	33.3
６年	175	40.0	37.7	23.4	35.4	28.0	29.7

	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	養育支援の充実	その他	無回答
全体	56.3	54.5	59.2	52.0	25.5	4.1	1.5
１年	56.9	55.7	64.4	55.7	27.6	2.9	1.7
２年	59.9	56.6	58.8	52.7	25.3	6.0	1.6
３年	61.0	51.4	63.8	53.1	26.0	4.0	1.1
４年	53.5	53.5	55.8	49.4	22.7	2.9	0.6
５年	58.0	56.7	64.0	51.3	25.3	4.0	0.7
６年	48.0	53.7	49.7	48.0	26.3	4.6	2.3

問 50 問 48 で「 2. 」または「 3. 」を選んだ方にうかがいます。

あなたは、どんなことに子育てのつらさを感じますか？（いくつでも○）

「子どもの教育・しつけに悩んだとき」(86.0%)が最も多く、「子どもの発達・発育に悩んだとき」(42.6%)、「育児協力者がいない」(19.7%)と続く。



#### 【学年別】

すべての学年で「子どもの教育・しつけに悩んだとき」が最も多くなっている。

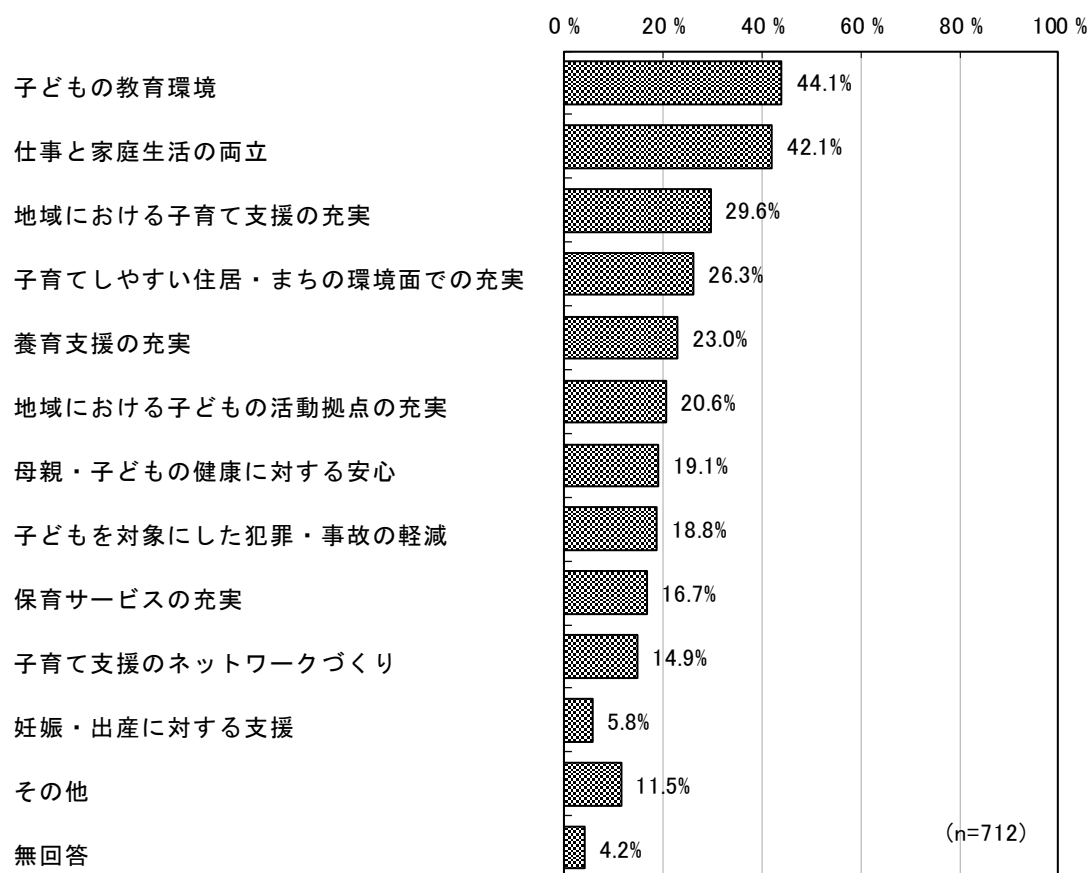
単位：%

	合計	子どもの発達・発育に悩んだとき	子どもの教育・しつけに悩んだとき	育児協力者がいない	身近な相談者がいない	経済的理由	その他	無回答
全体	712	42.6	86.0	19.7	9.4	18.3	8.1	1.1
1年	127	41.7	82.7	15.0	7.1	12.6	8.7	1.6
2年	116	38.8	83.6	24.1	8.6	17.2	12.1	1.7
3年	122	45.1	85.2	27.0	9.8	20.5	7.4	—
4年	104	49.0	91.3	18.3	13.5	17.3	3.8	1.0
5年	122	50.8	88.5	13.1	8.2	16.4	6.6	0.8
6年	109	31.2	85.3	18.3	10.1	26.6	11.0	0.9



問 51 つらさを解消するために必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

「子どもの教育環境」(44.1%)が最も多く、「仕事と家庭生活の両立」(42.1%)、「地域における子育て支援の充実」(29.6%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(26.3%)、「養育支援の充実」(23.0%)と続く。



## 【学年別】

“１年”～“３年”では「仕事と家庭生活の両立」が最も多く、“４年”～“６年”では「子どもの教育環境」が最も多くなっている。なお、“１年”では「子どもの教育環境」も多くなっている。

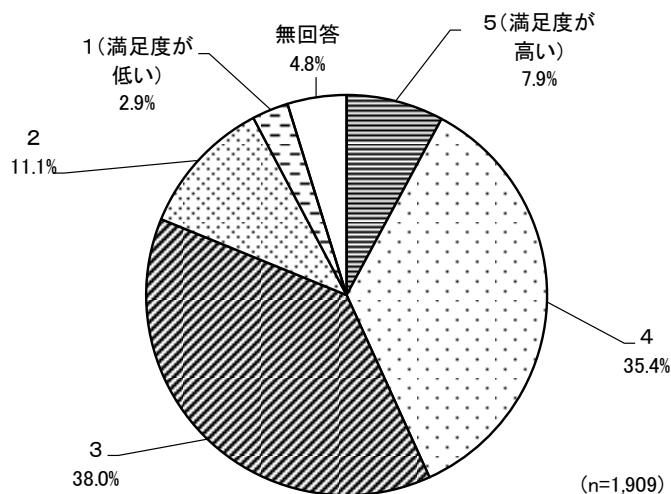
単位：％

	合計	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	母親・子どもの健康に対する安心
全体	712	29.6	16.7	14.9	20.6	5.8	19.1
１年	127	33.1	28.3	18.1	18.1	11.0	22.8
２年	116	30.2	21.6	14.7	19.0	4.3	17.2
３年	122	32.0	17.2	14.8	32.8	6.6	20.5
４年	104	28.8	13.5	23.1	19.2	3.8	14.4
５年	122	29.5	9.0	10.7	18.0	5.7	20.5
６年	109	22.9	7.3	9.2	14.7	2.8	17.4

	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面の充実	仕事と家庭生活の両立	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	養育支援の充実	その他	無回答
全体	44.1	26.3	42.1	18.8	23.0	11.5	4.2
１年	39.4	23.6	39.4	18.1	22.8	8.7	4.7
２年	40.5	26.7	44.8	11.2	17.2	15.5	7.8
３年	55.7	35.2	56.6	30.3	27.0	9.8	2.5
４年	41.3	31.7	37.5	22.1	21.2	9.6	2.9
５年	45.9	24.6	36.9	22.1	25.4	12.3	1.6
６年	41.3	17.4	36.7	10.1	24.8	13.8	4.6

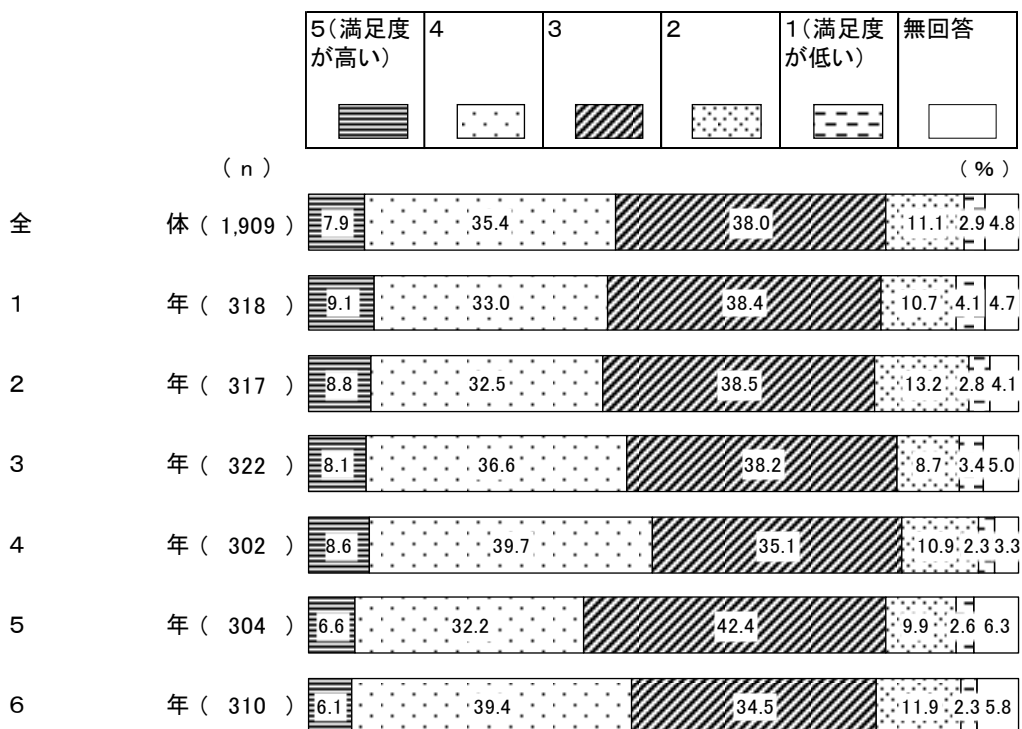
問 52 練馬区における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

「3」(38.0%)が最も多く、「4」(35.4%)、「2」(11.1%)、「5(満足度が高い)」(7.9%)、「1(満足度が低い)」(2.9%)と続く。平均は3.36となっている。



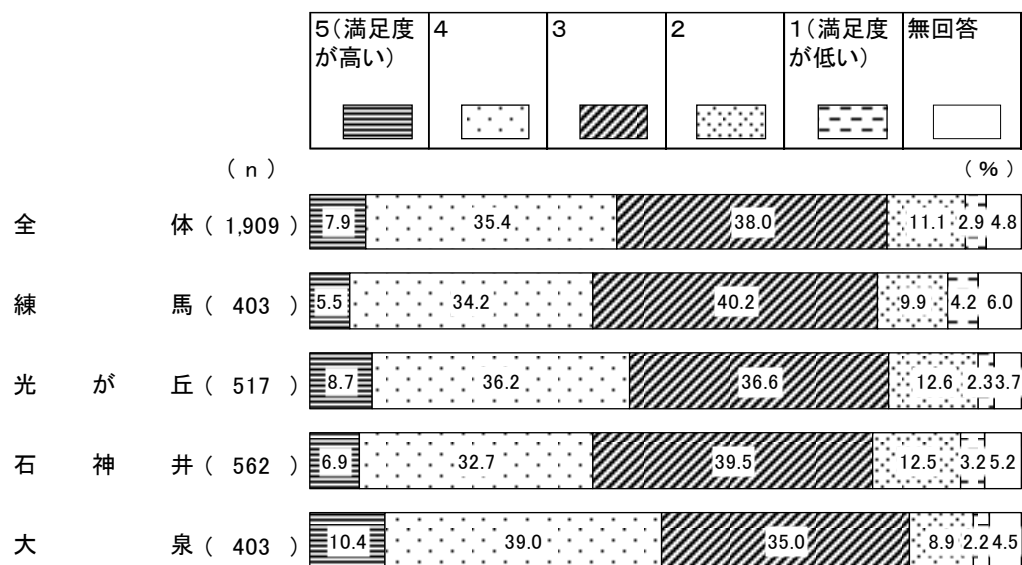
【学年別】

すべての学年で「5(満足度が高い)」と「4」を合わせた満足度の高い割合が、4割前後となっている。



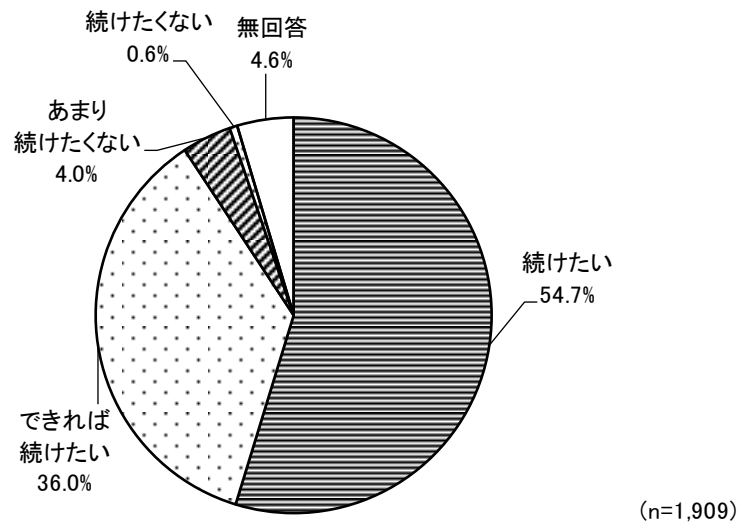
## 【居住地区別】

すべての居住地区で「5(満足度が高い)」と「4」を合わせた満足度の高い割合が、4割前後となっている。



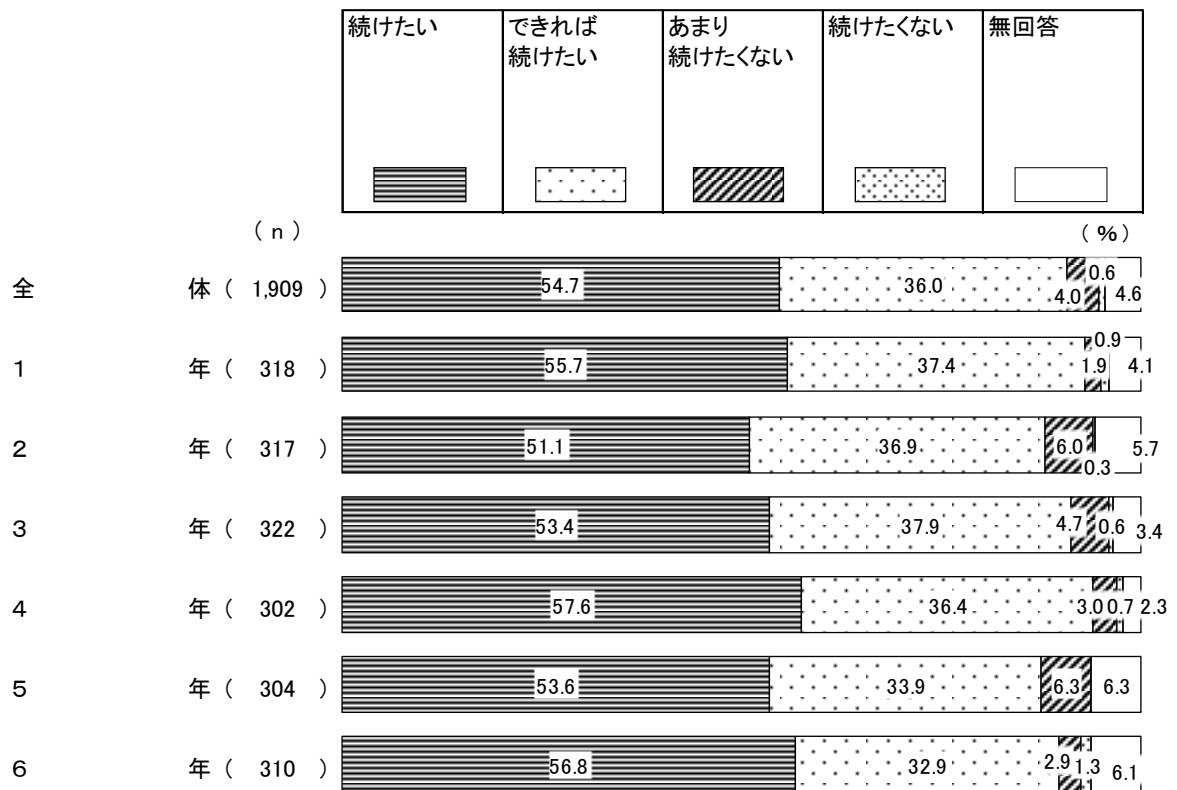
問 53 あなたは、今後も練馬区で子育てを続けたいですか。（1つに○）

「続けたい」（54.7%）が最も多く、「できれば続けたい」（36.0%）、「あまり続けたくない」（4.0%）、「続けたくない」（0.6%）と続く。



【学年別】

すべての学年で「続けたい」が最も多く、5割以上となっている。



## 12. 自由意見

780 件の回答があった（回答率 40.9%）。

### 【保育所・幼稚園等】（51件）

- ・ 共働き世帯が増えているため、区立学童クラブの増設と延長保育の充実をお願いしたい。
- ・ 第1子・第2子共に1歳児で保育園の申込みをしたが、認可保育園に入れなかった。保育園に入れる環境の充実を望む。
- ・ 保育園について、入園しやすくなるよう、受入人数を増やしてほしい。
- ・ 保育園も学童クラブも、コロナ禍で公的な役割が一段と高まっていると思う。区立保育園、区立学童クラブをこれ以上減らさないでほしい。

### 【学童クラブ、学校応援団ひろば事業】（118件）

- ・ 小学校2年生以降、学童クラブに入れる定員が減ってしまう。低学年のうちは学童クラブに入れるよう、学童クラブを増やすか、受入人数を増やしてほしい。
- ・ 小さな子どもの子育て支援は十分だと考えているが、小学校4年生以上の子どもの過ごす場が少ないことが不安である。来年度の学童クラブも入れるか不安である。学童クラブに対する支援がほしい。
- ・ 学童クラブのサービス等には満足しているが、平日の習い事がしやすい環境になるともっと嬉しい。
- ・ 小学校低学年の放課後の預かりとして、近所のリタイアした方に手伝っていただき、日本人らしい習い事、習字、そろばん、柔道など、空き教室を利用して体験できるような機会があると良い。
- ・ 夏休みの過ごし方について頭を悩ませている。ひろばに行った事があるが、気温が高いと外で遊べず、広くない部屋ではすぐに飽きて帰ってきてしまう。体育館（冷房を入れて）なども開放してくれるとありがたい。
- ・ ひろばスタッフの研修強化を望む。個人の子育て観の押しつけで、子ども達に関わるのではなく、子どもの育ちのサポートを出来るように大人側も学ぶ姿勢が必要だと思う。

### 【児童館】（19件）

- ・ 児童館は日曜日も開館してほしい。
- ・ 時間単位で子どもを預けることがあるが、地区区民館や児童館などでも預けることができると良い。
- ・ 児童館でもっと乳幼児向けのイベント（交流、手遊び、読み聞かせなど）があれば、子育ての息抜きになり、上の子を児童館で遊ばせつつ下の子も遊べたりできるので良いと思う。

### 【小学校】（111件）

- ・ 家庭の経済状況や、親の学習に対する認識の違いによって子どもの学力差がでないように、公立の学校でのフォローをお願いしたい。
- ・ 子どもに配られているタブレットがとても重い。リモート授業も進んでいないと思う。コロ

ナがどうなるかわからないため、リモート授業を進めて欲しい。

- ・ 最近、不審者が多いため、学校や通学路の防犯対策が心配である。また、地震も多いため、校舎の耐震など対応してほしい。
- ・ コロナ禍で小学校の行事の多くが無くなっている。やむを得ない部分もあると理解しているが、他自治体ではもっと積極的に代替案を考え実行してくれていたように思う。小学校の行事は学業以外の面で子どもが成長する上で大切だと考えているため、非常に残念である。子どもたちを一番に考え対応して頂けると、ますます住みたい街になると思う。
- ・ 学校と地域が協力して、帰宅せずそのまま学校の体育館や校庭で運動の習い事や、文化的な習い事があると、学童クラブに入れなかった子どもも安心して放課後が過ごせると思う。
- ・ 学校教育の質を上げてほしい。

#### 【各種保育サービス(ファミリーサポート事業、一時預かり、病児保育等)】(59件)

- ・ 相談できる機関、施設、対応できる人員を増やして欲しい。学校教育支援センターを利用して大いに助かっているが予約が取りにくい。また、カウンセリングやプログラムなどもっと気軽に利用したい。
- ・ 土曜・日曜・祝日出勤のため、子どもが気軽に利用できる施設ができることを願う。
- ・ ファミリーサポート、びよびよ、病児保育など、もっと利用しやすくしてほしい(予約がアプリでとれるようにするなど。枠も少なく予約も取れないことが多い)。共働きで、親族に頼れない人へのサポートが充実すると良い。
- ・ 困った時に、予約せずすぐに相談できる場があれば助かる。具体的な支援がすぐには提供されなくとも、話を聞いていただくだけで救われることも多いと感じている。
- ・ 共働き世帯を中心とした子育て支援の充実を希望する。親の負担を減らす仕組づくりを望む。

#### 【地域の子育て広場等】(7件)

- ・ 地域の農家との連携による子どもの農業経験や食育を充実してほしい。民間学童保育施設やこどもの森のような場所を増やしてほしい。
- ・ 練馬区内にある全てのスポーツ施設が「親子で気軽に！」遊べる空間である、素敵だと思う。

#### 【遊び場】(80件)

- ・ 公園はたくさんあるが、最近遊具が減っているように感じる。公園でサッカーや野球を禁止するのではなく、使用できる時間とできない時間に分けるなどの工夫をすべきだと思う。子どもは遊びで体力をつけていくと思うが、自由に遊べる場が限られ、体力が低下していくのではないか。
- ・ 幼児や小学校低学年の子どもが、雨天の日に体を動かせる場所がほしい。
- ・ 子ども達が安全に、のびのびと遊べる場所がないと感じる。ボール遊び禁止と掲示された公園、雑草や木が生い茂って見通しの悪い公園など、のびのびと遊べる環境がないのが本当に残念である。

### 【医療体制】（7件）

- ・ 中学生までの医療費助成を続けてほしい。また、区役所にある夜間医療なども可能な限り続けてほしい。
- ・ 小児科（大型病院）の夜間救急対応を増やしてほしい。
- ・ 住んでいる場所が区境のため、図書館や小児科などが近くにない。隣接している他区の医院を利用することが多いが、予防接種などで不便を感じることもある。

### 【ひとり親支援】（20件）

- ・ 母子家庭で、レジャーの経験をさせてあげられない。自然体験もさせてやれず、お友達との格差を感じている。「経験」もお金で買う時代とはいえ、経験させてあげたいため、緑の多い練馬でイベント（たき火、キャンプ等）をお願いしたい。
- ・ 母子家庭用の相談が気軽にできるサイトがあれば良いと思う。
- ・ ひとり親にも、様々な状況の人がいることに気付いてほしい。祖父母の有無、元配偶者の金銭サポートの有無、ひとり親の兄弟姉妹の有無など。全て無く、本当に一人で育てないといけないひとり親がいることに気付いてほしい。
- ・ ひとり親世帯のため、緊急時の対応が不安である。そのためのサポートがあるとは思いますが、把握していない。いざという時のための備えをしておきたい。

### 【障害児支援】（46件）

- ・ 子どもに発達障害があり、休日に療育なども受けさせてみようと思うが、土曜・日曜に実施している民間機関は費用が高く利用できない。土曜に療育の受けられる公的施設を望む。
- ・ 発達障害やグレーゾーンの子どもに対する支援や教育環境に対して、行き届いていない部分を多く感じる。インクルーシブ教育にもっと力を注いで欲しい。
- ・ 不登校児、発達障害児などの受入機関が少ない。
- ・ 軽度発達障害や、障害者手帳のない軽中度障害者への理解、支援、制度の確立などにも力を入れてほしい。高齢者だけでなく、これからの日本を支える子どもたちへの政策を重要視して、すべての子どもが生きやすい環境を行政として整えていく必要があると思う。

### 【地域における子育て支援】（105件）

- ・ 子どもが小さい時は、気軽に相談できる場、母親がリフレッシュできる場が必要だと思う。子どもが小学校中学年・高学年になっても、様々な年代と関わり様々な人に出会い育ててもらい、声をかけてもらい、かわいがってもらい、叱ってくれる場があると良いと思う。
- ・ 親が仕事で疲れていると、子どものケアが不十分になる時があると思う。気軽に頼れる場所が増えて、地域みんなで子育てするような仕組みができると良いと思う。
- ・ 子どもと地域住民の活動を支援するような事業を増やしてほしい。地域のお祭りやバーベキューなど、子どもの思い出になり、地域住民と触れ合う機会は、子どもにとって貴重な経験になると思う。
- ・ 保育園に入園するまで、入園し仕事に復帰してから小学校に入学するまでが、とても大変だった。その時代の母親らをサポートしてくれる施策が増えることを願う。保育園の時間に追われ、仕事に追われ、料理や家事、病気など悩みが尽きなかった。



### 【子育てしやすい職場環境づくり】(13件)

- ・ 子育ての負担は母親に片寄りがちである。学校の保護者会や面談等は平日に行われるため、仕事を休まざるを得ない。そのためフルタイム勤務での就労を諦めた。土曜・日曜に開催する等、共働き世帯にも配慮いただけると助かる。また、育児・家事を手伝わない父親への教育制度があると良いと思う（学校教育に取り入れる等）。
- ・ 子どもの行事や病気、送迎などで堂々と休んだり、仕事を抜けたり出来る社会の実現を切望する。年長者の意識改革が必要だと思う。
- ・ 保育園や学童クラブの保育時間延長ではなく、仕事と家庭が両立できる社会全体のシステム作りが必要だと思う。保育時間が延びても、幸福感は増すことはない。

### 【経済的支援】(112件)

- ・ 子育て世帯は、特に子どもの人数が多いと費用がかかるため、世帯収入に関係なく支援を充実してほしい。収入の差で区切ることは不公平感を強く感じるためやめてほしい。
- ・ 親の収入で子どもの教育に格差をつけることに憤りを感じる。児童手当や高校無償化など、親の収入関係なく子どもは平等に受けるべきだと思う。もう1人子どもを欲しいと思えない。将来が不安で仕方ない。
- ・ 高校まで医療費助成を拡大してほしい。
- ・ 多子世帯への支援・サービスを充実してほしい。小さい子どもだけではなく、大学卒業まで援助を続けてほしい。

### 【情報提供】(26件)

- ・ この調査で初めて知った支援があった。乳幼児健診等で案内を配布してもらえると、利用したいと思う人が増えるのでないか。
- ・ 気軽に話ができる場があると良い。本当に困っている人が、子育て支援情報をいつでも知ることができる環境があれば良い。駅・公園・スーパーなどの目につく場所等が良いと思う。
- ・ 子育て情報をLINEでたくさん発信して欲しい。各地域の情報も欲しい。

### 【その他】(211件)

- ・ 子どもの登下校時の安全確保に手厚い支援があると良いと思う。特に放課後、下校時に不審者情報などが多いため、パトロールの強化やシルバー人材の活用等も検討頂けると非常に安心である。
- ・ 「子育て支援」は乳幼児ばかり注目される。私が子育てのつらさを感じるようになったのは小学校中学年以降であった。費用面も小学校中学年以降が大変である。中学生でも高校生でも、年齢ごとに頼れる先があれば良いと思う。
- ・ 最近、ニュース等で子どもの虐待についてよく目にする。国や区で防止の対策を強化してほしい。一般市民でもボランティアなどで協力できる仕組みがあれば良いと思う。
- ・ 通学路の安全性について考えてもらいたい。スクールゾーンを増やす、定期的な取り締まり実施などを望む。